大阪府済生会千里病院年報

令和3年度(2021年) vol.19





令和3年度年報巻頭言



院長 中谷 敏

常日頃よりお世話になっております。このたび令和3年度 の年報ができましたので供覧させていただきます。

病院の動向を語るうえで新型コロナウイルス感染症の影響を避けて通ることはできません。幸い当院では職員の頑張りによりクラスターが発生することもなく診療を続けることができましたが、大阪府フォローアップセンターからの入院依頼が立て込むときには一般診療を制限せざるを得ないときもありました。中でも忘れられないのは、令和3年5月の連休に陥った悲惨な状況です。当時は患者さんが急速に重症となって緊急挿管となる例が相次ぎ、ついには感染症専用病棟内の決して広くない処置室で3名の挿管患者を診療するという異常事態にまでなりました。まさに悪夢でした。しかし同時にあの時に当院の結束力を確認できたのはよかったです。自然発生的に部署カンファレンスが立ち上がり、方針が決まり、状況に応じて臨機応変に対処していくことができました。あれ以降、これからは何があっても当院の底力を持ってすれ

ばクリアできると思っています。

新型コロナウイルス感染症の負の面ばかり挙げても仕方ありません。この機会に、いろいろな部署で少ない手数で業務が行えるように業務の効率化が図られ、三密を避けるために会議の簡略化や Zoom を用いた会議が行われるようになりました。また登録医の先生方や患者さん向けの講演会も Zoom を用いて行うようになってきています。いずれも新型コロナウイルス感染症が発生したための進歩と前向きにとらえたいと思います。

新型コロナウイルス感染症はなかなか終息しません。今後、私たちはウィズコロナの時代に地域のためにいかに貢献できるかを考えなければなりません。当院は、一般の方が構えることなく気軽に受診でき、しかも一流の医療を受けることができる病院、そしてどんなに重症であっても何とか当院にまでたどり着いていただいたなら全力を持ってお救いする病院を目指しています。すなわち私の提唱する「下駄ばきで来れる一流病院、かつ救急の最後の砦」です。このコロナ禍の中でその理想にどれだけ近づけたか、ぜひ年報をご覧ください。そしてお気づきの点やご意見等ありましたら遠慮なくお寄せください。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

済 生 会 小 史

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日龗済生会を創立した。

以来今日まで 110 年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経なが らも、本会は創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

総裁秋篠宮皇嗣殿下理事長炭谷茂本部=東京支部= 40 都道府県

病院	81	障害者福祉施設	9
診療所	18	看護師養成施設	7
介護医療院	1	訪問看護ステーション	62
介護老人保健施設	29	地域包括支援センター	30
救護施設	1	地域生活定着支援センター	5
児童福祉施設	25	その他	9
老人福祉施設	122	合計	399

職員数は全国で約6万4千人。

(令和3年4月1日時点)

済生会千里病院の理念

行動規範(code of conduct): 心のこもったチーム医療を行う。

使命:Mission

- 1. 私たちは、生活困窮者への医療を積極的に支援します。
- 2. 私たちは、地域医療・救急医療に貢献する急性期病院を実現します。
- 3. 私たちは、ひとりひとりに最適な医療を心を込めて提供します。
- 4. 私たちは、対等な立場でお互いを尊重し、理解を深めるように努めます。
- 5. 私たちは、自ら想像し、チャレンジし、創造していきます。

将来のありたい姿: Vision

職員がやりがいと成長を楽しめ、地域に信頼され、喜ばれる急性期病院となる。

価値観: Value

「やさしさ」、「笑顔」、「利他」、「チームワーク」

患者さんの権利と責務

(患者さん-医療者のパートナーシップの強化)

- 1. どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2. あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。 もし、わからないところがあれば、質問してください。
- 3. あなたが気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談ください。
- 4. 他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5. 治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7. 良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの治療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9. お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。

目 次

まえがき

『済生会小史』『済生会千里病院の理念』

I. %	<u>}革</u>
1.	沿革····································
Ⅱ. 痄	病院の現況
1.	病院の概要4
2.	施設の概要
	設備の概要10
4.	光熱水使用状況12
Ⅲ. 溽	病院の機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	組織図
	役職員名簿·····14
3.	令和3年度 会議・委員会組織図 ······16
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	患者数の推移17
2.	年度別 1 日平均患者数17
3.	1 1240012 11311 113012 2211
	令和3年度入院患者数21
5.	令和3年度外来患者数23
6.	疾病統計25
	参療科の状況
1.	消化器内科32
2.	
3.	• ***
4.	
5.	
6.	
7.	乳腺・内分泌外科39
8.	小児科40
9.	整形外科41
10.	産婦人科42
11.	泌尿器科43
12.	
13.	
14.	. —
15.	麻酔科47
16.	脳神経外科48

Ⅵ. 部門別活動状況
1. 薬剤部49
2. 中央検査部51
3. 放射線部53
4. 臨床工学科55
5. リハビリテーション部57
6. 心大血管疾患リハビリテーションセンター61
7. 栄養科62
8. 患者支援センター63
Ⅷ. 無料低額診療事業関係
Ⅷ. 初期臨床研修
1. 研修スケジュール66
2. 研修管理委員会・研修管理運営委員会 開催状況67
IX. 業績
1. 学会発表68
2. 論文・著書72
3. 講演会等74
X. 看護部研修
1. 院内研修 令和3年度76
2. 認定看護師による教育プログラム 参加者数78
3. 看護補助者研修79
XI. 委員会・医療チーム活動
1. 委員会活動80
2. 医療チーム活動 114

I. 沿革

1. 沿革

年 月 日	内容
昭和42年2月15日	大阪府と大阪府三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)が出資し千里保健医療センター(現在
	の大阪府保健医療財団)を設置し、新千里病院(200 床)を開設
昭和46年12月15日	300 床に増改築竣工
昭和54年8月31日	千里保健医療会館竣工(外来増設)
平成4年3月31日	MRI 棟竣工
平成9年3月25日	災害拠点病院に指定
平成14年7月1日	林 亨 院長就任
平成15年4月1日	大阪府済生会千里病院 開設
平成15年10月11日	登録医秋季研修会開催
平成15年10月30日	臨床研修病院(管理型)の指定
平成15年12月16日	二次救急病院の告示(内科・外科大阪府告示第 91 号)
平成16年3月13日	登録医総会開催
平成16年4月1日	大阪府立千里救命救急センターの管理運営事業の受託開始
平成16年10月8日	登録医秋季研修会開催
平成17年2月2日	新病院建設 安全祈願祭・起工式を実施
平成17年3月12日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成17年10月8日	登録医秋季研修会開催
平成18年3月18日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成18年4月1日	大阪府立千里救命救急センターの事業を継承し、済生会千里病院千里救命救急センターとして併 設
平成18年6月1日	病院棟竣工
平成18年7月1日	病院棟移転オープン、オーダリングシステム稼働
平成18年9月16日	登録医秋季研修会開催
平成18年11月11日	第5回千里メディカルラリー開催 (第1回〜第4回迄大阪府立救命救急センターにて実施)
平成19年3月10日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成19年6月8日	新築落成記念として、済生会 幸田理事長、記念植樹を実施
平成19年9月15日	登録医秋季研修会開催
平成19年9月29日	第6回千里メディカルラリー開催
平成19年11月1日	一般病棟(300 床) 7 対 1 入院基本料届出
平成20年3月15日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成20年5月16日	四川省大地震(5 / 12 被災)に対し医師・看護師を派遣
平成20年5月29日	ミャンマーサイクロン(5/2被災)に対し看護師・臨床検査技師を派遣
平成20年6月16日	公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 (Ver.5.0) 認定
平成27年9月13日	登録医秋季研修会開催
平成20年9月27日	第7回千里メディカルラリー開催
平成21年3月14日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成21年4月1日	DPC 対象病院認可
平成21年6月1日	電子カルテシステム稼働
平成21年9月5日	登録医総会ならびに学術講演会開催
平成21年9月26日	第8回千里メディカルラリー開催
平成22年4月1日	大阪府がん診療拠点病院の認定取得

平成22年4月17日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成22年9月1日 NPO 法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修病院認定取得 平成22年9月11日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成22年9月13日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/13~9/17) 平成22年9月25日 第9回千里メディカルラリー開催 平成23年3月12日 東日本大震災(3/11被災)に対し DMAT 隊派遣及び後方支援活動実施 平成23年3月19日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成23年5月30日 済生会創立百周年記念式典 (明治神宮記念会館) 平成23年9月12日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/12~9/16) 平成23年9月17日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成23年9月24日 第10回千里メディカルラリー開催 平成23年11月25日 地域医療支援病院の承認 平成24年3月17日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成24年6月12日 更生保護法人和衷会健診事業実施 平成24年7月13日 NPO 法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修病院認定 平成24年7月18日 大阪府済生会の東北大震災石巻市支援事業に対し SW を派遣 平成24年9月8日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成24年9月10日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/10~9/14) 平成24年10月6日 第11回千里メディカルラリー、第1回子どもメディカルラリー開催 平成25年3月16日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成25年5月1日 木内 利明 院長就任 釜ヶ崎健診事業実施 (9/9~9/13) 平成25年9月9日 公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価審査:機能種別版 3rdG: Ver1.0 認定 平成25年9月21日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成25年10月1日 林 亨 名誉院長就任 平成25年10月11日 第1回学生メディカルラリー開催 平成25年10月12日 第12回千里メディカルラリー、第2回子どもメディカルラリー開催 平成25年11月9日 10 周年記念式典開催 平成26年2月28日 災害管理棟建設 安全祈願祭・起工式を実施 平成26年3月15日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成26年3月31日 DMAT カー導入 平成26年9月8日 釜ヶ崎健診事業実施(9/8~9/12) 平成26年9月20日 登録医総会ならびに学術講演会開催 第13回千里メディカルラリー、第2回学生メディカルラリー開催 平成26年10月4日 第3回子どもメディカルラリー開催 平成26年10月5日 平成27年3月14日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成27年4月1日 災害管理棟竣工 大阪府がん診療拠点病院の認定更新 平成27年5月7日 災害管理棟へ移転 平成27年7月12日 第4回子どもメディカルラリー開催 平成27年9月7日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/7~9/11) 平成27年9月12日 登録医総会ならびに学術講演会開催 第14回千里メディカルラリー、第3回学生メディカルラリー開催 平成27年10月17日 救急管理棟竣工 平成28年1月31日 平成28年4月1日 訪問看護ステーション開所 平成28年4月14日 熊本地震発生 DMAT 隊派遣 平成28年4月16日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成28年7月10日 第5回子どもメディカルラリー開催 平成28年9月1日 NPO 法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修病院認定更新 平成28年9月12日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/12~9/16) 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成28年9月24日

第4回学生メディカルラリー開催

平成28年10月15日 | 第 15 回千里メディカルラリー開催 平成29年4月15日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成29年5月21日 第6回子どもメディカルラリー開催 平成29年9月11日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/11~14) 平成29年9月30日 登録医総会ならびに学術講演会開催 第16回千里メディカルラリー開催 平成29年10月21日 平成29年11月5日 第5回学生メディカルラリー開催 有限責任監査法人トーマツによる監査開始 (2/14~16) 平成30年2月14日 平成 29 年度社会福祉法改正による会計監査人制度導入に伴う法定監査受審 平成30年4月21日 登録医総会ならびに学術講演会開催 大阪府北部地震発生 DMAT 隊派遣 平成30年6月18日 平成30年9月4日 台風 21 号日本上陸 DMAT 隊派遣 平成30年9月6日 北海道胆振東部地震発生 DMAT ロジスティックチーム派遣 平成30年9月11日 釜ヶ崎健診事業実施 (9/11~13) 平成30年9月23日 第17回千里メディカルラリー開催 平成30年9月29日 登録医総会ならびに学術講演会開催 平成30年11月11日 第7回子どもメディカルラリー開催 平成31年2月1日 公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価審査:機能種別版 3rdG: Ver2.0 認定更新 平成31年4月1日 脳卒中ケアユニット治療室設置 令和元年5月1日 病院理念変更 令和元年6月14日 更生保護法人和衷会健診事業実施 登録医総会ならびに学術講演会開催 令和元年6月22日 令和元年9月9日 釜ヶ崎健診事業実施(9/9~12) 第18回千里メディカルラリー開催 令和元年9月22日 第8回子どもメディカルラリー開催 令和元年10月27日 令和2年4月1日 中谷 敏 院長就任 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令(4/7~5/21) 令和2年4月7日 令和2年8月24日 大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関、協力医療機関、中等症・重症一体型病院指定 令和2年9月1日 NPO 法人卒後臨床研修評価機構 卒後臨床研修病院認定更新 令和2年10月30日 大阪府新型コロナウイルス感染症帰国者接触者外来診療検査医療機関指定 令和2年12月14日 新型コロナウイルス感染症吹田市地域外来・検査センター指定 コロナ対策センター設置 令和3年1月14日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令(1/14~2/28) 新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置発令(4/5~4/24) 令和3年4月5日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令(4/25~6/20) 令和3年4月25日 令和3年6月21日 新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置発令(6/21~8/1) 令和3年8月1日 新型コロナ重症患者用ハイケアユニット治療室設置着手 令和3年8月2日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令(8/2~9/30) 令和3年12月20日 新型コロナ重症患者用ハイケアユニット治療室設置完了 新型コロナ重症患者用ハイケアユニット治療室設置に伴い病床数を 333 床へ変更 令和4年1月1日 令和4年1月27日 新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置発令(1/27~3/21) 令和4年3月13日 第9回子どもメディカルラリー WEB 開催

Ⅱ. 病院の現況

1. 病院の概要

● 名 称 社会福祉法人關済生会支部大阪府済生会千里病院

● 所 在 地 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号

開 設 者 社会福祉法人關済生会支部大阪府済生会

● 管理者院長中谷敏

敷地面積 15,408.78㎡

延床面積 29,205.86㎡

● 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造

床 数 333 床 (一般病床 282 床・うち開放病床 10 床、千里救命救急センター ICU12 床、救急病棟 31 床、SCU 8 床)

診療科目 (1) 診療科目

内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、免疫内科(リウマチ・アレルギー科)、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産科、婦人科、放射線科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科

(2) 専門・特殊外来

内 科:ペースメーカー外来

外 科:乳腺外来、大腸・肛門外来、肝臓・胆のう・膵臓外来、胃・食道外来

ストーマ外来、ヘルニア外来

整形外科:スポーツ・関節外科外来、脊椎外科外来、手の外科外来、

骨粗鬆症外来

小 児 科: 低身長・喘息外来、発達外来、乳児健診、予防接種

● 診療指定 地域医療支援病院、災害拠点病院、臨床研修病院、大阪府がん診療拠点病院 大阪府肝炎専門医療機関、保険医療機関、生活保護法指定医療機関、

労災指定医療機関、被爆者一般疾病指定医療機関、結核予防法指定医療機関、

公害医療、特定疾患、小児慢性特定疾患、母体保護法指定医療機関、

指定自立支援医療機関

● 救 急 医 療 三次救急指定医療機関(救命救急センター)

二次救急指定医療機関(豊能二次医療圏)

産婦人科診療相互援助システム(OGCS)参加病院

- 教育指定・学会認定
 - 厚生労働省指定臨床研修病院
 - 日本消化器病学会認定施設
 - 日本消化器内視鏡学会指導連携施設
 - 日本肝臓学会特別連携施設
 - 日本消化管学会胃腸科指導施設
 - 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設

- 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本脈管学会認定研修指定施設
- 日本高血圧学会専門医認定施設
- 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- 日本臨床栄養代謝学会・N S T 稼動施設
- 日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼動施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本脳卒中学会 一次脳卒中センター
- 日本泌尿器科学会基幹教育施設
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本産科婦人科学会指定専門医研修連携施設
- 日本口腔外科学会認定准研修施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本救急医学会指導医指定施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設

基準の届出(令和4年3月時点)

ア. 基本診療料等の施設基準等

初診料(歯科)の注1に掲げる基準、歯科外来診療環境体制加算1、一般病棟入院基本料、総合入院体制加算3、救急医療管理加算、超急性期脳卒中加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算2、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、療養環境加算、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、感染防止対策加算1、患者サポート体制充実加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算、ハイリスク妊婦管理加算、ハイリスク分娩管理加算、後発医薬品使用体制加算1、病棟薬剤業務実施加算1、病棟薬剤業務実施加算2、データ提出加算、入退院支援加算、認知症ケア加算2、せん妄ハイリスク患者ケア加算、精神疾患診療体制加算、地域医療体制確保加算、救命救急入院料1、救命救急入院料4、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児入院医療管理料5

イ. 特掲診療料等の施設基準等

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算、糖尿病合併症管理料、がん 性疼痛緩和指導管理料、がん患者指導管理料イ、がん患者指導管理料口、がん患者指導管理料ハ、

がん患者指導管理料二、糖尿病透析予防指導管理料、乳腺炎重症化予防ケア・指導料、婦人科特定 疾患治療管理料、院内トリアージ実施料、開放型病院共同指導料、がん治療連携計画策定料、肝炎 インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価 料、医療機器安全管理料 1 、総合医療管理加算(歯科疾患管理料)、歯科治療時医療管理料、在宅 患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料、在宅療養後方支援病院、BRCA1/2 遺伝子検査、HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)、検体検査管理加算 (I)、 検体検査管理加算 (N)、心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算、時間内歩行試験 及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、センチネルリンパ節生検(片側)、 CT 撮影及び MRI 撮影、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、心大 血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテー ション料 (I)、呼吸器リハビリテーション料 (I)、がん患者リハビリテーション料、組織拡張器 による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)、椎間板内酵素注入療法、乳が んセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)、乳がんセンチネルリンパ節加 算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)、乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))、ゲル充填人工乳房を用いた乳房 再建術(乳房切除後)、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、経皮的中隔心筋焼灼術、 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換 術(リードレスペースメーカー)、大動脈バルーンパンピング法(IABP法)、体外衝撃波胆石破砕術、 体外衝撃波膵石破砕術、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、体外衝撃波腎・尿管結石破砕術、腹腔 鏡下膀胱悪性腫瘍手術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下仙骨膣固定術、胃瘻増設術(内視 鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)、輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算、人工肛門・人 工膀胱造設術前処置加算、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、麻酔管理料(Ⅰ)、麻酔管理料(Ⅱ)、悪 性腫瘍病理組織標本加算、クラウン・ブリッジ維持管理料

ウ. 入院時食事療養費

入院時食事療養 (I)、特別食加算、食堂加算

● 交通アクセス

阪急電鉄千里線「南千里駅」下車3分

- 外来診療
 - ア. 診療時間

月曜日~金曜日 9:00~17:00 ※午後は予約制

※歯科口腔外科は土曜日診療あり(予約制)

イ. 令和3年度祝日診療日

4/29, 7/22, 8/9, 9/20, 11/3·23, 1/10, 2/23, 3/21

ウ. 受付時間

月曜日~金曜日 (午前診察) 8:30~11:30、(午後診察) 12:30~14:30 ※イの祝日診療日については平日体制で診療(歯科口腔外科は除く)

工. 休診日

土曜日、日曜日、12月30日~1月3日、イ以外の国民の祝日

オ. 急患については、救急外来にて365日、24時間対応

● 面会時間

一般病棟 平日:12:00~20:00 土・日祝日:10:00~20:00

I C U 全日:12:00~13:00 18:00~20:00

救急病棟 全日:12:00~20:00 S C U 全日:12:00~20:00

2. 施設の概要

(1) 建物の概要及び用途

病院棟

R階 機械置場 8階 8階病棟 HCU 7階 7階病棟 6階 6階病棟 6階 6階病棟 運学療法室 ○大血管疾患リハビリテーション室 管理部門 管理部門 校体検査室 4階 4階病棟 管理部門、調堂 管理部門、議員食事業 管理部門 校体検査室 3階 新生児室室 3階病棟 等時所棟 年中央材料室 管理部門、職員食事業 外来 1階 医事課 度事課 医事課 度事業 管理部門、院内保育 放射線科 内視鏡室 B 1階 牧急部 生理機能検査室 管理部門 RI室 管理部門 基局 栄養科 管理部門				
Pie HCU 7階 7階病棟 6階 6階病棟 屋上 5階 5階病棟 災害管理棟 理学療法室 心大血管疾患リハピリ テーション室 管理部門 4階 4階病棟 管理部門、講堂 管理部門 検体検査室 3階 新生児室 3階病棟 管理部門、職員食 手術室 中央材料室 2階 救急病棟 集中治療室 管理部門 外来 1階 医事課 患者支援センター 管理部門 放射線科 内視鏡室 B 1階 牧急部 生理機能検査室 管理部門 RI室 薬局 管理部門		R階	機械置場	
6 階 6 階病棟		8階		
屋上 5階 5階病棟 理学療法室 心大血管疾患リハビリテーション室 管理部門 4階 4階病棟 管理部門、講堂 管理部門 検体検査室 3階 分娩室 新生児室 3階病棟 管理部門、職員食 手術室中央材料室 2階 救急病棟 集中治療室 管理部門 外来 1階 医事課 患者支援センター 管理部門、院内保育 放射線科内視鏡室 B 1階 救急部 生理機能検査室 管理部門 RI室 東島 管理部門		7階	7階病棟	
現実施法室 (火害管理棟 で大血管疾患リハビリテーション室管理部門 4階 4階病棟 管理部門、講堂 管理部門検体検査室 3階 分娩室新生児室 3階病棟 管理部門、職員食 手術室中央材料室 2階 救急病棟集中治療室 管理部門 外来 1階 医事課患者支援センター 管理部門、院内保育 放射線科内視鏡室 B 1階 救急部生理機能検査室 管理部門 RI室 東高 薬局		6階	6階病棟	
心大血管疾患リハビリテーション室管理部門 4階 4階病棟 管理部門、講堂 管理部門検体検査室 3階 分娩室新生児室 3階病棟 管理部門、職員食業 手術室中央材料室 2階 救急病棟集中治療室 管理部門 外来 1階 医事課患者支援センター 管理部門、院内保育 放射線科内視鏡室 B 1階 軟急部生理機能検査室 管理部門	屋上	5階	5 階病棟	災害管理棟
(日本日) 日本 (日本日) 日本 (日本日) 日本 (日本日) 日本 (日本日) 日本日 (心大血管疾患リハビリ テーション室	4階	4階病棟	管理部門、講堂
中央材料室 2階 集中治療室 管理部門 外来 1階 医事課 患者支援センター 管理部門、院内保育 放射線科 内視鏡室 財急部 生理機能検査室 管理部門		3階	新生児室	管理部門、職員食
対条 I 階 患者支援センター 管理部門 放射線科 内視鏡室 B 1 階 救急部 生理機能検査室 管理部門 RI室 東 3 階 薬局		2階		管理部門
内視鏡室 生理機能検査室 E ^{珪部门}	外来	1階		管理部門、院内保育
		B 1階		管理部門
		B 2階		

救急管理棟

車庫、災害用倉庫

(病院棟各階主用途)

8階	8 階病棟(34 床)内科 HCU(6 床)
7階	7階病棟(50床)内科
6階	6 階病棟(44 床)内科 SCU(8 床)
5階	5 階病棟(50 床)外科 屋上
4階	4階病棟(50床)、整形外科、歯科口腔外科、小児科 理学療法室、心大血管疾患リハビリテーション室、言語聴覚療法室、当直室
3階	3 階病棟(50 床)産婦人科、内科、分娩室、陣痛室、新生児室 検体検査室(一般、血液、病理、生化学、細菌)、電機室、機械室
2階	救急病棟(31 床) 集中治療室(12 床) 中央手術室(7 室)、中央材料室
1階	外来(内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、歯科□腔外科)、総合診療部、 化学療法室、中央点滴室、医事課、患者支援センター、売店
B 1階	救急部(初療室 1 ・ 2 、隔離初療室、点滴・処置室) 放射線科(一般撮影 1 ~ 3 、泌尿器撮影、CT、TV 1・2、アンギオ 1・2、乳房撮影 1・ 2、歯科撮影、骨密度測定、MRI)、内視鏡室、生理機能検査室(エコー、脳波、心エコー、 エルゴ、心電図)、防災センター
B 2階	薬局、放射線科(RI 室)、栄養科(厨房)、解剖室、霊安室、機械室、備蓄倉庫、 サービスヤード

(災害管理棟各階主用途)

4階	院長室、副院長室(3室)、看護部長室、事務部長室、名誉院長室(1室)、 顧問室(2室)、応接室、秘書室、講堂
3階	事務室(総務課、人事課、経営企画課、品質管理室)、会議室5、職員食堂他
2階	災害対策室、各科部長室(15室)、副部長室、副看護部長室、看護部室、医療安全管理室、 感染管理室、治験管理室、臨床心理室、研修室、応接室他
1階	医局、用度・施設課、会議室1~4、院内保育園、更衣室他
B 1階	臨床工学科、当直室、洗濯室他

(救急管理棟主用途)

B 1階	車庫 (4台)、救急救命災害会議室、待機室 (2室)、災害用倉庫 (2室)、発熱外来

(2) 建物面積

・建築面積

病院棟建築面積(m)	災害管理棟建築面積(m)	救急管理棟建築面積(m)
3,485.19	2,292.02	313.16

・各階別床面積

階	病院棟床面積(㎡)	災害管理棟床面積 (㎡)	救急管理棟床面積 (㎡)	合	計 (㎡)
PH1 階	87.89	90.69	_		178.58
8階	1,327.94	_	_		1,327.94
7階	1,327.94	_	_		1,327.94
6階	1,327.94	_	_		1,327.94
5階	1,338.35	_	_		1,338.35
4階	2,074.09	1,131.14	_		3,205.23
3階	2,698.41	1,533.54	_		4,231.95
2階	2,850.71	1,843.22	_		4,693.93
1階	2,991.92	2,167.17	_		5,159.09
B 1階	3,180.39	757.52	307.73		4,245.64
B 2階	2,169.27	_	_		2,169.27
合 計	21,374.85	7,523.28	307.73		29,205.86

	面積(m³)
駐車場	2,800.89
駐輪場	283.50

3. 設備の概要

(1) 電気設備

- ア. 受変電設備 6.6KVA 2回線受電 トランス×17台 総容量5.500KVA
- イ. コージェネレーション設備 常用発電機×1台 6.6KV 610KW
- ウ. 非常用電源設備

(ア) 自家発電設備(病院棟) ディーゼル発電機×1台(A重油) 6.6KVA 1,000KVA

主負荷保安回路用(電灯、コンセント、動力、消防関係等)

(イ) 自家発電設備(管理棟) ディーゼル発電機×1台(A重油) 220V 225KVA

主負荷 保安回路用(電灯、コンセント)

(ウ) 直流電源装置(予備電源)シール型ペースト式鉛蓄電池

DC108V 500Ah/10HR

主負荷 発電機電圧確定までの予備電源

(非常照明、遮断器操作)

UPS 装置×1台 制御式鉛蓄電池 工 無停電電源装置

DC200V 150KVA 279Ah/10HR 180 セル

工. その他の設備 幹線動力設備/電灯設備/電話設備/防災設備/中央監視設備/避雷設備/放送 設備/空調設備/患者呼出設備/ナースコール/ITV 設備/誘導鈴設備

(2) 空気調和設備

ア. 熱源設備

- (ア) 廃熱投入型冷温水器ジェネリンク×2台 冷却能力 633KW 加熱能力 530KW
- (イ) 水冷ブラインチラー×2台 冷却能力 351KW(製氷時) 492KW(冷房追掛時)
- (ウ) 氷蓄熱槽 ブライン流量 2,240 Q ~ 4,110 Q /min ブライン保留量 6,600 Q
- エ 熱交換器 氷蓄熱槽系統 (プレート型)×1台 熱交換能力 984KW 暖房用 CGS 排温水系統 (シェルアンドチューブ型)×1台

熱交換能力 984KW

暖房用蒸気系統×1台 熱交換能力 480KW

井水予熱系統×1台 熱交換能力 209KW

- イ. 空調方式について
 - (ア) 空気調和機 ヒートポンプパッケージ型/空冷式パッケージ型/ユニット型/コンパクト型
 - (イ) ファンコイルユニット
 - (ウ) ビルマルチエアコン
 - (エ) ガスエンジン式ヒートポンプエアコン
- ウ. 換気方法 排気口 各階

第1種換気 機械室 電気室

エ. クリーンルーム

⑦ 手術室5・6 クラス 1000×2室 (バイオクリーン)

(イ) 手術室 1~3・7・8 クラス 10000×5室

(3) 給排水衛生設備

ア. 給水設備

- (ア) 引込 吹田市本管より引込 (80 φ)
- (イ) 井水設備 膜ろ過処理 計画水量 161㎡
- (ウ) 受水槽 FRP 製複合板 2 槽式 有効容量 96㎡
- (エ) 加圧給水ポンプ (システム型) 1,450 0 /min 22kw×2台×2組
- イ. ボイラー設備 貫流式ボイラー×3台 ガス焚き 実際蒸発量 1,690kg/h、伝熱面積 7.44m³ウ. 給湯設備
 - (ア) ストレージタンク×2台 容量 5,500 l 最高使用圧力 0.59Mpa
 - (イ) ガス湯沸器 瞬間湯沸器 300 号×1台 50 号×6台
- エ. ガス設備 都市ガス 13A 45 MJ/m 中圧引込

用途 中圧 ボイラー用、コージェネ用、冷温水機用

低圧 一般用(厨房、検体検査室、瞬間湯沸器)

安全対策がス遮断弁、ガス漏れ検知器設備

オ. その他の設備 給排水設備/衛生器具設備/医療ガス設備/厨房器具設備/排水中和処理設備

(4) 昇降機設備

ア. エレベーター・ダムウェーター

	No.	用途	定員(人)	荷重 (Kg)	速度(m/分)	台数	停止階	備考
	1, 2	乗 用	15	1,000	105	2	B 2∼R F	地震時管制運転装置
病	3, 4	寝台用	15	1,000	105	2	B 2~8 F	//
院	5	人荷用	20	2,000	90	1	B 2∼2 F	//
	6	乗 用	6	450	60	1	B 2~8 F	//
棟	7	人荷用	26	1,700	90	1	B 2~8 F	//
	8	小荷物		50	30	1	1∼3 F	
	No.	用途	定員(人)	荷重(Kg)	速度(m/分)	台数	停止階	備考
管理棟	9	乗 用	15	1,000	60	1	B 1∼R F	地震時管制運転装置
棟	10	寝台用	15	1,000	60	1	B 1∼R F	//

[※]本館No.1~5、管理棟No.9 ▶ 10 車椅子対策仕様

イ. エスカレーター×2台 輸送能力 4,500 人/h 速度 30m/min

[※]停電時使用可能 (病院棟 No. 2, 4, 5 管理棟 No. 10 ELV)

4. 光熱水使用状況

平成 29 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
電気使用量 (kwh)	257,203	319,811	345,861	465,087	452,837	360,970	299,317	271,857	297,947	297,483	265,642	283,560	3,917,575
水道使用量 (㎡)	5,275	-	8,431	-	9,903	-	10,086	_	6,860	-	5,483	_	46,038
ガス使用量(㎡)	78,394	87,840	86,133	107,747	111,993	85,802	85,754	88,870	104,718	123,057	109,809	93,161	1,163,278

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
電気使用量 (kwh)	279,406	312,295	358,834	470,017	516,826	444,326	481,270	264,829	279,421	296,588	260,236	275,799	4,239,847
水道使用量 (㎡)	3,619	-	4,384	-	8,568	-	9,503	_	6,218	-	5,713	-	38,005
ガス使用量 (㎡)	77,001	90,882	85,953	115,416	106,706	75,764	56,545	84,886	90,991	124,697	102,650	93,697	1,105,188

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
電気使用量 (kwh)	267,110	308,910	343,274	436,525	470,384	406,620	322,320	260,533	281,560	280,721	266,714	277,501	3,922,172
水道使用量 (㎡)	5,839	-	5,807	-	5,382	-	6,415	-	4,021	-	3,674	_	31,138
ガス使用量(㎡)	83,136	92,608	84,204	109,525	114,366	102,338	88,535	78,117	93,212	119,817	101,076	95,541	1,162,475

令和2年度

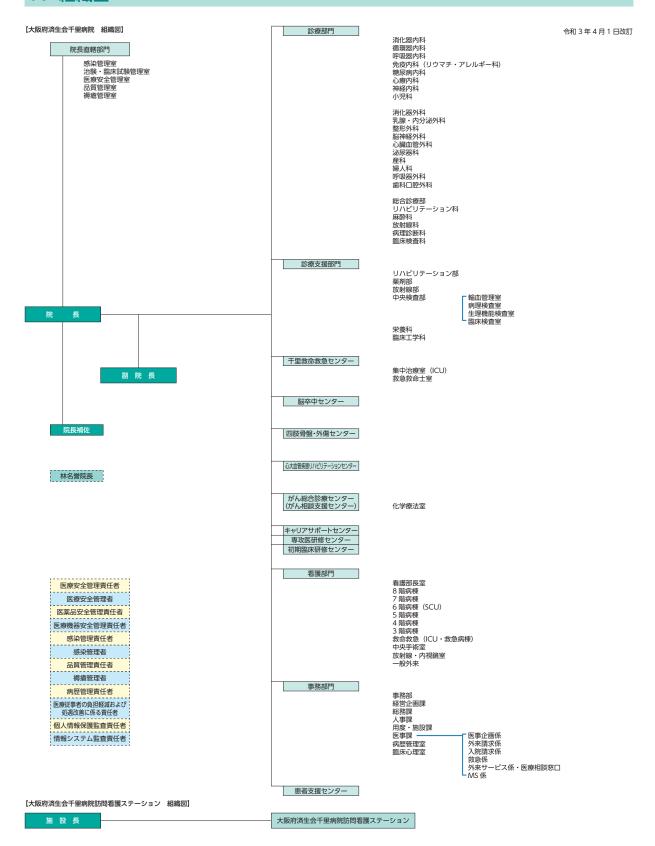
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
電気使用量 (kwh)	336,776	418,096	444,688	516,418	571,431	481,030	391,090	414,688	452,364	453,057	399,138	434,483	5,313,259
水道使用量 (㎡)	3,120	-	1,856	-	5,049	_	7,250	-	3,784	_	2,508	_	23,567
ガス使用量 (㎡)	68,174	50,116	74,246	77,033	95,481	76,011	58,688	51,756	68,646	88,457	72,545	67,750	848,903

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
電気使用量 (kwh)	395,905	452,499	468,893	541,444	561,402	522,559	453,694	391,190	427,912	422,862	356,423	390,171	5,384,954
水道使用量(㎡)	1,747	-	1,919	-	3,996	-	4,101	_	2,171	_	5,945	_	19,879
ガス使用量 (㎡)	54,579	46,012	60,404	79,770	86,628	58,062	50,208	54,974	70,270	107,751	96,967	75,168	840,793

Ⅲ. 病院の機構

1. 組織図



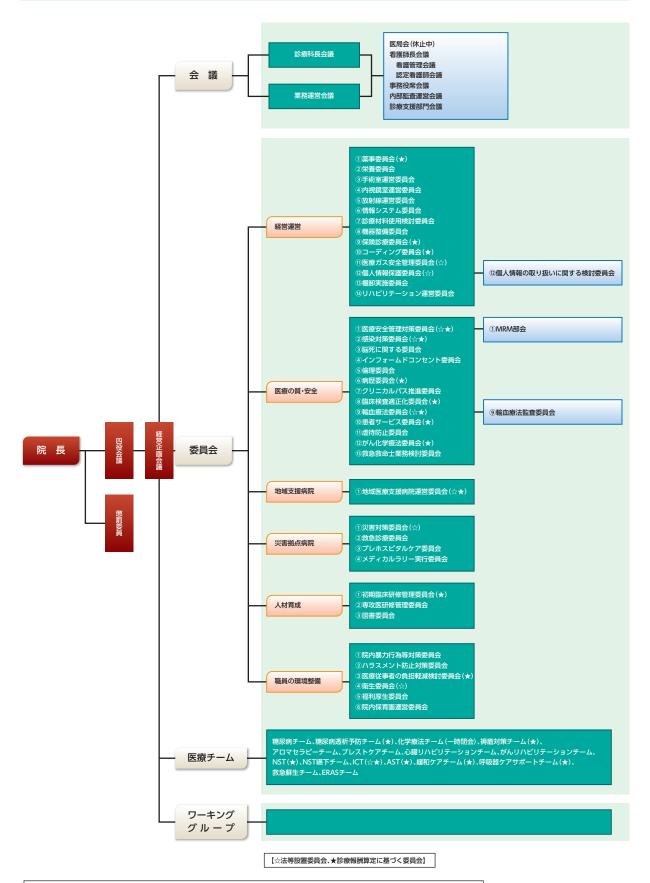
2. 役職員名簿

令和4年3月31日現在

	- TO	. о. <u>Б</u>
	氏	名
名誉院長	林	亨
院長 兼 患者支援センターセンター長 兼 千里病院会計責任者・予算管理責任者 兼 千 里医療福祉センター会計責任者・予算管理責任者 兼 副法令遵守責任者 兼 千里病院訪 問看護ステーション会計責任者・予算管理責任者	中谷	敏
副院長 兼 がん総合診療センターセンター長 兼 感染管理責任者 兼 医療安全管理責任者 兼 コロナ対策センターセンター長	福﨑	孝幸
医療安全管理室室長 兼 医療安全管理者	堀	三枝子
感染管理室室長	橋本	渚
褥瘡管理室室長	竹村	実 紀
品質管理室室長	浜畑	利美江
消化器内科主任部長 兼 キャリアサポートセンターセンター長	増田	栄 治
消化器内科部長	松本	康 史
消化器内科副部長	藤永	哲 治
循環器内科主任部長 兼 生理機能検査室室長	廣岡	慶 治
循環器內科部長	西尾	まゆ
循環器內科副部長	舟田	晃
循環器内科副部長 兼 心大血管疾患リハビリテーションセンターセンター長	奥田	啓 二
循環器内科副部長 兼 病歴管理責任者	久 米	 清 士
循環器内科副部長	増村	雄喜
呼吸器内科主任部長	山根	宏之
呼吸器内科部長 兼 化学療法室室長	古川	貢
糖尿病內科部長	星	
小児科主任部長	瀬 戸	 眞 澄
小児科部長	森本	恭子
小児科副部長	吉田	敏 子
消化器外科主任部長 兼 治験・臨床試験管理室室長 兼 初期臨床研修プログラム責任者	真貝	竜 史
消化器外科副部長	西田	久 史
消化器外科副部長 兼 衛生管理者	深田	唯 史
乳腺・内分泌外科主任部長	北條	茂 幸
乳腺・内分泌外科部長	吉岡	節 子
整形外科主任部長	安 原	良典
整形外科部長 兼 品質管理責任者	庄司	恭之
整形外科副部長 兼 リハビリテーション科科長	坂口	公一
整形外科副部長	伊達	優 子
脳神経外科副部長 兼 脳卒中センターセンター長	桧 山	永 得
泌尿器科主任部長 兼 勤務医の負担軽減・処遇改善責任者 兼 医療従事者負担軽減責任 者 兼 院長補佐	今 津	哲 央
泌尿器科部長	花房	隆範
産科・婦人科部長	武 曽	博
歯科・歯科□腔外科部長	金 﨑	朋彦
歯科・歯科口腔外科副部長	若 林	健
総合診療部部長 兼 初期臨床研修センターセンター長 兼 初期臨床研修医プログラム責任者	寺田	浩 明
総合診療部部長	土井	泰 治
麻酔科主任部長 兼 手術部部長	遠 藤	健
麻酔科部長	福島	步
放射線科部長 兼 診療支援部長	三谷	尚
リハビリテーション部技士長	吉田	美由紀

役	氏 名
放射線部技師長 兼 診療支援部副部長代理	橘 岳志
薬剤部薬局長 兼 医薬品安全管理責任者	宮脇 康至
中央検査部技師長	小島 健裕
栄養科科長	吉田尚子
臨床工学科技士長 兼 医療機器安全管理責任者 兼 衛生工学衛生管理者	片衛 裕司
千里救命救急センターセンター長 兼 ICU室長 兼 電子保存システム監査責任者 兼 衛生管理者	澤 野 宏 隆
千里救命救急センター広域調整部長 兼 専攻医研修センターセンター長 兼 衛生管理者	林 靖之
千里救命救急センター副部長 兼 輸血管理室室長	伊藤 裕介
千里救命救急センター副部長 兼 四肢骨盤外傷センターセンター長	佐藤 秀峰
千里救命救急センター副部長	中島有香
千里救命救急センター副部長	橘髙弘忠
看護部長	斉 藤 律 子
副看護部長	片 岡 節子
副看護部長	柏木真夏
看護部長室看護師長	濱口 寿美子
看護部長室看護師長	芦田 有理枝
8階病棟看護師長	得能 理恵
6階病棟看護師長	木 村 愛 美
5階病棟看護師長	白川恵美
4 階病棟看護師長	上辻 真寿美
3階病棟看護師長	福田裕美
一般外来看護師長 兼 7階病棟看護師長	瀬古理香
中央手術室看護師長	西畑 公雄
救命救急看護師長 兼 ICU看護師長	美 馬 美 保
救命救急看護師長 兼 救急病棟看護師長 兼 SCU看護師長	小中 しほり
化学療法室室長代行	満 倉 玲 江
事務部看護師長	井上 千代
事務部長 兼 千里病院固定資産管理責任者 兼 資金運用責任者 兼 千里病院現金保管責任者 兼 千里医療福祉センター現金保管責任者 兼 特定個人情報取扱責任者 兼 電磁的 文書取扱責任者	田中憲幸
総務課課長代理	土 井 明
用度・施設課課長代理	松 山 功
医事課課長 兼 人事課課長	村田 吉江
医事課課長代理	内海 江里子
医事課課長代理	榊 繭 摩
病歴管理室室長	大田 美知子
患者支援センターセンター長代行	山田 真理
患者支援センター看護師長	四十物 司享
患者支援センター課長代理	竹 中 大
大阪府済生会千里病院訪問看護ステーション所長 兼 訪問看護ステーション固定資産管理責任者 兼 訪問看護ステーション会計現金保管責任者 兼 訪問看護ステーション副法令遵守責任者 兼 訪問看護ステーション資金運用責任者	黒瀬 あゆみ

3. 令和3年度 会議・委員会組織図



定義

- 1)会議:病院運営・業務遂行において発生した課題や問題について、解決に向けて協議の上、意思決定し、周知徹するもの。
- 2) 委員会:院長からの、病院運営・業務遂行上における特定分野の諮問事項について調査、審議または立案してこれを答申、あるいは特定作業を行うもの。
- 3) 医療チーム: 患者の治療・ケア・支援について、多職種が連携・協同し、質の高い医療を提供するとともに、普及・啓発するもの。
- 3)医療チーム:患者の治療・ケア・支援について、多職種が連携・協同し、質の高い医療を提供するととも14)WG:院長から諮問された特定かつ緊急性の高い課題や問題に対し、期間を限定して解決を行うもの。

Ⅳ. 患者状況

1. 患者数の推移

(人)

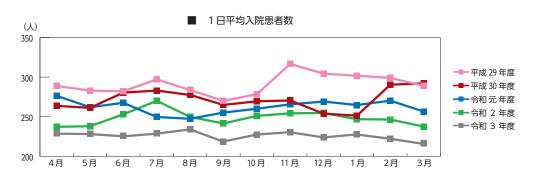
年 度	入 院	外来
平成 29 年度	106,248	148,825
平成 30 年度	99,026	139,007
令和元年度	95,863	129,965
令和2年度	90,643	117,130
令和3年度	81,911	121,916

2. 年度別1日平均患者数

(1) 入院

(人)

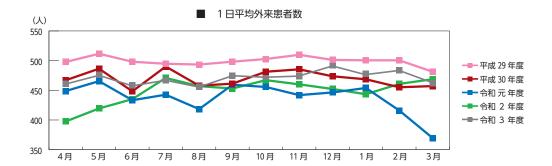
年度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	288.9	283.0	282.0	297.2	283.7	270.1	278.4	316.8	304.3	301.8	298.8	288.6	291.1
平成 30 年度	263.5	261.2	280.5	283.0	277.4	264.9	269.4	270.3	253.7	251.2	290.3	291.9	271.3
令和元年度	276.4	261.9	267.5	249.6	247.3	255.2	260.0	265.6	269.1	264.7	270.2	256.5	261.9
令和2年度	237.2	237.9	253.0	270.0	249.7	241.4	251.0	254.2	254.7	246.8	246.4	237.5	248.3
令和3年度	234.3	231.7	225.5	225.4	230.4	213.4	223.2	227.6	216.5	226.7	221.8	216.4	224.4



(2) 外来

(人)

毎度月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 29 年度	497.7	511.6	498.1	494.7	493.4	498.2	502.7	509.8	501.2	500.5	500.5	481.2	499.0
平成 30 年度	466.9	486.4	448.3	490.0	457.8	461.2	481.3	485.3	473.6	468.5	455.1	457.1	469.3
令和元年度	448.7	465.4	433.3	442.6	418.3	459.4	455.6	441.9	446.4	453.9	415.9	369.5	437.3
令和2年度	397.5	419.4	435.1	470.8	457.0	453.0	467.1	460.0	452.2	443.4	460.8	468.7	449.1
令和3年度	461.0	472.8	455.6	467.7	454.8	473.5	472.1	473.2	495.5	474.9	484.2	459.8	470.1



3. 年度別診療科別患者数

(1) 入院

(人)

年度	平成 2	9 年度	平成 3	0 年度	令和元		令和 2	2年度	令和3	3年度
科	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
消化器内科	11,778	32.3	12,317	33.7	10,298	28.1	6,048	16.6	6,069	16.6
循環器内科	12,024	32.9	9,993	27.4	11,221	30.7	12,509	34.3	10,173	27.9
呼吸器内科	8,965	24.6	6,798	18.6	6,753	18.5	7,195	19.7	4,752	13
免疫内科 (アレルギー・リウマチ)	_	_	2,610	7.2	3,252	8.9	2,058	5.6	1,944	5.3
糖尿病内科	1,836	5.0	1,945	5.3	2,164	5.9	1,537	4.2	1,395	3.8
小児科	4,161	11.4	4,972	13.6	4,210	11.5	2,340	6.4	2,325	6.4
消化器外科	_	_	-	_	12,350	33.7	9,996	27.4	8,513	23.3
乳腺外科	_	_	_	_	1,760	4.8	1,615	4.4	1,060	2.9
外科	14,763	40.4	15,004	41.1	_	_	1	_	_	_
整形外科	12,112	33.2	11,570	31.7	11,297	30.9	11,810	32.4	10,248	28.1
脳神経外科	0	0.0	1,854	5.1	3,999	10.9	5,150	14.1	7,546	20.7
形成外科	_	_	105	0.3	0	0.0	_	-	_	_
泌尿器科	4,702	12.9	4,281	11.7	4,825	13.2	4,616	12.6	4,025	11
産科	4,602	12.6	4,374	12.0	3,644	10.0	2,918	8.0	3,488	9.6
婦人科	3,258	8.9	3,146	8.6	2,962	8.1	2,531	6.9	2,337	6.4
歯科口腔外科	1,376	3.8	1,299	3.6	1,283	3.5	908	2.5	666	1.8
総合初期研修科 (総合診療部)	3,439	9.4	0	0.0	1	0.0	699	1.9	1,586	4.3
救命救急センター	23,232	63.6	18,758	51.4	15,844	43.3	18,713	51.3	15,784	43.2
合 計	106,248	291.1	99,026	271.3	95,863	261.9	90,643	248.3	81,911	224.4

(2) 平均在院日数

(日)

年度科	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
消化器内科	7.1	8.4	7.6	7.8	7.3
循環器内科	10.2	9.3	10.1	10.1	7.8
呼吸器内科	16.4	14.6	14.9	15.4	12.0
免疫内科 (アレルギー・リウマチ)	-	18.0	22.3	19.9	16.9
糖尿病内科	15.8	19.0	18.4	14.8	15.7
小児科	5.7	5.3	5.4	6.1	5.6
消化器外科	_	_	10.2	10.5	9.9
乳腺外科	_	-	7.1	6.7	7.4
外科	9.6	10.2	_	_	-
整形外科	13.5	14.1	13.1	12.5	12.7
脳神経外科	0.0	29.0	14.2	14.5	17.3
泌尿器科	7.7	7.1	7.8	8.2	6.7
産科	10.1	8.7	9.0	8.4	10.0
婦人科	4.8	5.0	4.5	4.2	4.8
歯科口腔外科	3.7	3.8	3.7	2.7	2.5
総合初期研修科 (総合診療部)	12.5	0.0	_	25.9	19.1
救命救急センター	11.3	10.7	10.1	8.9	10.1
合 計	9.7	9.6	9.6	9.6	9.5

年度	平成 2	9 年度	平成 3	0 年度	令和元	 亡年度	令和 2	2年度	令和3	3年度
科	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均	延数	1日平均
消化器内科	18,353	62.2	17,372	59.3	15,201	51.7	10,043	39.7	10,121	40.2
循環器内科	15,771	53.5	14,783	50.5	13,557	46.1	13,020	51.5	13,692	54.3
呼吸器内科	8,245	27.9	7,731	26.4	7,364	25.0	6,350	25.1	6,578	26.1
免疫内科 (アレルギー・リウマチ)	6,534	_	3,054	10.4	3,303	11.2	2,873	11.4	3,441	13.7
糖尿病内科	4,363	22.1	6,232	21.3	6,090	20.7	5,779	22.8	5,742	22.8
心療内科	2,364	8.0	2,083	7.1	2,000	6.8	2,251	8.9	2,109	8.4
神経内科	1,110	3.8	1,000	3.4	901	3.1	685	2.7	751	3.0
小児科	4,363	14.8	4,248	14.5	3,856	13.1	2,807	11.1	3,457	13.7
皮膚科	215	0.7	172	0.6	54	0.2	0	0.0	0	0.0
消化器外科	_	_	_	_	10,794	36.7	9,015	35.6	8,776	34.8
乳腺外科	-	-	_	_	8,342	28.4	8,178	32.3	8,362	33.2
外科	21,575	73.1	20,746	70.8	_	_	_	_	-	_
整形外科	17,578	59.6	16,189	55.3	14,155	48.1	14,833	58.6	16,046	63.7
脳神経外科	16	0.1	478	1.6	1,354	4.6	1,582	6.3	2,062	8.2
泌尿器科	10,650	36.1	10,298	35.1	10,125	34.4	9,607	38.0	10,278	40.8
産科婦人					11,094	37.7	9,886	39.1	9,968	39.6
産科	2,782	9.4	2,860	9.8	2,258	7.7	2,222	8.8	1,895	7.5
婦人科	12,163	41.2	10,177	34.7	8,836	30.1	7,664	30.3	8,073	32.0
形成外科	_	_	465	1.6	49	0.2	1	0.0	0	0.0
眼科	135	0.5	128	0.4	121	0.4	9	0.0	0	0.0
耳鼻咽喉科	442	1.5	355	1.2	427	1.5	110	0.4	1	0.0
歯科□腔外科	8,238	27.9	8,241	28.1	9,098	30.9	8,401	28.4	8,486	28.9
総合初期研修科 (総合診療部)	3,367	11.4	507	1.7	459	1.6	406	1.6	600	2.4
リハ科	0	0.0	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
心リハ科	1,031	3.5	741	2.5	746	2.5	452	1.8	439	1.7
放射線科	_	_	3,532	12.1	3,710	12.6	3,165	12.5	3,556	14.1
救命救急センター	8,367	22.9	7,611	20.9	7,081	19.3	7,465	20.5	7,208	19.7
心臓血管外科	_	_	_	_	71	0.2	103	0.4	127	0.5
麻酔科	_	_	_	_	8	0.0	8	0.0	1	0.0
膠原病内科	873	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
委託検査	4,653	15.8	3	0.0	4	0.0	0	0.0	0	0.0
呼吸器外科	_	_		_			100	0.4	114	0.5
合 計	148,825	499.0	139,007	469.3	129,965	437.3	117,130	449.1	121,916	470.1

4. 令和3年度入院患者数

(1) 延数

(人)

科	病床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	差引	増減率
消化器内科	18	503	623	503	576	557	446	446	446	446	446	362	448	6,069	6,048	21	100.3%
循環器内科	30	990	903	804	764	800	779	673	744	913	971	885	947	10,173	12,509	-2,336	81.3%
呼吸器・免疫内科	24	622	640	578	525	651	569	489	372	417	476	651	706	6,696	9,253	-2,557	72.4%
(呼吸器内科)	-	464	437	360	361	472	407	362	311	268	367	457	486	4,752	7,195	-2,443	66.0%
(免疫内科)	-	158	203	218	164	179	162	127	61	149	109	194	220	1,944	2,058	-114	94.5%
糖尿病内科	3	110	136	96	195	146	142	103	153	108	51	58	97	1,395	1,537	-142	90.8%
小児科	10	206	225	290	280	262	152	246	226	227	156	47	8	2,325	2,340	-15	99.4%
消化器外科	34	691	728	815	656	625	739	681	699	756	563	710	850	8,513	9,996	-1,483	85.2%
乳腺外科	6	47	38	48	100	129	113	103	124	135	103	73	47	1,060	1,615	-555	65.6%
整形外科	34	1,164	818	776	786	679	658	851	927	823	1,049	789	928	10,248	11,810	-1,562	86.8%
脳神経外科	11	565	825	556	590	725	571	689	744	586	661	463	571	7,546	5,150	2,396	146.5%
泌尿器科	12	313	317	291	314	457	361	497	328	338	302	227	280	4,025	4,616	-591	87.2%
産婦人科	18	485	375	581	630	520	600	577	562	519	416	285	275	5,825	5,449	376	106.9%
(産科)	-	312	208	424	450	310	373	387	391	296	204	123	10	3,488	2,918	570	119.5%
(婦人科)	-	173	167	157	180	210	227	190	171	223	212	162	265	2,337	2,531	-194	92.3%
歯科□腔外科	4	58	59	56	65	63	54	60	72	56	45	30	48	666	908	-242	73.3%
総合診療部	3	93	83	118	184	169	126	165	126	144	116	136	126	1,586	699	887	226.9%
救命救急センター	24	1,182	1,414	1,253	1,322	1,358	1,091	1,168	1,181	1,286	1,659	1,493	1,377	15,784	18,713	-2929	84.3%
心臓血管外科	_	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
合 計	231	7,029	7,184	6,765	6,987	7,141	6,401	6,920	6,827	6,711	7,029	6,209	6,708	81,911	90,643	-8,732	90.4%

(2) 1日平均患者数

(人)

科	病床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	差引	増減率
消化器内科	18	16.8	20.1	16.8	18.6	18.0	14.9	19.9	19.0	13.0	14.9	12.9	14.5	16.6	16.6	0	100.3%
循環器内科	30	33.0	29.1	26.8	24.6	25.8	26.0	21.7	24.8	29.5	31.3	31.6	30.5	27.9	34.3	-6	81.3%
呼吸器・免疫内科	24	20.7	20.6	19.3	16.9	21.0	19.0	15.8	12.4	13.5	15.4	23.3	22.8	18.3	25.4	-7	72.4%
(呼吸器内科)	-	15.5	14.1	12.0	11.6	15.2	13.6	11.7	10.4	8.6	11.8	16.3	15.7	13.0	19.7	-7	66.0%
(免疫内科)	-	5.3	6.5	7.3	5.3	5.8	5.4	4.1	2.0	4.8	3.5	6.9	7.1	5.3	5.6	0	94.5%
糖尿病内科	3	3.7	4.4	3.2	6.3	4.7	4.7	3.3	5.1	3.5	1.6	2.1	3.1	3.8	4.2	0	90.8%
小児科	10	6.9	7.3	9.7	9.0	8.5	5.1	7.9	7.5	7.3	5.0	1.7	0.3	6.4	6.4	0	99.4%
消化器外科	34	23.0	23.5	27.2	21.2	20.2	24.6	22.0	23.3	24.4	18.2	25.4	27.4	23.3	27.4	-4	85.2%
乳腺外科	6	1.6	1.2	1.6	3.2	4.2	3.8	3.3	4.1	4.4	3.3	2.6	1.5	2.9	4.4	-2	65.6%
整形外科	34	38.8	26.4	25.9	25.4	21.9	21.9	27.5	30.9	26.5	33.8	28.2	29.9	28.1	32.4	-4	86.8%
脳神経外科	11	18.8	26.6	18.5	19.0	23.4	19.0	22.2	24.8	18.9	21.3	16.5	18.4	20.7	14.1	7	146.5%
泌尿器科	12	10.4	10.2	9.7	10.1	14.7	12.0	16.0	10.9	10.9	9.7	8.1	9.0	11.0	12.6	-2	87.2%
産婦人科	18	16.2	12.1	19.4	20.3	16.8	20.0	18.6	18.7	16.7	13.4	10.2	8.9	16.0	14.9	1	106.9%
(産科)	-	10.4	6.7	14.1	14.5	10.0	12.4	12.5	13.0	9.5	6.6	4.4	0.3	9.6	8.0	2	119.5%
(婦人科)	-	5.8	5.4	5.2	5.8	6.8	7.6	6.1	5.7	7.2	6.8	5.8	8.5	6.4	6.9	-1	92.3%
歯科口腔外科	4	1.9	1.9	1.9	2.1	2.0	1.8	1.9	2.4	1.8	1.5	1.1	1.5	1.8	2.5	-1	73.3%
総合診療部	3	3.1	2.7	3.9	5.9	5.5	4.2	5.3	4.2	4.6	3.7	4.9	4.1	4.3	1.9	2	226.9%
救命救急センター	24	39.4	45.6	41.8	42.6	43.8	36.4	37.7	39.4	41.5	53.5	53.3	44.4	43.2	51.3	-8	84.3%
心臓血管外科	_	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	_
合 計	231	234.3	231.7	225.5	225.4	230.4	213.4	223.2	227.6	216.5	226.7	221.8	216.4	224.4	248.3	-24	90.4%

(3) 病床利用率

区分	病床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	合計	増減率
ICU	12	63.1%	64.8%	53.1%	48.7%	54.3%	62.5%	44.6%	41.1%	56.2%	64.5%	71.4%	60.5%	57.0%	66.3%	-9.4%	85.9%
SCU	8	37.9%	37.5%	37.1%	37.1%	37.5%	36.3%	72.2%	75.0%	72.2%	56.9%	0.0%	0.0%	41.9%	63.7%	-21.8%	65.8%
救急病棟	31	71.3%	61.5%	55.1%	67.0%	57.9%	51.4%	65.0%	71.7%	72.2%	70.2%	52.3%	58.2%	62.9%	85.5%	-22.6%	73.6%
3階病棟	50	64.2%	54.3%	71.7%	76.0%	70.6%	72.9%	76.5%	82.9%	73.0%	73.8%	63.8%	63.4%	70.3%	74.0%	-3.8%	94.9%
4階病棟	50	92.5%	94.0%	96.8%	88.2%	88.6%	83.5%	93.2%	92.7%	88.2%	89.4%	84.1%	82.8%	89.5%	91.0%	-1.5%	98.4%
5階病棟	50	84.7%	86.5%	84.6%	85.0%	84.3%	81.1%	89.4%	88.3%	84.3%	76.7%	72.8%	67.5%	82.2%	90.4%	-8.3%	90.9%
6階病棟	42	53.3%	61.2%	57.4%	56.0%	59.5%	57.5%	73.1%	72.1%	56.3%	60.0%	69.9%	71.0%	62.2%	53.6%	8.7%	116.2%
(SCU と 6階病棟)	50	50.8%	57.4%	54.1%	53.0%	56.0%	54.1%	73.0%	72.5%	58.8%	59.5%	58.7%	59.7%				-
7階病棟	50	86.7%	87.5%	88.5%	87.6%	82.9%	64.7%	61.8%	63.0%	70.3%	87.3%	75.1%	81.2%	78.1%	93.2%	-15.1%	83.8%
8階病棟	50	30.4%	30.2%	8.5%	7.8%	29.3%	23.5%	1.6%	1.3%	0.1%	7.7%	49.4%	34.4%	17.7%	26.8%	-9.6%	66.1%
合 計	343	68.3%	67.6%	65.7%	65.7%	67.2%	62.2%	65.1%	66.3%	63.1%	66.1%	64.7%	63.1%	65.4%	72.4%	-7.0%	90.4%

(4) 平均在院日数

(日)

区分	病床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均在院日数	231	9.3	10.9	9.5	9.1	9.0	9.0	9.3	8.9	8.6	10.2	10.8	10.0	9.5

5. 令和3年度外来患者数

(1) 延数

(人)

科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	差引	増減率
消化器内科	853	785	852	801	854	779	883	883	883	883	883	857	10,121	10,043	78	100.8%
循環器内科	1,151	978	1,121	1,137	1,166	1,112	1,149	1,212	1,156	1,127	1,150	1,233	13,692	13,020	672	105.2%
呼吸器内科	598	503	547	538	513	600	544	573	565	511	451	635	6,578	6,350	228	103.6%
免疫内科	313	251	273	307	254	308	269	292	279	274	287	334	3,441	2,873	568	119.8%
糖尿病内科	519	392	502	470	519	462	481	465	490	464	438	540	5,742	5,779	-37	99.4%
心療内科	183	187	176	178	189	166	180	191	187	165	159	148	2,109	2,251	-142	93.7%
神経内科	58	60	62	61	68	53	52	67	62	65	71	72	751	685	66	109.6%
小児科	302	275	284	318	363	257	237	271	326	274	244	306	3,457	2,807	650	123.2%
消化器外科	840	679	721	728	720	737	731	777	737	719	673	714	8,776	9,015	-239	97.3%
乳腺外科	692	591	740	686	617	744	725	768	772	635	708	684	8,362	8,178	184	102.2%
整形外科	1,251	1,065	1,404	1,362	1,413	1,421	1,348	1,365	1,407	1,271	1,207	1,532	16,046	14,833	1,213	108.2%
脳神経外科	163	139	183	168	167	165	169	178	185	158	175	212	2,062	1,582	480	130.3%
泌尿器科	867	676	895	841	865	865	840	854	935	808	832	1,000	10,278	9,607	671	107.0%
産科婦人	888	750	863	897	836	856	883	926	854	752	671	792	9,968	9,886	82	100.8%
(産科)	208	172	192	218	195	179	197	206	158	104	51	15	1,895	2,222	-327	85.3%
(婦人科)	680	578	671	679	641	677	686	720	696	648	620	777	8,073	7,664	409	105.3%
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-1	0.0%
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	-9	0.0%
耳鼻咽喉科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	110	-109	0.9%
歯科口腔外科	691	602	690	670	721	691	733	711	805	691	698	783	8,486	8,401	85	101.0%
総合初期研修科	47	48	58	30	59	69	61	33	41	56	52	46	600	406	194	147.8%
心リハ科	28	31	39	34	36	43	39	50	43	40	28	28	439	452	-13	97.1%
放射線科	333	253	290	272	266	293	332	353	334	270	254	306	3,556	3,165	391	112.4%
救命救急センター	592	619	551	647	626	563	561	551	684	711	547	556	7,208	7,465	-257	96.6%
心臓血管外科	6	9	17	6	13	10	7	15	10	8	13	13	127	103	24	123.3%
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8	-7	12.5%
呼吸器外科	8	7	8	8	9	4	11	16	12	8	6	18	114	100	14	114.0%
合 計	10,383	8,900	10,276	10,160	10,274	10,198	10,235	10,616	10,755	9,840	9,470	10,809	121,916	117,130	4,786	104.1%

(2) 1日平均患者数

(人)

科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	差引	増減率
消化器内科	38.8	43.6	38.7	38.1	38.8	37.1	42.0	43.0	41.5	41.7	42.4	37.3	40.2	39.7	0.5	101.2%
循環器内科	52.3	54.3	51.0	54.1	53.0	53.0	54.7	55.1	55.0	56.4	60.5	53.6	54.3	51.5	2.9	105.6%
呼吸器内科	27.2	27.9	24.9	25.6	23.3	28.6	25.9	26.0	26.9	25.6	23.7	27.6	26.1	25.1	1.0	104.0%
免疫内科	14.2	13.9	12.4	14.6	11.5	14.7	12.8	13.3	13.3	13.7	15.1	14.5	13.7	11.4	2.3	120.2%
糖尿病内科	23.6	21.8	22.8	22.4	23.6	22.0	22.9	21.1	23.3	23.2	23.1	23.5	22.8	22.8	-0.1	99.8%
心療内科	8.3	10.4	8.0	8.5	8.6	7.9	8.6	8.7	8.9	8.3	8.4	6.4	8.4	8.9	-0.5	94.1%
神経内科	2.6	3.3	2.8	2.9	3.1	2.5	2.5	3.0	3.0	3.3	3.7	3.1	3.0	2.7	0.3	110.1%
小児科	13.7	15.3	12.9	15.1	16.5	12.2	11.3	12.3	15.5	13.7	12.8	13.3	13.7	11.1	2.6	123.6%
消化器外科	38.2	37.7	32.8	34.7	32.7	35.1	34.8	35.3	35.1	36.0	35.4	31.0	34.8	35.6	-0.8	97.7%
乳腺外科	31.5	32.8	33.6	32.7	28.0	35.4	34.5	34.9	36.8	31.8	37.3	29.7	33.2	32.3	0.9	102.7%
整形外科	56.9	59.2	63.8	64.9	64.2	67.7	64.2	62.0	67.0	63.6	63.5	66.6	63.7	58.6	5.0	108.6%
脳神経外科	7.4	7.7	8.3	8.0	7.6	7.9	8.0	8.1	8.8	7.9	9.2	9.2	8.2	6.3	1.9	130.9%
泌尿器科	39.4	37.6	40.7	40.0	39.3	41.2	40.0	38.8	44.5	40.4	43.8	43.5	40.8	38.0	2.8	107.4%
産科婦人	40.4	41.7	39.2	42.7	38.0	40.8	42.0	42.1	40.7	37.6	35.3	34.4	39.6	39.1	0.5	101.2%
(産科)	9.5	9.6	8.7	10.4	8.9	8.5	9.4	9.4	7.5	5.2	2.7	0.7	7.5	8.8	-1.3	85.6%
(婦人科)	30.9	32.1	30.5	32.3	29.1	32.2	32.7	32.7	33.1	32.4	32.6	33.8	32.0	30.3	1.7	105.8%
形成外科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
眼科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
耳鼻咽喉科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	-0.4	0.9%
歯科口腔外科	27.6	26.2	26.5	26.8	28.8	28.8	28.2	29.6	32.2	30.0	31.7	30.1	28.9	28.4	0.5	101.7%
総合初期研修科	2.1	2.7	2.6	1.4	2.7	3.3	2.9	1.5	2.0	2.8	2.7	2.0	2.4	1.6	0.8	148.4%
心リハ科	1.3	1.7	1.8	1.6	1.6	2.0	1.9	2.3	2.0	2.0	1.5	1.2	1.7	1.8	0.0	97.5%
放射線科	15.1	14.1	13.2	13.0	12.1	14.0	15.8	16.0	15.9	13.5	13.4	13.3	14.1	12.5	1.6	112.8%
救命救急センター	19.7	20.0	18.4	20.9	20.2	18.8	18.1	18.4	22.1	22.9	19.5	17.9	19.7	20.5	-0.7	96.6%
心臓血管外科	0.3	0.5	0.8	0.3	0.6	0.5	0.3	0.7	0.5	0.4	0.7	0.6	0.5	0.4	0.1	123.8%
麻酔科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5%
呼吸器外科	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.2	0.5	0.7	0.6	0.4	0.3	0.8	0.5	0.4	0.1	114.5%
合 計	461.0	472.8	455.6	467.7	454.8	473.5	472.1	473.2	495.5	474.9	484.2	459.8	470.1	449.1	21.0	104.7%

(3) 新患率

科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2年度計	増減率
消化器内科	18.3%	14.6%	14.8%	13.9%	16.4%	19.8%	19.7%	17.1%	16.8%	19.3%	18.5%	18.4%	17.3%	16.0%	108.5%
循環器内科	11.5%	10.3%	9.5%	10.7%	13.6%	10.6%	10.3%	11.5%	10.0%	12.1%	12.1%	10.2%	11.0%	9.7%	113.5%
呼吸器内科	9.4%	5.6%	9.7%	10.6%	11.3%	6.8%	9.4%	9.8%	10.4%	8.8%	7.1%	9.1%	9.0%	8.9%	101.1%
免疫内科	8.9%	4.0%	5.1%	3.9%	8.7%	5.5%	7.4%	6.8%	4.3%	9.9%	6.6%	6.6%	6.5%	6.8%	96.0%
糖尿病内科	3.3%	2.3%	2.6%	3.4%	3.9%	2.4%	3.3%	2.2%	3.9%	3.0%	4.6%	4.3%	3.3%	2.7%	119.8%
心療内科	1.6%	1.1%	0.6%	0.6%	0.5%	0.6%	2.2%	1.0%	1.1%	1.8%	1.9%	2.0%	1.2%	1.0%	120.7%
神経内科	5.2%	5.0%	6.5%	4.9%	0.0%	5.7%	3.8%	3.0%	3.2%	6.2%	5.6%	2.8%	4.3%	3.9%	108.1%
小児科	29.1%	29.8%	34.5%	30.8%	27.3%	31.5%	24.9%	27.7%	25.5%	27.7%	30.3%	23.5%	28.5%	27.7%	102.9%
消化器外科	9.8%	10.0%	6.5%	7.0%	9.2%	10.2%	6.0%	8.4%	7.6%	11.0%	12.6%	11.6%	9.1%	8.9%	102.2%
乳腺外科	8.4%	7.1%	5.8%	8.9%	9.1%	6.6%	5.5%	6.4%	7.1%	5.5%	8.8%	7.9%	7.2%	6.4%	112.9%
整形外科	11.9%	10.3%	10.8%	9.3%	11.8%	9.0%	9.2%	10.2%	8.5%	12.0%	11.0%	10.2%	10.3%	10.9%	94.4%
脳神経外科	35.6%	37.4%	24.0%	28.0%	38.3%	21.8%	25.4%	24.7%	19.5%	31.0%	30.9%	28.8%	28.5%	26.9%	106.1%
泌尿器科	7.5%	7.5%	6.0%	7.4%	7.9%	6.2%	7.1%	5.6%	7.0%	8.9%	8.1%	8.9%	7.3%	6.8%	107.3%
産科婦人	10.4%	8.8%	8.5%	9.1%	8.1%	8.2%	9.3%	8.0%	6.8%	8.6%	11.5%	9.0%	8.8%	9.1%	96.9%
(産科)	2.4%	2.9%	3.1%	2.8%	3.1%	2.2%	3.6%	1.9%	1.9%	1.0%	3.9%	0.0%	2.6%	2.3%	110.5%
(婦人科)	12.8%	10.6%	10.0%	11.2%	9.7%	9.7%	10.9%	9.7%	7.9%	9.9%	12.1%	9.1%	10.3%	11.1%	92.9%
耳鼻咽喉科	_	-	-	- 1	-	_	_	_	_	_	_	_	0.0%	5.5%	0.0%
歯科□腔外科	33.7%	27.7%	31.6%	31.3%	33.1%	31.3%	27.4%	30.8%	28.1%	32.6%	30.9%	25.8%	30.3%	28.2%	107.6%
総合初期研修科	38.3%	45.8%	31.0%	16.7%	32.2%	27.5%	19.7%	21.2%	31.7%	42.9%	46.2%	39.1%	33.2%	23.9%	138.8%
心リハ科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
放射線科	82.9%	85.4%	85.5%	83.5%	87.2%	86.7%	85.8%	89.0%	88.3%	85.6%	88.2%	83.7%	86.0%	87.8%	97.9%
救命救急センター	86.1%	85.8%	83.3%	83.9%	84.5%	85.3%	84.7%	84.6%	82.6%	85.0%	83.4%	81.8%	84.3%	83.7%	100.7%
心臓血管外科	16.7%	11.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	1.9%	162.2%
呼吸器外科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	87.7%
合 計	20%	19%	17%	18%	20%	18%	18%	18%	18%	20%	19%	18%	18%	18%	103%

(人)

24

6. 疾病統計

(1) 疾病大分類別・診療科別・病名数

(注) 転科サマリを1件とする

		総数	構成比 (%)	脳神経 外科	消化器 外科	乳腺・ 内分泌 外科	整形 外科	婦人科	泌尿器	歯科口 腔外科	救命	循環器 内科	消化器 内科	呼吸器 内科	糖尿病 内科	免疫 内科	総合診	小児科	産科
総数	ţ .	8,281	100.0	430	831	129	773	407	537	189	1,607	1,222	756	378	97	138	108	357	322
構原	战比 (%)	100.0	_	5.2	10.0	1.6	9.3	4.9	6.5	2.3	19.4	14.8	9.1	4.6	1.2	1.7	1.3	4.3	3.9
I	感染症及び寄生虫症	140	1.7	_	14	_	_	1	1	-	33	3	20	10	2	4	11	41	_
П	新生物	1,332	16.1	12	183	116	4	215	325	13	13	2	369	76	_	2	-	2	-
Ш	血液及び造血器の疾患並びに免疫 機構の障害	27	0.3	_	3	2	-	2	-	-	3	6	5	1	-	3	1	-	1
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	167	2.0	2	4	3	_	3	-	-	61	13	2	_	59	_	7	13	-
V	精神及び行動の障害	13	0.2	_	-	_	_	_	-	-	10	1	-	_	_	_	1	1	_
VI	神経系の疾患	145	1.8	31	1	_	4	_	_	-	30	29	-	34	_	1	9	6	_
VII	眼及び付属器の疾患	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	-	-	_
VIII	耳及び乳様突起の疾患	3	-	_	_	_	_	_	_	-	2	1	-	_	_	_	-	-	_
IX	循環器系の疾患	1,826	22.1	299	5	1	1	_	_	-	455	1,046	5	3	_	3	6	2	_
Х	呼吸器系の疾患	402	4.9	_	8	1	_	_	4	-	65	21	4	116	16	33	23	111	_]
XI	消化器系の疾患	1,276	15.4	_	578	_	_	_	4	151	196	7	335	_	_	1	4	-	_
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	31	0.4	_	-	1	6	_	_	-	6	4	2	_	_	3	3	6	_
XII	筋骨格系及び結合組織の疾患	287	3.5	1	2	-	220	_	1	-	10	3	-	_	1	31	8	10	_
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	459	5.5	_	5	3	1	179	187	-	19	18	3	1	13	3	14	11	2
XV	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	324	3.9	_	-	-	_	5	-	_	_	_	-	_	_	_	_	-	319
ΧVI	周産期に発生した病態	142	1.7	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	-	142	-
XVI	先天奇形、変形及び染色体異常	9	0.1	2	_	_	_	_	2	3	_	_	_	_	_	_	_	2	_
XVII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	46	0.6	1	7	_	_	_	-	_	10	8	2	3	2	4	4	5	_
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,329	16.0	81	4	2	537	2	12	22	642	12	6	_	1	-	3	5	_
ХХ	傷病及び死亡の外因	_	-	-	_	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	-	-	-
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び 保健サービスの利用	48	0.6	1	10	-	_	_	1	-	_	36	-	_	_	_	-	-	_
XXI	特殊目的用コード	275	3.3	_	7	_	_	_	_	-	52	12	3	134	3	50	14	-	_

(2) 疾病中分類別・診療科別・病名数

(注) 転科サマリを1件とする

	総数	構成比 (%)	脳神経 外科	消化器 外科	乳腺・ 内分泌 外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	歯科口 腔外科	救命	循環器 内科	消化器内科	呼吸器 内科	糖尿病 内科	免疫 内科	総合診	小児科	産科
総数	8,281	100.0	430	831	129	773	407	537	189	1,607	1,222	756	378	97	138	108	357	322
構成比 (%)	100.0	_	5.2	10.0	1.6	9.3	4.9	6.5	2.3	19.4	14.8	9.1	4.6	1.2	1.7	1.3	4.3	3.9
I 感染症及び寄生虫症	140	1.7		14	_	-	1	1	-	33	3	20	10	2	4	11	41	_
001 腸管感染症	55	0.7		13	-	-	_	-	-	1	3	15	-	_	1	2	21	-
002 結核	5	0.1	_	_	_	_	_	-	_	1	_	-	1	_	1	1	1	-
003 人畜共通細菌性疾患	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	-	-
004 その他の細菌性疾患	50	0.6		1	-	_	-	1	-	29		1	6	2	2	4	4	-
005 主として性的伝播様式をとる感染症	1	_	_	_	_	_	1	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
006 その他のスピロヘータ疾患	_	_	-	_	_	_	-	-	-	_	_	-	_	_	_	_	-	-
007 クラミジアによるその他の疾患	-	_	_	-	-	_	_	-	_	_	-	-	_	_	-	_	_	-
008 リケッチア症	1	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	1	-	-
009 中枢神経系のウイルス感染症	1	_	_	-	_	_	_	-	_	1	_	-	_	_	-	_	_	-
010 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	_	_		1	-	_	_	-	-	_		-	-	_	1	-	-	-
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	8	0.1	_	_	_	_	_	-	_	1	_	_	_	_	_	_	7	-
012 ウイルス性肝炎	4	_	_	_	_	_	-	-	-	_	_	4	_	_	-	_	-	-
013 ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	_	_	_		-	_	_	-	-	_	-	-	-	_	-	-	-	-
014 その他のウイルス性疾患	11	0.1	-	_	_	-	_	-	-	_	_	_	_	_	_	3	8	
015 真菌症	1	_		_	_	_	_	-	_	_	_	_	1	_	_	_	_	-
016 原虫疾患	3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	2	_	1	_	_	_
017 ぜん<蠕>虫症	_	_	_	_	_	-	_	-	_	_	_	-	_	-	_	_	_	_

	総数	構成比		消化器	乳腺・ 内分泌	整形	婦人科	泌尿	歯科口	救命	循環器	消化器	呼吸器	糖尿病	免疫	総合診	小児科	産科
	۸۶۵۰۱۲	(%)	外科	外科	外科	外科	747 (11	器科	腔外科	37012	内科	内科	内科	内科	内科	40.00	3 7011	
018 シラミ症、ダニ症及びその他の動物寄生症	_	_		_	_	_	_		_	_	_	_	_		_	-	_	
019 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	_	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_
020 細菌、ウイルス及びその他の病原体	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
021 その他の感染症	- 4 222	-	-	-	-		-	-	-	-	_	-	-		_	_	_	_
Ⅱ 新生物	1,332	16.1	12	183	116	4	215	325	13	13	2	369	76	_	2	_	2	_
022 □唇、□腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	316	0.1	_	- 162	_	_	_	_	7	1	_	146	_		_	_	_	_
023 消化器の悪性新生物<腫瘍> 024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物<腫瘍>	316 70	3.8	_	163	1	_	_	_	_	6	_	146	67	_	_	_	_	_
024 庁収益及び胸腔内臓器の窓性和主物へ腫瘍>		- 0.0		_ '	'					'		_	- 07			_		
026 皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物<腫瘍>	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物<腫瘍>	3	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_	2	_	_	_	_	_
028 乳房の悪性新生物<腫瘍>	96	1.2	_		96	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
029 女性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	45	0.5	_	1	_	_	44	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
030 男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	148	1.8	_	1	_	_	_	147	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
031 腎尿路の悪性新生物<腫瘍>	159	1.9	_	1	_	_	_	156	_	1	_	_	_	_	_	_	1	_
032 眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物<腫瘍>	1	_	1	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物<腫瘍>	3	_	_	_	3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	34	0.4	2	8	5	1	3	7	_	1	_	1	6	_	_	-	_	_
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	12	0.1	1	2	_	_	_	2	_	1	2	1	_	_	2	_	1	_
<腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの	'-									·								
036 独立した (原発性) 多部位の悪性新生物 <腫瘍 >	-	- 0.1	_	_	_	_	-		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
037 上皮内新生物<腫瘍>	11	0.1	-		_ 0	- 2	150	5		_ 1	_	217	_	_	_	_	_	_
038 良性新生物<腫瘍>	407	4.9 0.2	6	5	8	3	158	8	5	1	_	217	_	_		_		_
039 性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	19	_	ь		2		2	_	1	1	- (5	_ 1	_	3	_ 1		
■ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害040 栄養性貧血	27 14	0.3	_	2		_	2		_	1	4	4	1	_	_ 3	1	_	1
041 溶血性貧血	14	- 0.2		_	_	_		_	_		_ 4	_ 4		_	_	_		_ '
042 無形成性貧血及びその他の貧血	5	0.1	_	_	2	_	_		_	1	1	1	_	_	_	_	_	_
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	1	-	_	_	_	_	_		_			_	_	_	_	1	_	_
044 血液及び造血器のその他の疾患	4	_	_	1	_	_	_	_	_	1	1	_	1	_	_		_	_
045 免疫機構の障害	3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	3	_	_	_
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	167	2.0	2	4	3	_	3	_	_	61	13	2	_	59	_	7	13	_
046 甲状腺障害	2	_	_	_	1	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_
047 糖尿病	56	0.7	_	_	_	_	-	_	_	10	_	_	_	45	_	1	_	_
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	20	0.2	1	_	-	_	-	-	-	14	_	-	_	5	_	-	_	_
049 その他の内分泌腺障害	13	0.2	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	1	_	1	10	
050 栄養失調 (症)	_	-	-	_	_	_	-	-	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_
051 その他の栄養欠乏症	2	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	1	_	_
052 肥満(症)及びその他の過栄養<過剰摂食>	1	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_
053 代謝障害	73	0.9	1	4	2	_	2	_	_	35	13	2	_	7	-	4	3	
V 精神及び行動の障害	13	0.2	_	_	-	_	-	-	_	10	1	_	_	_	_	1	1	_
054 症状性を含む器質性精神障害	2			_	_		_		_	1	_	_	_		_	1		
055 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	8	0.1	_	_	_	_	_	_	_	8	_	_	_	_	_	-	_	_
056 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_		_	_	_	_
057 気分 [感情] 障害	-	_		_	_	_	_		_			_	_	_	_	_	_	_
058 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	_	_	_	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	_	_	_ 1	_
059 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	1	_
060 成人の人格及び行動の障害 061 知的障害<精神遅滞>	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
062 心理的発達の障害	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
063 小児<児童>期及び青年期に通常																		
発症する行動及び情緒の障害	_	_	-	_	_	_	_	-	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_
064 詳細不明の精神障害	_	_	-	-	_	_	_	_	_	-	-	_	-	_	_	_	_	_
VI 神経系の疾患	145	1.8	31	1	_	4	_	-	_	30	29	_	34	_	1	9	6	_
065 中枢神経系の炎症性疾患	8	0.1	3	_	_	_	_	_	-	2	_	_	_	_	1	2	_	_
066 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	1	_	_	_	_	-	_	-	_	_	_	-	_	_	-	-	1	_
067 錐体外路障害及び異常運動	3	_	1	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1	_	_
068 神経系のその他の変性疾患	3	_	_	_	_	_	_	_	_	2	_	_	_	_	_	1	_	_
069 中枢神経系の脱髄疾患	_	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	-	_	_	-	-	_	_
070 挿間性及び発作性障害	92	1.1	21	_	_	_	_	_	_	19	14	_	34	_	_	3	1	_
071 神経、神経根及び神経そう<叢>の障害	4	_	_	_	_	4	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
072 多発(性)ニューロパチ<シ>- 及びその他の末梢神経系の障害	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
073 神経筋接合部及び筋の疾患		_		_						_		_		_		_		_
074 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	_	_	_	_	_	_			_	_		_		_	_	_	_	_
075 神経系のその他の障害	34	0.4	6	_	_	_	_	_	_	7	15	_	_	_	_	2	4	_
*** TANTAL C => 10 => N = 10	J-4	0.4									1.5						-	

	総数	構成比		消化器	乳腺・ 内分泌	整形	婦人科	泌尿	歯科口	救命	循環器	消化器	呼吸器	糖尿病	免疫	総合診	小児科	産科
	110.331	(%)	外科	外科	外科	外科	7,127 (111	器科	腔外科	371-	内科	内科	内科	内科	内科	4.0.2.0	3 7 3 1 1	
Ⅲ 眼及び付属器の疾患	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_
076 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_
077 結膜の障害		_		_	_		_	_	_	_	_	_	_	_		_		_
078 強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害 079 水晶体の障害	_	_		_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_
080 脈絡膜及び網膜の障害	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
081 緑内障	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
082 硝子体及び眼球の障害	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
083 視神経及び視(覚)路の障害	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
084 眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
085 視機能障害及び盲<失明>	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
086 眼及び付属器のその他の障害	-	-	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_
Ⅲ 耳及び乳様突起の疾患	3	_	-	_	_	_	_	-	-	2	1	-	-	_	-	-	_	_
087 外耳疾患	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
088 中耳及び乳様突起の疾患	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
089 内耳疾患	3	_	_	_	_	_	_	_	_	2	1	_	_	_	_	-	_	_
090 耳のその他の障害	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
IX 循環器系の疾患	1,826	22.1	299	5	1	1	_	_	_	455	-	5	3	_	3	6	2	_
091 急性リウマチ熱	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
092 慢性リウマチ性心疾患	_	- 0.1		_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_
093 高血圧性疾患 094 虚血性心疾患	659	0.1 8.0	_	_	_	_	_	_	_	109	5 550	-	_	_	1	_	_	_
094 虚皿性心疾患 095 肺性心疾患及び肺循環疾患	31	0.4	_	_ 2	_	_	_	_	_	109	15	_	1	_	1	_	_	_
096 その他の型の心疾患	754	9.1			1		_		_	312	435	1	2	_	1	2	_	_
097 脳血管疾患	310	3.7	298	_	_	_	_	_	_	9	433	_		_	_	2	_	_
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	44	0.5	1	_	_	1	_	_	_	10	30	1	_	_	_	1	_	_
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	20	0.2	_	3	_	_	_	_	_	3	10	3	_	_	_	1	_	_
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	2	_
X 呼吸器系の疾患	402	4.9	- 1	8	1	_	_	4	_	65	21	4	116	16	33	23	111	_
101 急性上気道感染症	20	0.2	-	_	_	-	_	-	-	3	-	-	_	-	-	-	17	-
102 インフルエンザ及び肺炎	120	1.4	_	2	1	_	_	1	_	4	8	1	35	4	11	3	50	-
103 その他の急性下気道感染症	25	0.3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	25	_
104 上気道のその他の疾患	2	_	_	_	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	_	-	_	_
105 慢性下気道疾患	48	0.6	_	_	_	_	_	-	-	7	1	_	14	_	6	1	19	_
106 外的因子による肺疾患	87	1.1	_	3	_	_	_	3	_	25	8	2	14	12	5		_	_
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	30	0.4	_	-	_	_	_	_	_	4	_	_	18	_	8	_	_	_
108 下気道の化膿性及び えく壊>死性病態	15	0.2	_	1	_	_		_	_	2	_	_	9	_	1	2	_	_
109 胸膜のその他の疾患 110 呼吸器系のその他の疾患	42 13	0.5	_	2	_	_	_	_	_	13	3	_ 1	22 4	_	_ 2	2	_	_
XI 消化器系の疾患	1,276	15.4		578	_			4	151	196	7	335	_		1	4		_
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	153	1.8	_	_	_	_	_	_	151	2			_	_	_ '	_	_	_
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	81	1.0		9	_	_	_	_	-	42	4	26	_	_	_	_	_	_
113 虫垂の疾患	109	1.3	_	97	_	_	_	_	_	8	_	4	_	_	_	_	_	_
114 ヘルニア	159	1.9	_	156	_	_	_	1	_	2	_	_	_	_	_	_	_	_
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	7	0.1	- 1	_	_	_	_	_	_	_	_	7	_	_	_	-	_	_
116 腸のその他の疾患	384	4.6	_	169		_	_	1	_	66	2	146	_	_	_	_	_	_
117 腹膜の疾患	20	0.2		4	_	_	_	-	-	14	_	1		_	-	1	_	_
118 肝疾患	29	0.4		5	_	_	_	_	_	12		11	_	_	_	1	_	_
119 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	296	3.6		132	_	_	_	_	_	32	1	128	_	_	1	2	_	_
120 消化器系のその他の疾患	38	0.5	_	6	_	_	_	2	-	18		12	_	_	_	-	_	_
	31	0.4	_	_	1	6	_	_	_	6	4	2	_	_	3		6	_
121 皮膚及び皮下組織の感染症	26	0.3		_	1	6	_	_	_	5	4	2	_	_	1	2	5	_
122 水疱症 123 皮膚炎及び湿疹	2	_		_	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_	1	_	_	_
123 反層交及び流移 124 丘疹落せつく屑>くりんせつく鱗屑>>性障害		_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_
125 じんま<蕁麻>疹及び紅斑	3	_		_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	1	1	1	
126 皮膚及び皮下組織の放射線 (非電離及び電離) に関連する障害		-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-
127 皮膚付属器の障害	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	_	_	- 1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
2 筋骨格系及び結合組織の疾患	287	3.5	1	2	_	220	_	1	_	10	3	_	_	1	31	8	10	_
129 感染性関節障害	7	0.1	-	_	_	4	-	-	-	1	-	_	-	_	1	-	1	_
130 炎症性多発性関節障害	19	0.2	_	1	_	1	_	_	_	_	1	_	_	_	15	1	_	_
131 関節症	45	0.5	_	_	_	45	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
132 その他の関節障害	6	0.1	_	_	_	6	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
	•																	

	総数	構成比 (%)	脳神経 外科	消化器外科	乳腺・ 内分泌 外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	歯科口 腔外科	救命	循環器 内科	消化器内科	呼吸器 内科	糖尿病内科	免疫内科	総合診	小児科	産科
133 全身性結合組織障害	33	0.4	_	_	_	_	_	_	_	1	1	_	_	_	15	7	9	_
134 変形性脊柱障害	14	0.2	_	_	_	14	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
135 脊椎障害	95	1.1	1	_	_	92	-	1	_	1	_	_	-	_	_	_	-	-
136 その他の脊柱障害	39	0.5	_	_	_	39	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_
137 筋障害	5	0.1	_	_	_	_	_	_	_	3	1	_	_	1	_	-	_	_
138 滑膜及び腱の障害	1	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
139 その他の軟部組織障害	4	_	_	1	_	2	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_
140 骨の密度及び構造の障害	6	0.1	-	-	_	4	_	_	-	2	-	-	_	_	_	_	-	
141 その他の骨障害	8	0.1	_	_	_	8	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
142 軟骨障害	1	-	_	_	-	1	_	-	-	_	_	-	_	_	_	-	_	_
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	_	_	_	_	3	_		_	1	_	_	_		_	_	_	_
₩ 腎尿路生殖器系の疾患	459	5.5	_	5	3	1	179	187	_	19	18	3	1	13	3	14	11	2
144 糸球体疾患	3	-	_	-	_	_	_	-	_	-	-	_	-	-	-	-	3	_
145 腎尿細管間質性疾患	109	1.3	_	2	_	_	_	83	_	2	4	_	1	6	3	4	4	_
146 腎不全	19	0.2	_	1	1	_	_	3	_	6	8	_	_	_	_	_	_	_
147 尿路結石症	50	0.6	_	_	_	_	_	46	_	3	_	1	_	_	_	_	_	_
148 腎及び尿管のその他の障害	6	0.1	_	_			_	1	_	2	3	_		-	_	-		_
149 尿路系のその他の疾患	53	0.6	_	2	_	1	_	21	_	5	3	2	_	6	_	9	4	_
150 男性生殖器の疾患 151 乳房の障害	35	0.4	_	_	_ 2	_	_	33	_	1	_	_	_	_	_	-		_
151 乳房の障害 152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	10	0.1	_	_		_	9	_	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患 153 女性生殖器の非炎症性障害	172	2.1		_	_		170	_	_	_	_	_	_	_ '	_	_	_	2
153 女性生殖器の非交征性障害 154 腎尿路生殖器系のその他の障害	1/2	Z.1		_	_	_	1/0	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
W 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	324	3.9	_	_	_	_	5	_	_	_		_	_	_	_	_	_	319
155 流産に終わった妊娠	44	0.5	_	_	_	_	3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	41
156 妊娠、分娩及び産じょく<褥>における浮		0.5					, ,											
腫、タンパク<蛋白>尿及び高血圧性障害	17	0.2	-	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	17
157 主として妊娠に関連するその他の母体障害	38	0.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	38
158 胎児及び羊膜腔に関連する母体ケ	68	0.8	_	_	_	_	2	_	_	_	_	_			_	_	_	66
ア並びに予想される分娩の諸問題	00	0.0																
159 分娩の合併症	53	0.6	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	53
160 分娩	102	1.2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	102
161 主として産じょく<褥>に関連する合併症	-	_	_	_	-	_	_	_	-	_	_	-	_	-	_	_	_	-
162 その他の産科的病態、他に分類されないもの	2	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	2
XVI	66	0.8	_	_	-	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	_	66	_
164 妊娠期間及び胎児発育に関連する 障害	16	0.2	_	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-
165 出産外傷			_	_							_				_	_		_=]
166 周産期に特異的な呼吸障害及び心 血管障害	5	0.1	_	_	-	-	_	-	-	-	_	-	-	_	-	-	5	_
167 周産期に特異的な感染症	43	0.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	43	
168 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	4	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	_
169 胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害	8	0.1	_	_	-	_	_	-	-	_	-	-	_	_	_	-	8	_
170 胎児及び新生児の消化器系障害																		_
171 胎児及び新生児の外皮及び体温調 節に関連する病態	-	_	-	-	_	-	-	_	_	-	-	_	_	-	_	_	-	-
172 周産期に発生したその他の障害	-	_	-	-	-	_	-	-	-	_	-	_	_	_	-	_	_	_
XVI 先天奇形、変形及び染色体異常	9	0.1	2	_	_	_	_	2	3	_	_	_	_	_	_	_	2	_
173 神経系の先天奇形	-	-	-	_	-	_	_	-	-	-	_	_	_	_	_	-	-	_
174 眼、耳、顔面及び頚部の先天奇形	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
175 循環器系の先天奇形	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	_	_	-	-	2	-
176 呼吸器系の先天奇形	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
177 唇裂及び□蓋裂	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
178 消化器系のその他の先天奇形	3	_	_	-	_	_	-	_	3	_	-	_	_	_	_	-	_	-
179 生殖器の先天奇形	2	_	-	_	_	_	_	2	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
180 腎尿路系の先天奇形		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
182 その他の先天奇形	_			_						_				_	_	_		_
183 染色体異常、他に分類されないもの	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_
XII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	46	0.6	1	7	-	-	_	-	-	10	8	2	3	2	4	4	5	_
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	8	0.1	_	_	-	_	_	_	_	4	1	-	3	_	_	-	_	_
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	8	0.1	_	4	_	_	_	_	_	1	_	2	_	1	_	-	_	

	総数	構成比 (%)	脳神経 外科	消化器外科	乳腺・ 内分泌 外科	整形外科	婦人科	泌尿器科	歯科口 腔外科	救命	循環器 内科	消化器内科	呼吸器内科	糖尿病 内科	免疫内科	総合診	小児科	産科
186 皮膚及び皮下組織に関する症状及び徴候	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
188 腎尿路系に関する症状及び徴候	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	2	_	_	1	_	_	_	_	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_
190 言語及び音声に関する症状及び徴候	1	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
191 全身症状及び徴候	26	0.3	-	1	_	_	_	_	-	5	6	_	_	1	4	4	5	_
192 血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
193 尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
194 その他の体液、検体<材料>及び組織の検査の異常所見、診断名の記載がないもの	_	-	_	_	_	-	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-	_
195 画像診断及び機能検査における異 常所見、診断名の記載がないもの	1	-	_	1	-	-	_	-	_	-	_	-	-	_	-	-	-	1
196 診断名不明確及び原因不明の死亡	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	-	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,329	16.0	81	4	2	537	2	12	22	642	12	6	_	1	_	3	5	_
197 頭部損傷	284	3.4	77	2	_	-	_	1	21	183	-	_	_	_	_	_	-	-
198 頚部損傷	36	0.4	3	_	_	2	_	_	_	31	_	_	_	_	_	-	-	_
199 胸部<郭>損傷	64	0.8	_	_	_	18	_	_	_	46	_	_	_	_	_	_	-	_
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	158	1.9				56		10	_	92			_			_	_	
201 肩及び上腕の損傷	132	1.6	_	_	-	109	_	-	_	23	_	-	-	_	_	_	-	_
202 肘及び前腕の損傷	132	1.6	_	_	_	104	_	_	_	28	_	_	_	_	_	_	_	_
203 手首及び手の損傷	10	0.1	_	_	-	5	_	-	_	5	_	-	_	_	_	_	-	_
204 股関節部及び大腿の損傷	150	1.8	_	_	_	130	_	_	-	19	_	_	_	_	_	1	-	_
205 膝及び下腿の損傷	122	1.5	_	_	_	87	_	_	_	35	_	_	_	_	_	_	-	_
206 足首及び足の損傷	27	0.3	_	_	_	20	_	_	_	7	_	_	_	_	_	_	-	_
207 多部位の損傷	-	-		_	-	_	_	-	_	_	_	-	_	_	_	_	-	_
208 部位不明の体幹もしくは (四) 肢の損傷又は部位不明の損傷	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	-
209 自然開口部からの異物侵入の作用	9	0.1	_	_	_	_	1	_	_	6	_	2	_	_	_	_	-	_
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	7	0.1	_	_	_	_	_	_	_	7	_	_	_	_	_	_	_	_
211 眼及び内臓に限局する熱傷及び腐食	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
212 多部位及び部位不明の熱傷及び腐食	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_
213 凍傷	-	-	_	-	_	-	_	-	_	_	-	_	_	_	-	_	-	_
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	80	1.0	_	_	_	_	_	_	-	79	1	_	_	_	_	-	-	_
215 薬用を主としない物質の毒作用	27	0.3	_	_	-	_	_	-	-	27	_	-	_	-	-	-	-	_
216 外因のその他及び詳細不明の作用	61	0.7	-	-	1	_	-	-	-	49	2	1	_	1	-	2	5	-
217 外傷の早期合併症	2	_	-	_	-	-	_	-	_	2	_	_	_	_	_	_	-	_
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	27	0.3	1	2	1	5	1	1	1	3	9	3	_	_	_	_	-	_
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	_	_	_	-	1	_	-	-	-	_	-	-	_	_	-	-	_
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	- 1	_	-	-	- 1	-	-	- 1	_	-	- 1	-	-	_	- 1	_
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	48	0.6	1	10	_	_	_	1	_	_	36	_	_	_	_	_	_	_
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	_	_	_	_	-	_	_	_	-	_	_	-	-	_	_	_	-	-
221 伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	_	_	_	_	_	_	_	-	-	_	_	-	_	_	-	-	-	_
222 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_	_	_	-	_	_	_	-	_
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_
224 社会経済的環境及び社会心理的環境に関連する健康障害をきたす恐れのある者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
225 その他の環境下での保健サービスの利用者	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
226 家族歴、既住歴及び健康状態に影響をおよぼす特定 の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	48	0.6	1	10	-	-	-	1	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-
XXI 特殊目的用コード	275	3.3	_	7	_	_	_	_	-	52	12	3	134	3	50	14	-	_
227 原因不明の新たな疾患又はエマー ジェンシーコードの暫定分類	275	3.3	-	7	_	_	_	-	-	52	12	3	134	3	50	14	-	-
228 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
																		_

(3) 疾病大分類別・年齢階層別・病名数

(注) 転科サマリを1件とする

			総数	構成比 (%)	0− 28⊟	29日 -11月	1 - 4歳	5 - 9歳	10- 14歳	15- 19歳	20- 29歳	30- 39歳	40- 49歳	50- 59歳	60- 64歳	65- 69歳	70- 74歳	75- 79歳	80- 84歳	85- 89歳	90歳
総数	牧	男	8,281 4,453	100.0 100.0	144 69	43 23	138 70	81 51	63 49	159 91	334 129	551 150	678 341	901 541	425 291	536 333	1,010 661	953 563	1,134 562	753 378	378 151
		女計	3,828 100.0	100.0	75 1.7	20 0.5	68 1.7	1.0	0.8	68 1.9	205 4.0	401 6.7	337 8.2	360 10.9	134 5.1	203 6.5	349 12.2	390 11.5	572 13.7	375 9.1	227 4.6
構瓦	艾比 (%)	男女	100.0		1.5 2.0	0.5 0.5	1.6 1.8	1.1 0.8	1.1 0.4	2.0 1.8	2.9 5.4	3.4 10.5	7.7 8.8	12.1 9.4	6.5 3.5	7.5 5.3	14.8 9.1	12.6 10.2	12.6 14.9	8.5 9.8	3.4 5.9
I	感染症及び寄生虫症	計男	140 71	1.7 1.6		9 3	13 6	11 5	8 5	5 1	7 4	- 3	6 3	16 7	4 3	7 2	12 8	13 7	6 6	6 3	14 8
		女計	69 1,332	1.8 16.1	_	- 6	2	- 6	1	4	3 17	3 45	3 127	9 170	73	5 110	215	202	202	123	6 41
П	新生物	男女	653 679	14.7 17.7		-	1 1		1 –	_ 4	- 17	4 41	13 114	62 108	46 27	62 48	142 73	123 79	106 96	76 47	17 24
Ш	血液及び造血器の疾患並びに免疫機 構の障害	計男女	27 6 21	0.3 0.1 0.5		_ _ _	_ 			-	- - -	2 1	1 - 1	2 - 2	1 - 1	4 1 3	2 - 2	1 - 1	7 1 6	5 2 3	2 1
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計男	167 95	2.0 2.1		-	10	3	_	- -	2	6	12 5	18 10	6	10	25 15	14	28 14	23 14	8
		女計	72 13	1.9 0.2	_ _	- -	- 2	1 -	_ _	2	2	2	7 -	8	1	- 4	10 1	6 -	14	9 -	-
V	精神及び行動の障害	男女	5 8	0.1							1	1		1 2	1		 1		1		
VI	神経系の疾患	計男	145 92	1.8 2.1		3 1	1 -	1	_	3 1	6 5	13 10	22 19	27 18	10 7	7 5	15 7	10 8	15 4	9 5	2
		女計	53 -	1.4 -	_	- 2	1 -	1 -	-	2	1 -	- 3	- 3	9 -	- 3	2 	8	- 2	11 -	- 4	1
VII	眼及び付属器の疾患	男女	_ _	_ _		<u>-</u>				<u> </u>	_ _			_ _	<u>-</u>	_ _	<u>-</u>				
VII	耳及び乳様突起の疾患	計男	3 1		-	_			<u>-</u>	-		_	2 1	_ _	_	_ _	_ _	1 -		<u>-</u>	
		女計	1,826	0.1 22.1	_ _	_ 2	_ 	_ 1	_ 1	_ 3	- 10	_ 23	94	- 191	_ 108	- 163	- 291	288	- 343	- 188	- 120
IX	循環器系の疾患	男女	1,157 669	26.0 17.5	_	1 1		 1	_ 1	- 3	5 5	17 6	71 23	157 34	93 15	111 52	218 73	175 113	169 174	100 88	37 83
Х	呼吸器系の疾患	計男	402 253	4.9 5.7		23 15	83 38	5 3		14 12	8 5	3	4	10 10	8 4	11 8	29 21	43 26	72 48	50 35	39 21
		女計	149 1,276	3.9 15.4	_	8	45 -	18	_ 4	43	3 68	- 73	104	- 161	4 85	77	138	17 165	24 177	15 127	18 36
XI	消化器系の疾患	男女	761 515	17.1 13.5		-	-	13 5	- 4	21 22	29 39	45 28	72 32	99 62	53 32	55 22	99 39	100 65	97 80	58 69	16 20
ХII	皮膚及び皮下組織の疾患	計男	31 14	0.4		2	2	1	1 1		1			3	1	3	2	2	8	2 1	3
		女計	17 287	0.4 3.5	_	1	1 7	1	_ 3	_ 5	1 6	- 13	- 11	- 35	_ 19	20	- 44	1 42	6 48	1 25	7
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	男女	141 146	3.2 3.8		1	5	1	2	2	3	10	6 5	17 18	12 7	14 6	21 23	18 24	17 31	8 17	4
ХIV	腎尿路生殖器系の疾患	計男	459 160	5.5 3.6		1	4	6	1 1	3	23	52 2	78 7	49 15	21 13	28 13	54 30	38 21	46 19	32 13	23 14
		女計	299	7.8	_	_	1	4	_		20	50 219	71	34	8	15	24	17	27	19	9
XV	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	男女	324	- 8.5		_ _	- -	_ _		- 4	- 71	219	- 30	_ _		_	_ _	_ _	_ _	_ _	
XVI	周産期に発生した病態	計男	142	1.7	142								_								
		女計	75 9	2.0	75	_	_ 1		_ 1	_	_ 	_ 1	_	_	_	_	_	_	_	_	_
XVI	先天奇形、変形及び染色体異常	男女	8 1	0.2 —	- 2	_ _	1 -	1	1 -	_ _	2 -	i -	_ _	- -	_ _	- -	_ _		-		-
XVII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	計男	46 15	0.6 0.3		1 1	2 		2 1	<u>-</u>	1 	1 	<u> </u>	6 4	1	3 1	9 4	5 1	8 2	1	3 1
		女計	31 1,329	0.8 16.0	-	1 1	2 13	32	1 41	- 71	1 105	1 77	- 133	2 139	1 52	70	5 129	4 107	6 141	3 146	2 72
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	男女	708 621	15.9 16.2	-	- 1	7 6	24 8	33 8	48 23	67 38	43 34	93 40	85 54	24 28	40 30	54 75	56 51	55 86	57 89	22 50
ХХ	傷病及び死亡の外因	計男			-		-						-				_				
		女計	48	0.6	_	-	-	_	-	_	-	_	_ 5		_ 6	4	_ 9	_ 	_ 9	2	_
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保 健サービスの利用	男女	40	0.9	-	- -	-			-	- -	-	4		5	4	9 –	5	5	1	_ _
XXI	特殊目的用コード	計男	275 206	3.3 4.6		-	-				5 3 2	18 11	49 43	64 46	29 25	10	35 31	16 14	22 16	11 4 7	7 3 4
		女	69	1.8	_	-	-	-	-	-	2	7	6	18	4	9	4	2	6	7	4

(4) 疾病大分類別・在院期間別・病名数

(注) 転科サマリを1件とする

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	0-8日	9 −15⊟	16-22⊟	23−31⊟	32-61⊟	62-91⊟	3-6ヶ月	6ヶ月-
445W		計	8,281	100.0	82,059	9.9		5,169	1,624	708	430	282	49	19
総数	Ž	男女	4,453 3,828	100.0 100.0	42,932 39,127	9.6 10.2		2,847 2,322	848 776	352 356	211 219	154 128	30 19	11
		計	100.0	-	- 39,127	- 10.2	_	62.4	19.6	8.5	5.2	3.4	0.6	0.2
構瓦	比 (%)	男	100.0	_	_	_	_	63.9	19.0	7.9	4.7	3.5	0.7	0.2
		女	100.0	-	_	-	-	60.7	20.3	9.3	5.7	3.3	0.5	0.2
		計	140	1.7	1,360	9.7	_	93	26	10	6	3 2	2	-
I	感染症及び寄生虫症	男	71	1.6	753	10.6	_	46	13	6	3	2	1	_
		女	69	1.8	607	8.8	_	47	13	4	3	1	1	_
П	新生物	計	1,332 653	16.1 14.7	11,077 5,310	8.3 8.1		915 454	235	93 47	49	36 23	3	
"	机工物	女	679	17.7	5,767	8.5		461	136	46	22	13	1	
	·	計	27	0.3	295	10.9	_	19	3	2	1	1	1	-
Ш	血液及び造血器の疾患並びに免疫機	男	6	0.1	51	8.5	-	4	1	1			-	-
	構の障害	女	21	0.5	244	11.6	_	15	2	1	1	1	1	-
		計	167	2.0	1,848	11.1		82	52	18	9	5	1	
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	男	95	2.1	1,045	11.0	-	46	31	10	5	2	1	
		女	72	1.9	803 125	11.2 9.6	_	36 10	21	8	4	3	_	_
17	精神及び行動の障害	計	13	0.2	55	11.0		4	<u>-</u>		<u>-</u>			<u>-</u>
	行中人という動の作品	女	5 8	0.2	70	8.8		6	1			1	_	
		計	145	1.8	1,060	7.3	_	116	15	6	3	3	1	1
VI	神経系の疾患	男	92	2.1	551	6.0	_	77	9	3	2			1
		女	53	1.4	509	9.6	_	39	6	3	1	3	1	-
		計	-	-	_	-	-	_	_	_	_	_	_	_
VII	眼及び付属器の疾患	男				-		_					_	
		女	-	_		-	_	-	_	_	_	-	_	_
VII	耳及び乳様突起の疾患	計	3		7	2.3		3	ļ <u>-</u>		<u>-</u>	ļ <u>-</u>		
VШ	コスU 孔像大起の疾患	女		0.1	5	2.5		2	····			····		
		計	1,826	22.1	17,556	9.6	-	1,192	306	143	94	71	16	4
IX	循環器系の疾患	男	1,157	26.0	10,367	9.0	_	791	189	79	45	39	12	2
		女	669	17.5	7,189	10.7	-	401	117	64	49	32	4	2
		計	402	4.9	4,833	12.0	_	216	91	44	26	22	3	-
Х	呼吸器系の疾患	男	253	5.7	3,295	13.0	<u>-</u>	127	58	27	20	19	2	
_		女	149	3.9	1,538	10.3		89	33	17	6	3	1	-
XI	消化器系の疾患	計	1,276 761	15.4 17.1	11,298 6,526	8.9 8.6	<u>-</u>	813 493	307 182	91 50	37 19	18	/	3
M	月に紹示の大忠	男	515	13.5	4,772	9.3		320	125	41	18	11 7	6	3
		計	31	0.4	477	15.4	_	14	7	6	2		- '	1
ХII	皮膚及び皮下組織の疾患	男	14	0.3	253	18.1	_	8	1	2	2	-	-	1
		女	17	0.4	224	13.2	_	6	6	4	_	1	_	_
		計	287	3.5	3,959	13.8		103	67	59	43	13	2	
XII	筋骨格系及び結合組織の疾患	男	141	3.2	1,606	11.4		64	40	23	8	5	1	
		女	146 459	3.8	2,353	16.1	_	39 343	27 79	36 25	35	8	1	-
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	160	5.5 3.6	3,448 1,377	7.5 8.6		111	30	13	3	2	2	
74V	日か四土/世四水ツ次本	女	299	7.8	2,071	6.9		232	49	12	3	1	1	
		計	324	3.9	3,565	11.0	-	167	118	11	9		2	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-
		女	324	8.5	3,565	11.0	-	167	118	11	9	17	2	-
	matches - was a second	計	142	1.7	1,079	7.6		133	8	1		ļ -		
ΧVĪ	周産期に発生した病態	男	67	1.5	516	7.7		60	7			ļ <u>-</u>		
		女計	75 9	2.0 0.1	563 54	7.5 6.0	_	73	1	1	_	_ 1	_	_
ΧM	先天奇形、変形及び染色体異常	. <u></u> 男	8	0.1	51	6.4		7	_	_		1		
	AND SOME THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE PA	女	1	-	3	3.0	_	1	-	_	-	- '	_	-
Уιπ	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	計	46	0.6	407	8.8	-	31	9	2	2	2	-	-
V All	症状、食族及び異常脳床所見・異常 検査所見で他に分類されないもの	男	15	0.3	101	6.7	_	13	1			1	_	
L	1大旦/11元 くじに 万規 これ ない もの	女	31	0.8	306	9.9	_	18	8	2	2	1	_	_
V.P.	担信 中主エボスの作の見口の見(200	計	1,329	16.0	15,474	11.6		788	175	160	118	74	8	6
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	男	708	15.9	7,916	11.2		444	93	63 97	62	39	3 5	4
		女計	621	16.2	7,558	12.2	_	344	82	9/	56 —	35	_	
XX	傷病及び死亡の外因	<u></u>] 男							···-			···-		
		女	_										_	
γу	健康状態に影響を及ぼす要因及び保	計	48	0.6	245	5.1	-	37	10	1	-	_		-
νVI	健康状態に影響を及ば9 安凶及び保 健サービスの利用	男	40	0.9	210	5.3	_	30	9	1	-		_	-
	(注) 「ころりが月	女	8	0.2	35	4.4	_	7	1	_	_	-	_	-
ļ,,. <u>.</u>	#+##	計	275	3.3	3,892	14.2		86	115	36	25	11		2
XXI	特殊目的用コード	男	206	4.6	2,947	14.3		67	85	27	15	10		2
		女	69	1.8	945	13.7	_	19	30	9	10	1		

V. 診療科の状況

1. 消化器内科

<令和3年度の活動>

スタッフ全員入れ替わった令和2年度は診療可能な最少4名体制であったが、令和3年度は、1名大阪大学大学院へ進学、新たに市立東大阪、大阪大学、JCHO大阪から3名が加わり6名体制で始まった。年度途中より1名が妊娠・出産・産休・育休(平成4年度復帰)のため5名体制となった。

診療科緊急対応例が多く、救命救急から入院対応処置依頼、夜間救急入院、当日紹介治療処置入院、 さらに予定入院もあり、多く重なった場合に少ないスタッフ数のため対応困難な場合も生じていた。

<今後の展望>

最新の診療ガイドラインに準じ、さらにより高度な医療提供を継続する。消化器系専門医取得を含めた診療の充実と並行して医師負担軽減を目指しより働きやすい環境整備のためにスタッフ増が喫緊の課題である。

2. 循環器内科

<令和3年度の活動>

令和3年4月1日現在、スタッフ8名で診療を行っている。令和3年年間入院患者数は1,089人(91人/月)、平均在院日数は8日であった。昨年は経皮的冠動脈形成術は300件以上、また新たにアブレーションが100件をこえ、ハイボリュームセンターの仲間入りを果たした。当科では急性期から慢性期におよぶ循環器疾患について、メディカルスタッフとともに一丸となって取り組んでいる。急性心筋梗塞などの救急心疾患は千里救命救急センターと協力し、外科的手術に対しては大阪大学心臓血管外科と連携して対応している。

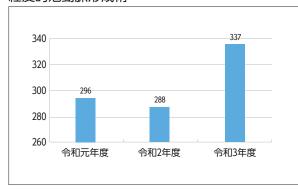
<今後の展望>

北摂地区における循環器診療の中核病院へと発展すべくハード面の充実が必要である。

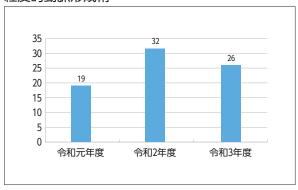
【過去3年間の手術件数】

	令和元年	令和2年	令和3年
経皮的冠動脈形成術	296	288	337
経皮的動脈形成術	19	32	26
アブレーション	40	56	103
肺動脈隔離術	24	41	65
ペースメーカ	39	50	45
リードレスペースメーカ	3	11	24

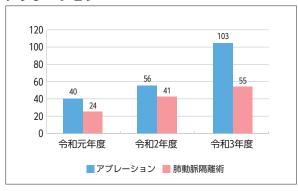
経皮的冠動脈形成術



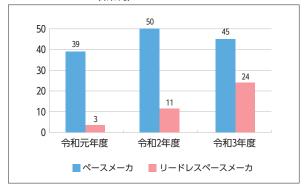
経皮的動脈形成術



アブレーション



ペースメーカ(新規)



【令和3年検査実績】

放射線検査冠動脈造影 CT371大血管 CT115心臓 MRI14心筋シンチグラフィー273経胸壁心エコー2,491経食道心エコー80末梢血管エコー891ホルター心電図430運動負荷心電図209マスター負荷心電図495ABI519新規患者数242心肺リハビリテーション延件数2,542心肺運動負荷試験5			
放射線検査心臓 MRI14心筋シンチグラフィー273経胸壁心エコー 経食道心エコー 末梢血管エコー 木ルター心電図 マスター負荷心電図 ABI 新規患者数 延件数430 209 495 242 2,542		冠動脈造影 CT	371
心臓 MRI 14 心筋シンチグラフィー 273 経胸壁心エコー 80 末梢血管エコー 891 ホルター心電図 430 運動負荷心電図 209 マスター負荷心電図 495 ABI 519 新規患者数 242 心臓リハビリテーション 延件数 2,542	the second	大血管 CT	115
と理機能検査経食道心エコー 経食道心エコー 末梢血管エコー ホルター心電図 マスター負荷心電図 ABI 新規患者数 延件数2,491 80 430 209 430 209 495 519 3 242 2,542		心臓 MRI	14
生理機能検査経食道心エコー 末梢血管エコー ホルター心電図 運動負荷心電図 マスター負荷心電図 ABI 新規患者数 び臓リハビリテーション80 891 430 209 マスター負荷心電図 新規患者数 242 2,542		心筋シンチグラフィー	273
末梢血管エコー891ホルター心電図430運動負荷心電図209マスター負荷心電図495ABI519新規患者数242心臓リハビリテーション延件数2,542		経胸壁心エコー	2,491
生理機能検査ホルター心電図430運動負荷心電図209マスター負荷心電図495ABI519新規患者数242心臓リハビリテーション延件数2,542		経食道心エコー	80
運動負荷心電図209マスター負荷心電図495ABI519新規患者数242心臓リハビリテーション延件数2,542		末梢血管エコー	891
マスター負荷心電図 495 ABI 519 新規患者数 242 心臓リハビリテーション 延件数 2,542	生理機能検査	ホルター心電図	430
ABI519新規患者数242心臓リハビリテーション延件数2,542		運動負荷心電図	209
新規患者数242心臓リハビリテーション延件数2,542		マスター負荷心電図	495
心臓リハビリテーション延件数2,542		ABI	519
		新規患者数	242
心肺運動負荷試験 5	心臓リハビリテーション	延件数	2,542
		心肺運動負荷試験	5

3. 呼吸器内科

<令和3年度の活動>

令和3年度も令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症に対応する第一の診療科として中等症患者の治療に関わった。特に第4波、第5波では中等症患者の増加だけでなく、中等症として入院したものの重症化した症例、他院で重症化し転院してきた症例が多く、千里救命救急センターと連携することによりなんとか乗り切った。

当科の令和3年度の医師は3名でそのうち専門医3名、うち指導医2名であった。

当院は大阪府がん診療拠点病院に指定されており、肺がんの診断、抗がん剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤による治療を主に行っている。化学療法、緩和ケアに対する実績もコロナ禍でありながら残した。

地域の急性期病院の一員として、肺炎等の呼吸器感染症および COPD、気管支喘息、間質性肺炎を始めとする呼吸器疾患の診療も行っている。検査としては、肺がんの診断に必要な気管支鏡検査、また COPD、気管支喘息の診断に呼吸機能検査および呼気 NO 検査を行っている。また睡眠時無呼吸症候群の精査として PSG(ポリソノグラフィー)を行っている。

<今後の展望>

当院はがん拠点病院であり、がん治療を中心とした診療および初期研修病院として研修医の指導および学会発表を引き続き行っていきたい。

4. 免疫内科

<令和3年度の活動>

免疫内科は常勤医1名、非常勤医3名の体制で前年と変化はなかった。診療としては同じ医局の呼吸 器内科と合同で応需、カンファレンス、救急対応などを行っている。また新型コロナウイルス感染症の 診療も呼吸器内科とともに積極的に関わることができた。

当院では関節リウマチに対する生物学的製剤や JAK 阻害薬といった先端治療を積極的に導入しており、高齢者患者が多いなか関節リウマチ患者全体の半数近くに投与している。周辺医療機関や院内紹介などのニーズにも十分に応えられている体制ができていると思われる。

<今後の展望>

常勤医を増員し、北摂地域のリウマチ医療の需要に十分に応えられるよう入院診療体制も含めて充実させていきたい。

5. 糖尿病内科

<令和3年度の活動>

当科では主に1型及び2型糖尿病の診療と甲状腺機能異常を含む内分泌疾患の診療を行っている。

外来においては、糖尿病専門科として、食餌療法、運動療法の指導や薬物療法を行うとともに、パラメディカルとチームとして、合併症予防外来として腎症悪化予防のための看護師、管理栄養士による多職種による患者教育指導を実施している。また、次年度に運用開始のため、Foot Care 外来の準備も進めている。

近年糖尿病の急な悪化の一因としても知られている膵癌は、年々発生数が増加している。糖尿病患者での膵癌リスクは高いため、早期発見を意識して検査を実施し、消化器外科との連携で治癒に繋げられるように意識、努力をしている。

糖尿病の合併症である腎障害、神経障害、網膜症に留意した診療を行っているが、特に血糖コントロール以外の対応も可能な腎症に関して興味を持ち診療を行っている。

<今後の展望>

令和3年は新型コロナウイルス感染対策に伴う病床コントロールのため教育入院件数が制限されていたため、外来でのインスリン新規導入件数が増加している状態ではあるが、逆紹介までの期間が長くなってきている。この傾向は行政による病床コントロールが継続する限り継続する可能性が高いが、フラッシュグルコースモニタリング(FGM)の導入による血糖コントロールの視覚化を通じた教育指導が次年度から開始予定となっており、より一層の血糖コントロールの改善や問題点の理解が進むと期待している。

上記による、地域における糖尿病患者の悪化予防に寄与できる診療を進めていけるようにしたいと考えている。

臨床指標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅自己注射指導管理料 算定件数(件)	98	83	86	115	95	85	107	91	91	91	90	91	1,123
他科の入院患者の糖尿病管理 者数(人)	18	8	15	8	14	6	3	2	2	5	2	1	84

6. 消化器外科

<令和3年度の活動>

令和元年度より、実際の診療内容および専門性に即して、診療科区分を「外科」から「消化器外科」と「乳腺・内分泌外科」に分けて活動している。登録医の先生方からの紹介や患者さんの受診を的確に応需できる体制となっている。

令和3年度は、副院長を含めスタッフ7名、肝胆膵専門非常勤医1名で診療を行った。大阪大学消化器外科学講座の関連施設として上部消化管専門医2名、下部消化管専門医3名(内、日本内視鏡外科技術認定医1名)、肝胆膵専門医2名を配置した。日本消化器外科学会専門医7名(内、指導医3名)で、専攻医や初期研修医の指導体制をとった。

令和3年において、消化器外科手術症例数561件、内全身麻酔による症例は430件であった。当院は大阪府がん診療拠点病院として、がん症例の手術を主軸に診療を行っている。またがん化学療法診療の多くを消化器外科が担っている。同時に急性期疾患として一般的に発生頻度の多い虫垂炎81件(阪大関連病院48施設中4位)、胆石症・胆のう炎112例(関連病院15位)、鼠径・大腿ヘルニア143件(関連病院11位)、痔核・痔瘻22例(関連病院7位)の症例数も多く、登録医の先生方との連携が維持できていることと解釈できる。救命救急センターへの搬送症例、および夜間休日外来(ウォークイン)症例に対する診療協力体制も行っている。

<今後の展望>

これからも地域社会からの利便性の向上に努め、大阪大学外科専攻医プログラムおよび初期研修医の受け入れと指導を強化していく。

7. 乳腺・内分泌外科

<令和3年度の活動>

当科では主に乳癌に対する手術・化学内分泌療法を中心に診療を行っている。乳癌診療では、乳癌検診から始まり、診断では、マンモグラフィ、乳腺超音波、穿刺吸引細胞診、針生検またはマンモトーム生検による組織診断、乳腺 MRI 検査にて病変の拡がり診断を行っている。治療では、手術は乳房温存手術、乳房切除術や、状況に応じて乳房切除術→一次乳房再建術も含め選択する。また、術前・術後補助化学療法や、再発後も化学内分泌療法を順次継続し、緩和ケアまで総合的に診療を行っている。

しかし、コロナ禍による入院・手術制限により、令和3年は乳癌の手術件数の減少となっている。また、甲状腺の腫瘍性疾患(良性甲状腺腫や甲状腺癌)に対する外科的治療も行っている。

乳癌 手術件数: 令和元年86件, 令和2年89件, 令和3年80件

<今後の展望>

令和2年度から遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)症候群に対する診断・治療の一部が保険適応となり、また現在遺伝子変異陽性患者に対するリスク低減手術(予防的両側乳房切除術 + 一次乳房再建術)も可能となっており、遺伝カウンセリング等、阪大病院と連携しながら今後患者の希望に応じた治療選択を迅速に提示できるよう最新の情報取得を継続していく。また、最新技術の取得にも努めていきたい。

8. 小児科

<令和3年度の活動>

令和3年度は小児科専門医3名に更に1名を加えた4名の小児科医で診療となった。

令和3年1月より6階病棟から4階病棟に小児科入院病床が移動となるとともに、プレイルームは縮小され入院病床は12床から6床に減少となった。その後コロナ禍の影響により病床逼迫のため令和4年1月より小児科入院は停止となった。

小児科入院の主要な部分を占めていた呼吸器感染症の新患者数は新型コロナウイルス感染症流行直前の令和元年度に比べ令和3年度は3分の1以下となり、又、入院制限下で僅かな紹介も断らざるを得ない状況で、其れとともに入院患者数及び紹介も減少した。

コロナ禍の児童青年のうつ及び不安症状の世界的な有病率の上昇について報告されているが、当院で も令和3年度の小児心身症の新患者数は令和元年度の3倍以上となった。

令和3年度にて産科が終了となり、小児科担当の新生児医療は終了となった。免疫舌下療法を新たに 開始した。

コロナ禍で、現地学会開催は減少したが、4月に日本小児科学会(発作性運動誘発性ジスキネジア)、7月に北摂小児科医会(日本紅斑熱)、2月に近畿小児科学会(小児肺結核)で発表した。また、不全型川崎病についての論文掲載となった。多彩な疾患について発表できたのは、今までの多彩な紹介症例の蓄積による。

<今後の展望>

令和4年度は新生児が無くなり、小児科入院も無くなった。それに伴い研修医の主な小児科研修は他病院にお願いすることとなる。小児科専門医4人体制で開始したが7月より1人大学に戻り小児科専門医が3名の体制となる。小児科の診療は外来中心となり、入院で実施していた低年齢児の成長ホルモン分泌負荷試験は外来の協力を得て外来で実施する事となった。今後、外来で出来ることを増やしていくとともに、増加していく小児心身症に対しては心療内科&心理師と定期カンファレンスを設け、更に連携しながら対応していく予定である。令和4年度については病床が無くなり、マンパワーに余力があるので、発熱外来(コロナ外来)等病院の一助となるよう努力する。

9. 整形外科

<令和3年度の活動>

整形外科の令和3年4月1日現在のスタッフは常勤医9名である。北摂地域の高齢化も日本全体と同様により進行している。このため大腿骨近位部骨折などの脆弱性骨折の手術は相変わらず増加傾向であり、当院でも日本骨粗鬆症学会や日本脆弱性骨折ネットワークがすすめる二次骨折予防のためのリエゾンサービス提供病院への認定を受けるように準備をしている。脊椎外科においてはBKP(バルーン椎体形成術)や除圧術の件数はほぼ横ばいであるが、固定術は増加傾向である。また関節外科では膝関節のナビゲーション手術や股関節の低侵襲手術を継続しているが、コロナの影響で予定手術の待機期間の延長が課題となっている。

<今後の展望>

後期研修医は1年目が1名、2年目が2名である。特に1年目は整形外科の経験が少なく、基本技術だけでなく、社会人としての教育も重要である。手術はより脆弱性骨折の割合が増加し予後向上のためにその多くが準緊急手術(48時間以内)の対象となっている。コロナ禍で慢性疾患の割合が減少し、手術までの待機期間も長くなっている。今後はいままで以上に他科との連携を密にして、早期に全身状態を把握し、コロナの院内感染を防いでいく必要がある。さらに術後も近隣のリハビリ病院などとの連携によってコロナ禍においても早期リハ、早期転医ができるようにする必要がある。いままで以上により緊密に情報交換をおこなっていくことが必須である。

10. 産婦人科

<令和3年度の活動>

女性に優しい医療を提供することを理念としており、良性疾患に対しては治療のクオリティーを損なわずに整容性も重視、また悪性疾患に対しては精神面も含めて苦痛を緩和しつつ大学病院とも連携して徹底的な集学的治療を行っている。手術療法では特に減孔式(単孔~3孔)腹腔鏡下手術に重点を置き、適応は全身麻酔が可能な全ての良性疾患と生検目的の悪性疾患となっている。

令和3年度の実績:分娩190件(帝王切開術48件を含む)。婦人科手術409件中、全身麻酔下手術は250件であり鏡視下手術は腹腔鏡下手術215件、子宮鏡下手術22件であり、開腹術は全て悪性疾患であった。腹腔鏡下手術において単孔式で完遂可能であったのは175例(81%)であり、開腹術への移行や同種血輸血を実施した症例は無かった。

<今後の展望>

良性疾患に対してはさらに減孔式腹腔鏡下手術を極める。 悪性疾患への腹腔鏡下手術の適応拡大 新たなる技術認定医の育成

11. 泌尿器科

<令和3年度の活動>

例年通り尿路結石由来の重症感染症が、多く救急搬送された。平成30年度にレーザー砕石機器を導入後、経尿道的手術(TUL)件数は増加し、当科の収益維持にも繋がっている。浸潤性の膀胱がん症例が例年よりも多く、阪大病院の症例数に匹敵する膀胱全除摘術実績となった。腎がん、前立腺がん、腎盂尿管がんは、ほぼ全例鏡視下手術を実施した。コロナ禍の影響で手術延期となる症例が発生したが、医員一丸となって乗り切っている。

<今後の展望>

救急患者の積極的応需は今後も継続していく。また、鏡視下手術は出血量も少なく、患者への身体的 負担が少ないので、今後も継続していく。泌尿器科は少ないマンパワーが弱点であるが、病院理念に沿っ た地域医療への貢献を目標として掲げている。コロナ禍の影響でも安定した診療科業績を継続すべく救 急疾患以外の予定入院にも重点を置いていく。

12. 歯科口腔外科

<令和3年度の活動>

外来

新型コロナウイルス感染症に対し、標準予防策を徹底し外来診療を行っている。

紹介患者の多くは一般開業歯科からで主に抜歯である。

内容は有病者や高齢者など全身疾患治療中の患者や、若年者の親知らずの抜歯が多い。

初診当日抜歯を行うよう対応している。

患者のニーズが高いため土曜日午前も積極的に抜歯を行っている。

診療に関してガイドラインやポジションペーパーに則り、標準治療から逸脱しない治療を行っている。 周術期口腔機能管理の対象は院内紹介患者で、歯科衛生士と共同で行っている。

入院

当院は千里救命救急センターを併設しているため、顎顔面領域の骨折治療や重症歯性感染症に対する 手術も積極的に行っている。

<今後の展望>

紹介患者の診察は全例応需し、必要性に応じ迅速に処置を行うよう努めていきたい。

13. 総合診療部

<令和3年度の活動>

令和3年4月1日より2名体制となり、月曜日から金曜日まで外来患者の対応が可能となった。コロナ禍に発熱等で受診され、市中肺炎、感染性胃腸炎、胆管炎、尿路感染症、扁桃膿瘍、肛門周囲炎、歯周病関連疾患、単純ヘルペス肝炎、EBウイルス感染症、サイトメガロウイルス感染症、菊池病、亜急性甲状腺炎、SLE、強皮症、リウマチ性多発筋痛症、好酸球性肉芽腫症、ベーチェット病、IgA血管炎、石灰沈着性頚長筋腱炎など、多彩な疾患に関連各科と連携して対応した。

<今後の展望>

引き続き、地域および院内・院外の診療科と連携して診療を行う。 初期研修医の教育、専攻医の育成を行う。

14. 千里救命救急センター

<令和3年度の活動>

令和3年度の千里救命救急センターの診療体制はスタッフ医師11名、専攻医5名、救急救命士6名であり、前年度より医師2名と救急救命士2名を増員できた。マンパワーとしては決して十分ではないものの、救急車受け入れ件数は4,979件、3次救急受け入れ件数は1,687件、ドクターカー出動件数は1,570件といった診療実績であった。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の診療件数が大幅に増加し、特に第4波や第5波といわれる流行期には、重症呼吸不全に対して人工呼吸管理やECMOを要する症例が多数入院した。ICUの個室3床では重症病床が足りず、中等症病棟でも人工呼吸を要する患者を診療したが、それでも病床が不足したため、ICU内に隔壁を作成して重症コロナICUとして6床まで増床して対応した。新型コロナウイルス感染症の診療を行いながら、通常救急診療を継続させることに多大なる労力を要した。

<今後の展望>

高齢社会の到来とともに救急搬送件数は増加傾向にあり、急性期病院における救急診療の重要性は高まっている。また、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの収束は未だ見えず、感染対策を徹底したうえでの救急対応が求められる。通常救急診療と新型コロナウイルス感染症診療の両立を求められる難しい状況下であるが、地域に根ざした救急医療機関として、重症患者の集約、脳卒中・循環器疾患の診療拡大、急性腹症や多発外傷などの Acute Care Surgery 領域の充実を図ることを継続目標としたい。

15. 麻酔科

<令和3年度の活動>

1) 臨床実績:麻酔科管理症例 2,401 例(前年度比-47)で、その内訳は全身麻酔 1,774 例、全身麻酔+硬膜外麻酔 145 例、全身麻酔+超音波ガイド下ブロック 218 例、脊髄くも膜下麻酔 264 例であった。また、麻酔科術前外来者数は 1,296 人であった、コロナ禍の影響

で入院制限、手術制限があったため、症例数は若干減少した。

2)教育実習:初期研修医5名の麻酔科研修を行った。

3) 社会貢献: 3名の救命士挿管実習(豊中2名 吹田1名)を行った。

<今後の展望>

・麻酔科術前外来の充実

・術前・術後回診の徹底

・術後疼痛対策(エコー下神経ブロック、持続硬膜外注入、iv PCA)

実績一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
麻酔科管理症例(件)	211	170	223	193	199	187	197	204	236	204	172	212	2,401
外来患者(人)	113	80	120	102	117	100	104	131	115	111	104	99	1,296

16. 脳神経外科

<令和3年度の活動>

令和3年度は医師4名の診療体制で診療を行った。脳卒中を主に、外傷、一般脳神経外科症例を取り扱っている。平成30年度に「脳卒中センター」を開設し、脳卒中ホットラインにて24時間365日体制で稼働している。しかし、重症コロナICUの設置に伴い、当院脳卒中センターのホットラインの運用を一時的に休止した。

平成31年4月に開設したSCU(Stroke Care Unit:脳卒中ケアユニット)は病床を3床から6床に増床して100%に近い稼働率を維持したが、こちらも重症コロナウイルス感染症蔓延のため一時的に閉鎖した。双方ともその後再開している。

<今後の展望>

新型コロナウイルス感染症蔓延により診療体制が影響を受ける中で豊能医療圏において脳卒中、脳外科疾患の急性期病院、地域医療支援病院としての役割を果たすべく、引き続き登録医の先生方、救急隊と連携を図りながら、できるだけ多くの患者に安全かつ迅速に治療を提供できるよう努めていく所存である。また、臨床研修施設として継続して若手医師の育成に努めていく。

(件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開頭術	34	43	56
穿頭術	46	41	49
血管内治療	36	67	77
その他	5	21	44
合計	121	172	226

W. 部門別活動状況

1. 薬剤部

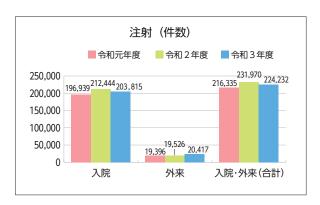
<令和3年度の活動>

薬剤師数27名(時短勤務2名、非常勤1名、育児休暇中2名)で業務を行った。 医師の負担軽減を目的として、処方オーダ入力支援を開始した。

また業務の効率化を目的として、看護部、医事課と協働し、検査やワクチン接種における薬剤請求を手書き伝票による運用から処方(注射)オーダを用いた運用に変更した。

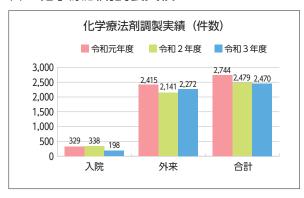
(1) 業務実績







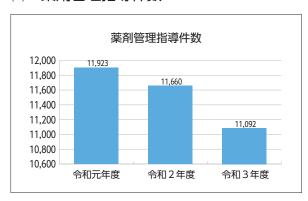
(2) 化学療法剤調製実績



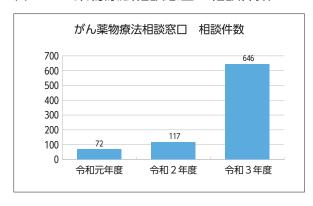
(3) 持参薬鑑別実績 (入院前の鑑別を含む)



(4) 薬剤管理指導件数



(5) がん薬物療法相談窓口 相談件数



<今後の展望>

アクションプランには、医師の負担をさらに軽減することを目的として、処方オーダ入力支援の拡大を挙げた。また医師の負担軽減と患者の薬学的管理の向上を目的として、院外処方せんの変更調剤にかかる事前プロトコルの導入を挙げた。

さらに、連携充実加算の算定取得を目標として、地域の調剤薬局(吹田市薬剤師会)と連携することで、済生会千里病院薬剤部をアピールしていきたい。

ただし、時短勤務者や育児休暇取得者の増加が今後も継続することが予想される。その上で、急な退職や育児・病気休暇・年休取得に対応できるような人員配置や業務の効率化に取り組んでいきたいと考える。

2. 中央検査部

<令和3年度の活動>

令和3年度も、引き続きコロナ禍対応に追われる一年となった。

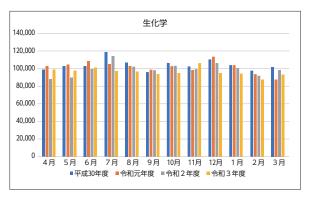
昨年度に初期導入した PCR 検査機器は、上位研究機関との精度差に悩まされたが、妥協することなく新規機器を選定して、信頼できる精度で完全内製化を達成できた。何より PCR 検査の院内運用の体制が整ったことで、第4波、5波、6波を乗り切り、ピーク時には24時間体制で PCR 検査を行うことができ、病院と検査部が一丸となり対応できたことは貴重な経験となった。また精度に問題があった初期導入機器も、抗酸菌 PCR 検査には十分対応可能であったので、こちらも内製化できたことは幸いであった。

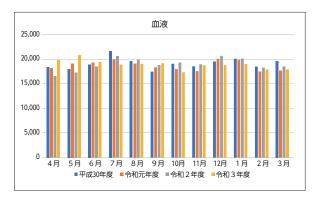
中央検査部:業務実績

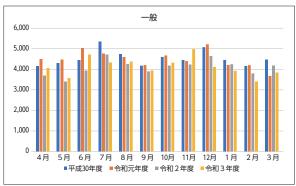
(件)

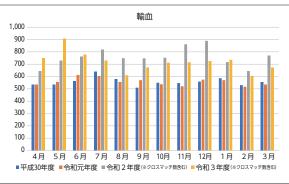
		木がカナベル	只											(117
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	生化学	93,425	92,451	95,358	91,683	91,245	88,434	89,331	99,613	90,191	89,470	82,500	87,948	1,091,649
	免疫	1,371	1,080	1,234	1,254	1,305	1,311	1,288	1,230	1,227	1,181	1,297	1,349	15,127
	感染症	1,721	1,543	1,577	1,541	1,538	1,540	1,380	2,356	1,417	1,357	1,222	1,423	18,615
焦	腫瘍マーカー	1,538	1,457	1,592	1,483	1,481	1,448	1,519	1,583	1,521	1,416	1,373	1,507	17,918
生化学	血清	1,061	1,025	1,188	1,171	984	1,076	1,027	1,102	1,075	912	846	992	12,459
- -	薬物	81	52	64	63	55	62	58	57	38	45	57	48	680
	計	99,197	97,608	101,013	97,195	96,608	93,871	94,603	105,941	95,469	94,381	87,295	93,267	1,156,448
	外部委託	1,762	1,370	1,514	1,469	1,437	1,378	1,395	4,005	1,361	1,235	1,313	1,453	19,692
	血液一般・形態	10,197	10,035	10,522	10,021	9.839	9,568	9,634	10,646	9,636	9,482	8,860	9.349	117,789
I -	凝固・線溶関連	6,008	6,605	5,556	5,675	5,770	5,799	4,991	5,459	5,698	5,806	5,516	5,518	68,401
1##	血液ガス	3.670	4.230	3.333	3,151	3,423	3,834	2,779	2,704	3,428	3,677	3,487	3.052	40,768
	計	19,875	20,870	19,411	18.847	19.032	19,201	17,404	18,809	18,762	18.965	17,863	17,919	226,958
-	尿	3,996	3,532	4.685	4.285	4,364	3,917	4,295	4,961	4.103	3,886	3,362	3,781	49,167
1 H	便	17	21	15	14	11	7	15	13	10	5	5	15	148
1 H	髓液·体腔·関節液	24	24	18	32	19	28	21	26	16	23	17	22	270
l –	計	4,037	3,577	4,718	4,331	4,394	3,952	4.331	5.000	4,129	3,914	3,384	3,818	49,585
-	血液型	467	575	474	459	428	450	463	493	491	444	376	422	5,542
I -	不規則抗体ス	94	110	108	80	63	81	93	75	75	101	75	78	1.033
輸	クリーニング													,
	間接・直接クームス	5	5	14	9	8	5	8	6	8	0	2	2	72
	クロスマッチ	182	213	178	180	110	139	145	142	150	190	147	169	1,945
	計	748	903	774	728	609	675	709	716	724	735	600	671	8,592
	塗抹・検鏡	648	708	662	756	712	678	600	562	573	616	634	670	7,819
	培養	1,218	1,310	1,283	1,413	1,314	1,188	1,119	1,054	1,064	1,143	1,130	1,189	14,425
	薬剤感受性検査	84	75	98	93	129	88	61	73	102	68	48	73	992
細	迅速抗原検査等	169	200	189	220	206	199	159	164	145	165	155	187	2,158
菌	結核・抗酸菌 PCR	120	97	100	136	127	106	99	76	115	107	126	126	1,335
	COVID-19 (院内)	36	126	93	269	427	328	184	155	153	599	593	567	3,530
	COVID-19(外部委託)	246	169	83	2	0	3	2	2	1	55	1	1	565
	計	2,521	2,685	2,508	2,889	2,915	2,590	2,224	2,086	2,153	2,753	2,687	2,813	30,824
	組織診断	250	199	236	256	249	243	243	265	251	251	196	248	2,887
	術中迅速診断 (組織診+細胞診)	17	15	13	10	25	20	11	11	19	14	11	6	172
	免疫組織化学	38	32	34	38	42	48	25	24	35	36	27	42	421
病理	コンパニオン診 断・特殊検査等	37	30	29	39	42	56	31	31	43	51	35	43	467
	細胞診	295	250	313	317	287	308	301	306	285	307	268	377	3,614
	LBC (婦人科)	110	102	146	133	115	129	122	120	114	111	96	153	1,451
	LBC (その他)	112	92	107	105	88	111	98	115	92	104	114	126	1,264
	計	637	526	625	660	645	675	611	637	633	659	537	716	7,561
	心電図	833	678	967	817	778	805	837	1,238	869	752	716	911	10,201
	超音波検査	770	614	758	730	728	724	767	840	774	710	706	782	8,903
生	肺機能検査	171	156	208	216	168	189	197	227	213	176	112	199	2,232
		70	50	40	58	60	43	47	53	55	44	59	64	643
理	脳波·神経生理検査	70	50	40	50	00	73	7/	55	55			٠.,	0.0
理	脳波・神経生理検査 その他	36	28	28	48	27	33	29	30	28	33	27	26	373

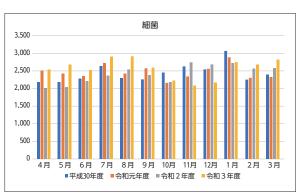
各検査別過去4年間の実績

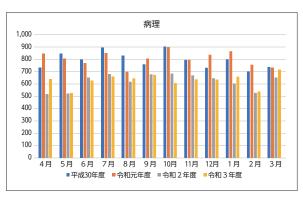


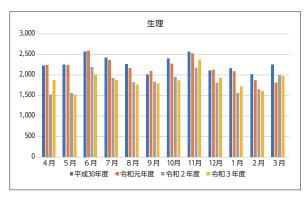


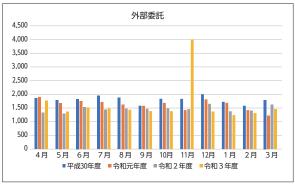












<今後の展望>

コロナ禍もピークを過ぎた感はあるが、今後は不顕性感染者による院内感染のリスクが大きな課題である。また令和4年より新型コロナウイルス遺伝子関連検査は大幅に保険点数が下がり、医療安全面、およびコスト全般両面で運用方法も考える必要に迫られている。来年度は PCR 検査の精度を維持しつつ、全入院患者に対しての、大量検体を迅速に結果報告できる検査システムの構築に取り組みたい。

また引きつづき、各分野の新規検査の導入や生理検査予約枠の拡大にも取り組んでいく。

3. 放射線部

<令和3年度の活動>

令和3年度の放射線部は年度中に人員減となり苦しい状況となったが、大幅な検査制限なども実施せず、調整と工夫で対応した。中途採用も実施し13名体制での年度末を迎えた。

骨密度測定装置の更新を行い、検査時間の短縮により患者負担の減少が見込まれている。

昨年度対比であるが、CT 件数は変化なしだが MRI の増加が確認できる。令和 2 年度に MRI 更新時に検査枠を見直し、約 1.5 倍の検査枠を設けたための増加と考えている

大幅増となっているのが血管造影で、循環器内科・脳神経外科の件数が増加しており、検査枠の調整を行い対応した結果と考える。

改正された放射線技師法により業務が拡大されたため、順次告示研修を終了させ拡大された業務に対応するよう取り組んでいる。

令和3年度放射線部実績

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
	СТ	1,559	1,355	1,545	1,503	1,542	1,472	1,624	1,479	1,460	1,542	1,509	1,658	18,248
	MRI	286	248	303	261	223	268	304	278	250	307	316	310	3,354
	核医学検査	65	52	37	67	57	66	67	64	58	61	70	66	730
	X線TV検査	87	84	87	89	70	85	96	87	62	94	69	88	998
	マンモ撮影	227	358	256	313	293	343	366	280	321	334	421	332	3,844
般	一時的管理区域	5	5	7	18	20	5	16	16	9	9	0	3	113
般検査	一般撮影	5,112	4,502	5,470	5,175	4,744	5,375	5,164	5,078	4,975	5,027	6,247	5,330	62,199
	血管造影	122	115	118	141	111	114	116	122	124	130	144	152	1,509
	骨密度測定	220	220	252	227	173	223	223	216	203	240	234	252	2,683
	歯科撮影	160	141	125	169	127	141	141	146	121	167	155	158	1,751
	手術室撮影	285	201	283	281	260	272	249	271	248	252	300	314	3,216
	病室撮影	600	617	636	633	675	502	443	430	457	355	449	470	6,267
	総計	8,728	7,898	9,119	8,877	8,295	8,866	8,809	8,467	8,288	8,518	9,914	9,133	104,912

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
	СТ	146	129	173	182	127	159	150	145	157	175	190	182	1,915
	MRI	104	104	122	141	107	111	110	101	104	125	129	139	1,397
委託検査	核医学検査	5	11	6	7	5	6	8	6	5	9	7	6	81
検査	マンモ撮影	96	91	115	110	86	147	99	98	124	152	137	156	1,411
	一般撮影	21	20	17	34	15	36	23	8	24	38	26	29	291
	骨密度測定	64	46	59	80	54	70	54	59	80	105	98	74	843
	総計	436	401	492	554	394	529	444	417	494	604	587	586	5,938

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
特殊	冠動脈 CT(単純)	3	1	3	3	0	1	5	0	1	0	0	0	17
弱	冠動脈 CT (造影)	34	31	35	29	24	26	31	32	32	36	40	39	389
Ť	大腸 CT	4	2	5	5	0	4	6	2	5	5	7	4	49
	総計	41	34	43	37	24	31	42	34	38	41	47	43	455

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
	その他	18	23	16	23	12	15	17	16	12	14	17	13	196
	胸部	4	3	0	2	0	0	0	0	1	0	1	1	12
血管造影	骨盤	1	3	1	2	2	3	0	4	0	2	1	5	24
造影	四肢	2	3	1	4	2	4	4	5	4	4	3	4	40
	心大血管	81	80	88	88	66	76	70	82	88	90	94	98	1,001
	頭頚部	24	10	19	29	35	23	29	23	26	29	33	35	315
	総計	130	122	125	148	117	121	120	130	131	139	149	156	1,588

<今後の展望>

15年を超える機器がまだ散在しており、機器更新により放射線部だけではなく、放射線検査に係る院内全体の業務の効率化を期待している。

X線TVの更新時には検査室の拡大を実施して作業環境の向上と様々な処置・治療に対応できるようにX線TV装置に拘らずに検討したいと考えている。

4. 臨床工学科

<令和3年度の活動>

臨床工学科は、科員 10 名にて、血液浄化業務、補助循環業務、人工呼吸器関連業務 (PSG 検査業務 を含む)、心臓カテーテル関連業務 (ペースメーカ業務・心筋シンチ業務を含む)、脳血管内カテーテル業務、手術室関連業務 (麻酔科補助業務も含む)、医療機器管理業務を行っている。

平成 24 年度から開設した CE 中央管理センターは、約 10 年が経過した。その間、様々な医療機器を整備集約し、院内保有台数の調整を行い、現在では、45 機種・約 990 台の保守管理を行っている。

その内、中央管理化している 17 機種・約 500 台については、清掃・日常点検後に貸出業務を実施している。

また、他職種への医療機器安全講習として、初期研修医に対しての医療機器コアレクチャーや看護部 卒後教育の医療機器勉強会を随時行っている。

<今後の展望>

タスクシェアや院内ニーズを捉え、令和4年度より、簡易 PSG 検査と CPAP 業務に取り組んでいる。 今後、更なる業務依頼があれば、科員数に沿った業務拡大を行いたい。

血液浄化業務

※[件数]

補助循環業務

サーモガード

※[件数]

56

	令和元	令和 2	令和3
HD	70	118	113
CHDF	105	288	124
PMX	15	23	5
PE	0	4	7
DHP	1	3	0
腹水ろ過濃縮	47	18	11

令和元令和 2令和 3PCPS (V-V 含む)475953IABP416351

37

59

心臓カテーテル関連業務

※[件数]

手術室関連業務

※[件数]

	令和元	令和 2	令和3
CAG	363	331	287
PCI	389	430	461
カテ直接介助	669	705	757
PM 植え込み	36	61	68
PM 交換	13	18	18
TPM	29	41	44
その他 (PTA + EVT等)	41	68	83
電気生理	11	9	5
ablation	35	55	107
PM チェック (遠隔モニタリングを含む)	806	1,166	1,552
心筋シンチ (R2年9月よりタスクシフト)		101	268

	令和元	令和2	令和3
スイーパー業務	5	1	0
整外ナビゲーション	1	12	9
自己血回収	27	34	39
OR 機器点検	8,793	9,329	9,403
麻酔器	3,702	3,951	3,909
内視鏡システム	1,285	1,397	1,404
電気メス	2,295	2,416	2,626
ソノサージ	929	970	880
ハーモニック	741	595	584
麻酔補助業務			38

人工呼吸器関連 (平均稼働)

	令和元	令和 2	令和3		
人工呼吸器(17台)	40.1%	63.8%	52.4%		
非侵襲人工呼吸器 (3台)	21.7%	24.1%	18.8%		
高流量システム NHF (3台)	32.2%	47.8%	25.1%		
PSG 業務 ※ [件数]	27 件	16 件	48 件		

中央貸出機器

※[回数]

中大貝山阪 6			※ [四数]
	令和元	令和2	令和 3
シリンジポンプ	2,729	3,795	3,486
輸液ポンプ	3,926	3,909	3,900
栄養ポンプ	346	427	459
人工呼吸器	515	680	570
フットポンプ	851	1,119	1,215
電動低圧吸引器	170	201	171
超音波ネブライザ	551	563	267
レスピフロー	160	157	153
ハイフローセラピー	59	55	51
非侵襲人工呼吸器	137	165	121
体外式ペースメーカ	38	71	49
ベッドサイドモニタ	22	51	48
送信機	56	121	110
EV1000	19	108	50
高低体温維持装置	11	41	53
輸液加温器		10	46
人工呼吸器用 NsCall 連携器		80	72
離床センサー機器			1,930

脳血管内カテーテル関連業務

※[件数]

	令和元	令和2	令和3
造影検査	30	25	158
コイル塞栓術	17	32	36
血栓回収術	9	15	22
経動脈ステント留置術	5	10	10
経皮的血管拡張術	1	4	5

医療機器安全使用研修 開催数

	令和元	令和2	令和3
医療機器安全研修	43	42	38

病棟・手術室等、医療機器トラブル対応

	令和元	令和2	令和3
機器トラブル対応 ※ R3 年より集計			1,549

※ [件数] (1件数≒ 30~45min)

5. リハビリテーション部

<令和3年度の活動>

新入職1名を迎え入れ、理学療法士12名・作業療法士3名・言語聴覚士各3名のスタッフでの走り出しとなった。

毎年作成している病院3カ年計画の中の部署アクションプランでは、新たな試みとして、病院へ貢献すべく、部門毎に計画をたて、実施したことで、今年度も新型コロナウイルス感染症患者と一般診療を同時に行いながら、前年度以上の業績を納められた。ひとえにスタッフ一人一人の努力の賜であると確信している。

理学療法 処方数 PT

科 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形(入院)	50	27	32	27	25	36	35	45	41	48	32	39	437
整形(外来)	9	9	22	4	5	7	9	17	9	4	14	6	115
救命部	38	44	35	29	38	28	31	41	29	43	38	32	426
脳外科	32	27	30	36	29	26	29	31	25	21	14	25	325
消化器外科	10	17	14	14	7	13	7	10	10	10	16	11	139
乳腺・内分泌外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
呼吸器内科	5	4	4	5	6	4	6	5	6	4	11	7	67
循環器内科	2	2	1	4	4	0	1	1	3	1	3	0	22
消化器内科	7	8	7	7	8	4	5	4	3	4	5	4	66
免疫内科	3	8	6	4	0	2	2	2	5	2	6	5	45
糖尿病内科	2	0	1	2	3	2	4	2	1	1	2	5	25
泌尿器科	2	0	0	1	2	4	4	0	4	0	1	2	20
総合診療部	3	3	3	8	3	7	6	5	4	2	6	4	54
歯科, 婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	163	149	155	141	130	133	139	164	140	140	148	141	1,743

単位数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	1,549	1,163	1,184	1,080	960	1,089	1,442	1,402	1,298	1,340	1,259	1,344	15,110
脳血管リハビリテーション	693	954	845	779	1,077	778	791	845	751	724	700	733	9,670
呼吸器リハビリテーション	239	202	318	193	145	282	183	154	217	194	249	343	2,719
廃用リリハビリテーション	380	427	495	732	679	490	553	471	563	524	447	499	6,260
がんリハビリテーション	74	68	140	59	69	60	35	86	28	51	106	65	841
合 計	2,935	2,814	2,982	2,843	2,930	2,699	3,004	2,958	2,857	2,833	2,761	2,984	34,600

実患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	86	68	73	65	59	64	75	88	74	87	78	75	892
脳血管リハビリテーション	58	64	60	64	64	54	59	64	54	50	44	54	689
呼吸器リハビリテーション	24	27	18	14	18	20	16	10	17	14	30	35	243
廃用リハビリテーション	39	43	49	53	50	42	49	47	50	46	44	52	564
がんリハビリテーション	10	8	13	9	6	5	5	10	7	7	11	9	100
合 計	217	210	213	205	197	185	204	219	202	204	207	225	2,488

延べ患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	912	687	685	669	568	624	818	807	751	840	768	850	8,979
脳血管リハビリテーション	463	646	542	536	746	484	542	581	497	503	445	509	6,494
呼吸器リハビリテーション	176	161	215	136	132	200	152	116	156	127	203	279	2,053
廃用リハビリテーション	309	367	415	546	551	389	433	417	457	416	365	443	5,108
がんリハビリテーション	68	63	133	59	70	60	35	83	26	46	99	55	797
合 計	1,928	1,924	1,990	1,946	2,067	1,757	1,980	2,004	1,887	1,932	1,880	2,136	23,431

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単位数	189	190	279	328	264	264	235	268	297	179	131	333	2,957
実患者数	28	27	40	36	33	34	38	43	42	35	28	36	420
延べ患者数	106	102	147	175	148	148	134	147	162	96	68	176	1,609

その他件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新型コロナウイルス感染症	10	15	2	2	11	9	0	0	0	1	23	8	81
糖尿病	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3

作業療法 処方数 OT

科 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形(入院)	10	1	5	4	5	3	0	5	2	4	2	5	46
整形 (外来)	6	2	5	4	6	12	2	4	1	3	6	1	52
救命部	21	22	16	21	23	19	16	22	25	33	28	22	268
脳外科	33	28	30	36	30	26	30	32	25	20	13	26	329
消化器外科	1	1	3	4	1	4	2	2	1	4	3	4	30
乳腺・内分泌外科	0	0	1	4	3	1	3	3	4	3	1	1	24
呼吸器内科	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	5
循環器内科	1	0	0	2	2	0	0	0	2	1	1	0	9
消化器内科	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	6
免疫内科	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
糖尿病内科	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
泌尿器科	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
総合診療部	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4
歯科, 婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	75	59	64	77	71	65	57	71	62	68	55	61	785

単位数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	302	153	112	189	139	58	48	75	138	176	174	219	1,783
脳血管リハビリテーション	525	582	609	592	602	593	607	630	519	430	379	468	6,536
呼吸器リハビリテーション	1	0	35	0	19	9	37	25	54	27	46	27	280
廃用リハビリテーション	75	78	147	164	160	114	75	109	93	119	167	125	1,426
がんリハビリテーション	1	0	9	17	12	17	15	11	29	6	13	25	155
合 計	904	813	912	962	932	791	782	850	833	758	779	864	10,180

実患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	21	13	15	16	17	7	5	9	14	23	17	18	175
脳血管リハビリテーション	53	58	52	58	59	49	54	53	50	44	36	40	606
呼吸器リハビリテーション	1	0	2	0	2	2	2	3	5	4	5	4	30
廃用リハビリテーション	12	13	17	21	17	13	13	17	14	20	23	16	196
がんリハビリテーション	1	0	1	5	3	4	3	2	5	2	3	3	32
合 計	88	84	87	100	98	75	77	84	88	93	84	81	1,039

延べ患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運動器リハビリテーション	192	115	67	122	107	42	38	46	101	146	116	162	1,254
脳血管リハビリテーション	381	444	374	393	464	375	404	445	346	309	253	336	4,524
呼吸器リハビリテーション	1	0	21	0	19	8	22	17	34	17	28	21	188
廃用リハビリテーション	58	78	107	152	135	90	58	108	83	105	138	100	1,212
がんリハビリテーション	1	0	9	18	12	17	15	9	29	6	14	25	155
合 計	633	637	578	685	737	532	537	625	593	583	549	644	7,333

外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
単位数	68	44	32	41	48	103	100	69	24	4	25	59	617
実患者数	15	10	12	10	13	24	24	23	10	2	7	10	160
延べ患者数	52	34	29	34	43	88	80	61	24	4	18	47	514

言語聴覚療法

処方数 ST

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形(入院)	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	6
救命部	14	14	12	12	14	10	6	14	13	17	21	12	159
脳外科	31	27	25	37	30	25	29	30	25	19	13	24	315
消化器外科	0	0	1	2	2	3	0	2	0	1	1	0	12
乳腺・内分泌外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器内科	0	1	2	0	0	0	1	2	1	1	1	2	11
循環器内科	3	0	1	2	2	0	1	1	1	2	0	1	14
消化器内科	0	1	1	1	1	0	2	2	1	2	0	1	12
免疫内科	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3	7
糖尿病内科	1	0	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	8
泌尿器科	0	0	0	1	1	0	2	1	1	0	0	1	7
総合診療部	1	0	1	3	1	3	0	2	0	0	2	0	13
歯科, 婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	52	43	45	59	52	45	43	58	43	42	38	44	564

単位数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハビリテーション	450	514	548	605	734	569	579	657	529	416	392	412	6,405
呼吸器リハビリテーション	19	0	25	0	20	39	65	43	37	12	66	102	428
廃用リハビリテーション	156	71	128	195	140	142	124	188	168	142	232	152	1,838
がんリハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	625	585	701	800	894	750	768	888	734	570	690	666	8,671

実患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハビリテーション	44	52	44	55	57	45	46	53	42	35	31	41	545
呼吸器リハビリテーション	3	0	2	0	3	4	4	4	4	3	5	8	40
廃用リハビリテーション	13	8	14	20	17	12	13	19	16	17	20	12	181
がんリハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	60	60	60	75	77	61	63	76	62	55	56	61	766

延べ患者数

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管リハビリテーション	297	353	331	366	491	322	359	424	299	242	215	268	3,967
呼吸器リハビリテーション	14	0	13	0	15	28	49	27	23	9	41	69	288
廃用リハビリテーション	100	48	94	127	93	81	80	127	99	89	139	95	1,172
がんリハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	411	401	438	493	599	431	488	578	421	340	395	432	5,427

<業務実績>

処方数	4月	5月	6月	7月	8月	9 F] 1	0月	11月	12月	1月	2	2月	3月	合計
PT	163	149	155	141	130	1	33	139	164	140) 14	10	148	141	1,743
ОТ	75	59	64	77	71		65	57	71	62	2 6	8	55	61	785
ST	52	43	45	59	52		45	43	58	43	3 4	12	38	44	564
合計	290	251	264	277	253	2	43	239	293	245	5 25	50	241	246	3,092
単位数	4月	5月	6月	7月	8月	9 F	1	0月	11月	12月	1月	2	2月	3月	合計
PT	3,124	3,004	3,261	3,171	3,194	2,9	63	3,239	3,226	3,154	3,01	2 2	,892	3,317	37,557
ОТ	972	857	944	1,003	980	8	94	882	919	857	7 76	52	804	923	10,797
ST	625	585	701	800	894	7	50	768	888	734	1 57	70	690	666	8,671
合計	4,721	4,446	4,906	4,974	5,068	4,6	07	4,889	5,033	4,745	4,34	14 4	,386	4,906	57,025
その他件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
新型コ[新型コロナウイルス感染症			15	2	2	11	1	9 0	0	0	1	23	8	81

<今後の展望>

数年前より継続している事ではあるが、スタッフ育成の一環として、急性期教育システムの検討を行っている。新卒・経験者問わず、急性期リハビリテーションを不安無く実施できる為のシステム構築を目指したい。

6. 心大血管疾患リハビリテーションセンター

<令和3年度の活動>

急性心筋梗塞・心不全を中心とした循環器疾患患者を対象とし、医師1名、専任看護師1名、専従理学療法士2名で業務を行っている。当院の救急心疾患は千里救命救急センターと循環器内科が協力して診療を行っており、必要に応じてICUなどベッドサイドからの早期心リハ介入も行っている。一方で外来心リハは新型コロナウイルス感染症の影響もあって実施困難な時期もあった。また運動耐容能の評価を行う心肺運動負荷試験(CPX)も感染対策の関係で十分施行できなかった。

<業務実績>

新患患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
救命部	4	1	2	0	1	0	0	1	1	2	2	1	15	4
循環器内科	21	15	26	15	21	19	28	21	18	29	15	19	247	225
合 計	25	16	28	15	22	19	28	22	19	31	17	20	262	229

実患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
入院	38	24	28	27	26	25	29	30	31	36	28	30	352	341
外来	13	19	20	18	21	27	21	21	20	23	17	17	237	271
合 計	51	43	48	45	47	52	50	51	51	59	45	47	589	612

実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
入院	245	131	243	169	133	158	120	176	195	210	165	199	2,144	2,437
外来	29	31	39	35	37	42	39	50	43	40	28	28	441	452
合 計	274	162	282	204	170	200	159	226	238	250	193	227	2,585	2,889

CPX 実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
CPX 実施件数	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0	5	6

加算単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初期加算(30日以内)	258	174	313	201	165	258	233	254	262	295	185	194	2,530
早期加算(14日以内)	190	81	179	138	80	140	73	118	173	161	175	112	1,447

<今後の展望>

循環器疾患患者に適した心リハ介入を行うため、入院後早期から病状に応じて介入を開始し、また外来でも適切にフォローすることが重要である。新型コロナウイルス感染症の蔓延により困難な点は多々あるが、感染対策に留意しつつ積極的に介入していきたい。

7. 栄養科

<令和3年度の活動>

栄養指導の増加を目指し、循環器のパスに栄養指導を組入れ栄養指導オーダの代行入力を実施した。 結果、指導件数を前年度の20%増加することができた。

給食管理では、食品衛生法の改定に基づいた食品衛生管理に取り組み、給食委託業者への衛生指導・HACCPに基づいた運用・衛生管理計画書の作成を行った。科内での災害対策活動として給食委託業者と共に備蓄食品を使用した訓練を行い作業・改善点の確認を実施した。

[給食委託業者:富士産業(株)]

〈業務実績〉

(1) 実施給食数

年 度	常食	軟菜食	流動食	特別食 (加算食)	特別食 (非加算食)	合 計	1 食当 平均食数
令和元年度	57,219	36,331	817	73,517	46,719	214,603	196
令和2年度	49,410	41,235	338	64,400	49,274	204,657	187
令和3年度	40,582	42,377	487	57,026	45,150	185,622	170

(2) 栄養指導件数

年度	肝臓病	胃・十二指腸潰瘍	消化管術後	炎症性腸疾患	腎臓病	糖尿病	糖尿病腎症	膵臓病	高血圧	脂質異常症	貧血	心臓病	その他	合計	月平均
令和元年度	47	29	76	8	17	356	42	16	26	28	4	395	103	1147	96
令和2年度	15	10	53	2	22	338	30	6	19	24	3	441	57	1,020	85
令和3年度	27	19	66	2	13	364	12	13	40	33	2	541	110	1,242	104

(3) 病棟訪問件数

年度	合計	月平均
令和元年度	338 件	28.2 件
令和2年度	639 件	53.3 件
令和3年度	917 件	76.4 件

(4) 実習・研修受入れ/他

実習研修内容	施設名	人数	受入れ期間
管理栄養士臨床栄養実習	千里金蘭大学	2名	中止※
	羽衣国際大学	2名	令和4年2/28~3/11

[※]新型コロナウィルス感染流行期の為中止

<今後の展望>

令和4年度は、患者教育への充実を目指し、診療報酬改訂に伴った業務体制の取組み・加算取得に向けた体制を構築したいと考える。

給食業務では、安全・確実な業務の遂行ができるよう作業動線の見直しを進め、衛生管理に努めたい。 又、患者給食の見直しを継続的に図り患者のニーズに合わせた食事提供を行い、治療の一環として貢献 していきたい。

8. 患者支援センター

1)入院前支援

<令和3年度の活動>

令和3年3月よりPFMワーキングを開始し、12月から循環器内科CAG/PCI目的入院患者を対象にPFM運用を開始した。運用を通し問題点の抽出及び拡大を視野に改善策を検討し運用方法の基盤を確立した。拡大にむけて診療科医師及びMS、該当病棟看護師長への説明を行い、7月より加算対象となる泌尿器科(癌・認知症・低ADL)、消化器外科(ERAS症例)、8月整形外科(脊椎固定・TKA・THA)の症例に対して運用を開始した。

【PFM(循環器内科)実施件数】

令和3年12月	19
令和4年1月	45
2 月	32
3 月	52
合 計	148

<今後の展望>

消化器外科、泌尿器科、乳腺外科、整形外科の患者のうち、手術目的、退院支援困難要因を有する患者を対象に PFM を開始し、入退院支援加算を算定する。また整形外科二次性骨折予防継続管理料 1,000点、緊急整復固定加算 4,000点算定が可能な症例は、緊急応需を受ける時点から対応していく。

2) 退院支援関係

<令和3年度の活動>

令和3年4月より退院支援看護師と社会福祉士各3名を採用し、入退院支援加算の算定を再開。入退院支援加算1は令和2年度278件、令和3年度1,663件の結果となった。コロナ禍の影響が続き、面会制限、院外訪問が減っている。カンファレンス開催に影響があり退院時共同指導、介護支援等の連携指導料の取得が難しい。

<今後の展望>

電子開催等の環境の整備を急ぎ、カンファレンスを行っていく。無料低額診療事業 10%達成に向け、無料低額診療事業のチラシを入院パンフレットに追加、電子掲示板への掲載、面談時間の増加、がん総合診療センターと共同し達成を目指す。

3)入退院支援関係

<令和3年度の活動>

令和3年4月以降入退院支援看護師8名(うち専従看護師1名含む)社会福祉士3名(うち専任1名を含む)の体制となり新たなスタートとなったが、人事異動や退職により入退院支援看護師6名(うち専従看護師1名含む)となる。

令和2年度より、入退院支援病棟看護師・社会福祉士の配置が増え、病棟カンファレンスへ参加(毎日)し、情報共有、病棟との共働に力を入れている。

入院患者・患者家族に寄り添い、安心した入院生活と退院後の生活がイメージできることを目指し支援介入を行っている。

・入退院支援加算1(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30	61	77	109	119	120	135	200	227	197	175	213	1,663

入退院支援加算1



・退院時共同指導料2 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	2	1	3	2	4	3	3	6	6	0	1	34

退院時共同指導料2



・介護支援等連携指導料(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6	9	10	14	16	5	10	15	7	10	2	5	109

介護支援等連携指導料



<今後の展望>

入退院支援加算は、算定できていた2年前の実績を超す算定件数の結果となった。来年度は、毎月の 算定件数をさらに増やするために、病棟看護師と協働をする仕組みや環境を推進し、患者家族が安心し て退院後のイメージができるよう環境づくりを推進していく。

Ⅲ. 無料低額診療事業関係

無料低額診療事業総相談件数:836件

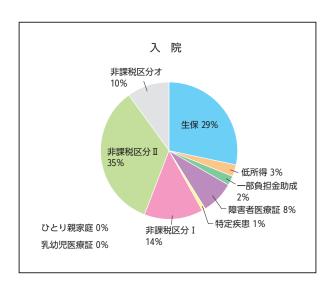
無料低額診療事業実績:9.1%

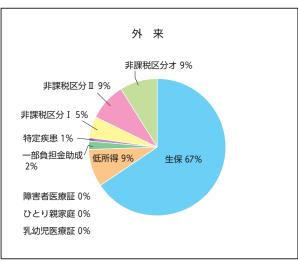
<月別内訳(実人数)>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総	数	132	131	133	144	144	129	139	139	172	145	125	157	1,690
低	所 得	25	21	26	36	26	22	25	22	29	28	19	31	310
非	課税	107	110	107	108	118	107	114	117	143	117	106	126	1,380

<保険種別> (人)

	入院	外来	延患者数
生 保	3,753	3,777	7,530
低 所 得	339	477	816
一部負担金助成	0	1	1
障害者医療証	1,007	19	1,026
ひとり親家庭	71	2	73
乳幼児医療証	0	0	0
特 定 疾 患	78	25	103
非課税区分I	1,781	307	2,088
非課税区分Ⅱ	4,496	509	5,005
非課税区分オ	1,323	528	1,851
		合計	18,493





Ⅷ. 初期臨床研修

1. 研修スケジュール

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
荒 木 翔	整形	泌尿器	麻酔	内 科 (消)	脳神経外 科	放射線科	精神	地域	総 合免 疫	診 / 内 科	内 科 (消)	内 科 (消)	
鈴 江 愛		診 / 内 科	地 域	外科	麻酔	整形	脳神経外 科	精神	内 科 (循)	放 射線 科	救命	救命	
清木紳平	内 科 (循)	内 科 (循)	内 科 (循)	内 科 (糖)	総 合 免 疫	診 / 内 科	救命	救命	地 域	精神	内 科 (呼)	麻酔	
堀 場 篤	麻酔	麻酔	総 合免 疫	診 / 内 科	精神	地域	泌尿器	脳神経外 科	放射線科	整形	救命	救命	
吉田春菜						救命	内 科 (糖)	整形	脳神経外 科	脳神経外 科	麻酔		三重大 たすきがけ

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
今村 優美	内 科 (消)	内 科 (消)	小児	救 命	救 命	救命	外 科	外 科	内 科 (循)	産 婦	内 科 (循)	内 科 (呼)	
服部桃子	内 科 (循)	内 科 (循)	救命	救 命	救 命	小児	内 科 (消)	内 科 (消)	産 婦	外 科	総合/免疫	内 科 (糖)	
古川諒	内 科 (糖)	内 科 (糖)	外 科	外 科	内 科 (循)	内 科 (循)	小児	救命	救 命	産 婦	救 命	総合/免疫	
堀 彩乃	内 科 (呼)	内 科 (呼)	内 科 (循)	内 科 (循)	内 科 (消)	内 科 (消)	外 科	救命	救命	救命	小児	外 科	
深山大樹	内 科 (呼)	内 科 (呼)	内 科 (循)	内 科 (循)	外 科	外 科	総合呼吸を	診 / 器内科	産 婦	救 命	救 命	小児	
秋山 裕美	外 科	外 科	内 科 (呼)	内 科 (呼)	内 科 (循)	内 科 (循)	免 疫内 科	免 疫内 科	小児	救 命	救 命	救 命	阪大たすきが け
上田美智子	救命	救命	救命	小児	内 科 (呼)	内 科 (呼)	内 科 (循)	内 科 (循)	内 科 (消)	内 科 (消)	外 科	外科	大阪公立大学 たすきがけ
湯上真由	救命	救命	救命	外 科	外 科	小児	内 科 (呼)	内 科 (呼)	内 科 (糖)	内 科 (糖)	内 科 (循)	内 科 (循)	大阪公立大学 たすきがけ

2. 研修管理委員会 研修管理運営委員会 開催状況

日付	委員会名	議題	出欠
	初期臨床研修管理運営委員会	・新委員の紹介 ・研修スケジュールの変更 ・卒後臨床研修評価機構 訪問調査 受審について ・学会・剖検のお願い ・報告事項	出席:20名 欠席:3名
10月20日	初期臨床研修管理委員会	・委員の紹介 ・卒後臨床研修医評価機構 訪問調査 指摘事項 改善策について ・医師臨床研修マッチング 中間発表について ・研修医 履修状況について ・インシデントレポート作成状況について ・スキルラボについて ・指導医講習会 参加について ・学会発表 剖検についてのお願い	出席:18名 (外部委員の欠席者から は委任状あり:9名) 欠席:5名
令和 4 年 1 月 20 日	初期臨床研修管理委員会	 ・令和4年度 研修スケジュール(案)について ・EPOC2 指導医評価入力について ・令和3年度 研修医アンケート結果について ・令和4年度採用 マッチング結果 ・来年度コアレクチャーのご依頼 ・令和4年度 プログラム改訂に向けてのお願い ・報告事項 	新型コロナウイルス感染 拡大の状況から、開催を 中止 (書面での確認のみ)
3月4日	初期臨床研修管理委員会	・初期臨床研修医 修了判定について ・令和4年度 初期臨床研修プログラム改訂 ・指導医評価、指導者評価について ・JCEP 評価調査票による自己評価 ・来年度より指導医の皆様へのお願い ・クリニカルスキルテスト結果報告 ・令和3年度 研修環境改善報告	出席:16名 (外部委員からは書面回 答にて研修医4名の修了 判定を了承済み) 欠席:8名

IX. 業績

1. 学会発表

演 題 名	演 者 名	学 会 名	年月日
循環器内科			
1) オープニングセミナー: 2020GL 改訂が弁膜症 診療の何を変えたか	中谷敏	第 11 回日本心臓弁膜症学会	令和3/11/20 座長
2) 高齢院外心停止症例における患者背景を考慮し た蘇生処置中止時間の検討	舟田晃	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/21
3) Prehospital Variables Associated with Neurologically Intact Survival in Elderly Survivors after Out-of-hospital Cardiac Arrest: Evidence from a Japanese Nationwide Population-based Cohort Study	舟田晃	American Heart Association Scientific Sessions Resuscitation Science Symposium 2021	令和3/11/13
4) 急性心筋梗塞を契機に診断された家族性 LCAT 欠損症の一例	舟田晃	第 53 回日本動脈硬化学会総会・学術 集会	令和3/10/23
5) 意識障害により搬送された巨大左室瘤の一例	山本隆盛	第 69 回日本心臓病学会学術総会	令和3/9/17
6) 意識障害を契機に発見された巨大左室瘤の一例	山本隆盛	第 132 回日本循環器学会近畿地方会	令和3/12/13
7) 意識消失の原因検索に植え込み型ループレコーダーが有用であった高齢者の一例	清木紳平	第 232 回日本内科学会近畿地方会	令和3/6/26
8) 伝達麻酔によるプレート抜釘後に外来で心室細動を併発した冠攣縮性狭心症の1症例	清木紳平	第 132 回日本循環器学会近畿地方会	令和3/12/13
1) COVID-19 パンデミック下での糖尿病患者の 心理的ストレスと血糖コントロールの変化につ いての検討	星歩	第 64 回日本糖尿病学会年次学術集会	令和3/5/20
小児科			
1) 診断までの期間に差が生じた発作性運動誘発性ジスキネジアの2例	宮下光洋	第 124 日本小児科学会学術集会	令和3/4/17
2) 日本紅斑熱の臨床経過・診断について	松谷恵里	北摂小児科医会	令和3/7/31
3) 診断まで1か月以上を要した小児肺結核の一例	松谷恵里	第 35 回近畿小児科学会	令和4/2/27
消化器外科			
1)腹腔鏡下直腸癌切除後補助化学療法(CAPOX) 中に発見された門脈血栓症の1例	真貝竜史	第 43 回日本癌局所療法研究会	令和3/5/21
2) 一般演題 176 大腸救急 5 (座長)	真貝竜史	第76回日本消化器外科学会総会	
3) 当院における中心静脈ポート留置の治療成績についての検討	深田唯史	第76回日本消化器外科学会総会	令和3/7/7
4) 胃切除術後に特発性細菌性腹膜炎と診断された 原発性胆汁性肝硬変合併胃がんの1例	谷□嘉毅	第 43 回日本癌局所療法研究会	令和3/5/21
5) Flexible Grasper/ Double-Balloon Endoscopic Surgical Platform を用いた右側 結腸 ESD: 前臨床試験	浦川真哉	第 76 回日本消化器外科学会総会	令和3/7/7
6) Percutaneous Access to Colon under a Double-balloon Endolumenal Platform for Tumor Excision: Ex-vivo Trials and Clinical Experience	浦川真哉	第29回日本消化器関連学会週間 (JDDW)	令和3/11/4

		演者名	学 会 名	年月日
7)	ダブルバルーンオーバチューブを用いた経皮的 大腸腫瘍切除および穿孔部閉鎖:前臨床試験、 症例報告	浦川真哉	第 34 回日本内視鏡外科学会総会	令和3/12/2
8)	Successful closure of refractory colonic fistulas using advanced imaging with endoscopic clips under a double-balloon interventional platform	浦川真哉	Digestive Disease Week (DDW) 2021	令和3/4/24
9)	ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION OF PSEUDO-POLYPS IN THE RIGHT COLON USING AN ENDOSCOPIC NOVEL FLEXIBLE GRASPER AND DOUBLE BALLOON ENDOSCOPIC SURGICAL PLATFORM: PRECLINICAL TRIAL	浦川真哉	Society of American Gastrointestinal and Endoscopic Surgeons (SAGES) 2021	令和3/5/21
10)	Success with Novel Combined Endoscopic and Fluoroscopic Approach for Distal Small Bowel Obstruction	浦川真哉	American College of Surgeons (ACS) 2021	令和3/8/31
11)	Novel Percutaneous Access using Endoscopy and Advanced Imaging for Small Bowel Obstruction	浦川真哉	American College of Surgeons (ACS) 2021	令和 3 /10/23
12)	Novel Percutaneous Access to Large Intestine using a Double Balloon Endolumenal Platform for Tumor Excision: Preclinical Trials and a case report	浦川真哉	American College of Surgeons (ACS) 2021	令和 3 /10/23
13)	Use of Endoscopic Sleeve to Achieve Full Thickness Endoscopic Resection of Malignant Polyp under Direct Vision	浦川真哉	American College of Surgeons (ACS) 2021	令和 3 /10/23
14)	Use of a Novel Balloon Overtube for Tumor Excision and Closure of Intestinal Defect in the Right Colon: Preclinical Trial	浦川真哉	American College of Surgeons (ACS) 2021	令和 3 /10/23
15)	当院における下部消化管穿孔の緊急開腹手術後 SSI 発症に対する DPC+NPWT 療法の有用性 の検討< br/ >	加藤淳一郎	第 13 回 日 本 Acute Care Surgery 学会 学術集会	令和 3 /11/27
16)	短期間に3度の門脈ガス血症を繰り返したもの の消化管切除…1例	加藤淳一郎	第 49 回日本集中治療医学会学術集会	令和4/3/20
17)	術前診断に苦慮した肉芽腫性虫垂炎の一例	鈴江愛	第 204 回近畿外科学会	令和3/3/20
18)	大腿ヘルニア嵌頓に大腿 Plug 法実施し、術後 リンパ瘻から感染をきたした 1 例	今村優美	第 15 回関西ヘルニア研究会	令和3/12/11
19)	完全内臓逆位を伴う急性虫垂炎に対し単孔式腹 腔鏡下虫垂切除術を施行した 1 例	秋山裕美	第83回日本臨床外科学会総会	令和3/11/19
乳				
	乳腺腺筋上皮腫の1例	北條茂幸	第 29 回日本乳癌学会学術総会	令和3/7/1
2)	長期生存し得た鎖骨上リンパ節転移の症例	吉岡節子	第 29 回日本乳癌学会学術総会	令和3/7/1
整				
	大腿骨転子間骨折(AO 分類 31-A3) の特徴と ロングγによる術後成績	安原良典	第 47 回日本骨折治療学会学術集会	令和3/7/2
2)	Su type II 人工膝関節周囲大腿骨遠位部骨折の 治療経験	安原良典	第 52 回日本人工関節学会	令和4/2/25
3)	併設する救命救急センター経由で手術を行った 脊椎外傷の検討	伊達優子	第 136 回中部日本整形外科災害外科 学会学術集会	令和3/4/9
4)	大腿骨転子部骨折における整復型とラグスク リュー刺入位置の関係についての関係	松本聖志郎	第 137 回中部日本整形外科災害外科 学会・学術集会	令和3/10/9
脳	申経外科			
1)	重症偶発性低体温症に対する復温方法の検討	山田大輔	第 49 回日本集中治療医学会学術集会	令和4/3/20

	演 題 名	演者名	学 会 名	年月日
2)	脳底動脈閉塞により心停止し、蘇生後に血栓回 収療法を施行し、術後管理で低体温療法を併用 した1例	市橋大治	STROKE2022	令和4/3/17
産	帚人科			
1)	2020 年における当科の RPS	武曽博	第 61 回日本産科婦人科内視鏡学会	令和3/9/11
2)	単孔式手術を円滑に行うための工夫について	武曽博	第 34 回日本内視鏡外科学会総会	令和3/12/1
3)	RPS における子宮マニュピレーター装着困難症 例に対しての一工夫〜ダグラス窩受け皿法〜	大上健太	第61回日本産科婦人科内視鏡学会	令和3/9/11
4)	腹腔鏡下手術中に判明した卵管成熟嚢胞性奇形 腫の1例	下村将央	第 61 回日本産科婦人科内視鏡学会	令和3/9/11
総	。 合診療部			
1)	当院の新型コロナウイルス感染症 COVID-19 対応状況の検討	土井泰冶	第 23 回日本病院総合診療医学会学術 集会	令和3/9/18
麻	· 幹科			
1)	前立腺肥大による尿閉から尿管破裂となり後腹 膜膿瘍に至った一例	渡邉敬祐	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/23
千!				
1)	COVID-19 診療と 3 次救急の両立 その現状 と問題点	澤野宏隆	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/23
2)	COVID-19 に対する ECMO 管理中に発生した 特発性腸腰筋血腫の治療法の検討	澤野宏隆	第 49 回日本集中治療医学会 社員総会、学術集会	令和4/3/19
3)	外科・救急課専門医のダブルボード - 自己完結 型救命センターでの活かし方と課題 -	橘高弘忠	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/23
4)	子どもメディカルラリー開催による児童・保 護者の応急手当に対する意識変革について	伊藤裕介	第74回済生会学会 令和3年度済生 会総会	令和4/2/27
5)	バルプロ酸中毒症に対してメロペネムを使用 し早期に血中濃度の低下を得た一例	森田吉則	第 49 回日本救急医学会総会	令和3/11/22
6)	食塩中毒により脊髄に浸透圧性脱髄症候群を 来した1例	福田将啓	第 49 回日本集中治療医学会学術集会	令和4/3/20
7)	当院での非閉塞性腸間膜虚血 19 例の検討	山口英治	第 12 回 日 本 Acute Care Surgery 学会学術集会	令和3/4/22
8)	鋭敵刺創による胃損傷にたいして damage control surgery で救命した1例	山口英治	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/22
9)	観血的治療後に診断された後天性血友病 A の 一例	酒井峻介	第 49 回日本救急医学会総会・学術集 会	令和3/11/23
初	期臨床研修センター			
1)	CT で偶発的に認めたリンパ節腫大を契機に 診断された小腸原発 MALT リンパ腫の 1 例	深山大樹	第 205 回近畿外科学会	令和4/3/5
2)	治療方針に苦慮した 高齢者の出血性肝嚢胞の 1例	古川諒	第82回摂津外科検討会プログラム	令和3/4/21
3)	両側扁桃炎により nearCPA に至った一例	上田美智子	第58回プライマリ・ケア合同カンファレンス	令和3/9/16
4)	COVID-19 に対するステロイドパルス療法と トシリズマブまたはバリシチニブの併用療法の 後方視的検討	上田美智子	第 98 回日本呼吸器学会近畿地方会	令和 3 /12/11
5)	両側胸水の原因として左卵巣線維腫による Meigs 症候群と診断した1例	湯上真由	第 235 回日本内科学会近畿地方会	令和4/3/12

演 題 名	演者名	学 会 名	年月日
感染管理室			
1)活動の幅を広げよう! ICN のキャリアアップ	橋本渚	日本感染管理ネットワーク学会学術 集会	令和3/5/14
2) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行 下における医療器具関連感染への影響について	橋本渚	第 36 回日本環境感染学会総会・学術 集会	令和3/9/19
看護部長室			
1)ドクターカーナースの暫定的教育プログラムの 将来構想〜今求められるドクターカーナースの 役割〜時代の変化を捉えたドクターカーの役割 とドクターカーナース教育〜 2025 年問題を見 据えて〜	美馬美保	第23回 日本救急看護学会学術集会	令和3/10/23
千里救命救急センター			
1)A 病院 ICU の特徴を踏まえた COVID-19 感染 対策	永井友里恵	第 36 回日本環境感染学会総会・学術 集会	令和3/9/19
2) 救命救急センターにおける末梢ルート挿入に伴う静脈炎の発生要因の検討	小石芙美	第9回大阪府看護学会	令和3/12/10
3)救命救急センター ICU における自動運動リハ ビリの効果の検討	白上哲平	第23回 日本救急看護学会学術集会	令和 3 /10/23
4)ICU における意思決定支援で生じるジレンマ 〜その要因と向き合い方の考察から〜	池尻葉月	第 123 回近畿救急医学研究会	令和4/3/26
化学療法室			
1)がん化学療法看護認定看護師が行ったがん相談 を振り返る	川南健	第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会	令和4/2/17
リハビリテーション部			
1)心肺停止蘇生後の全身性筋力低下に対し ICU- AW が疑われた一症例	永井佑典	第 49 回日本集中治療医学会学術集会	令和4/3/18
2)リハビリテーションにより ADL が改善した重 症蘇生後脳症の一症例	伊藤勇基	第 49 回日本集中治療医学会 学術集 会	令和4/3/18
放射線部			
1) 心筋血流・脂肪酸代謝シンチグラフィにおける ^{201 基礎的検討}	上田哲也	第74回済生会学会 令和3年度済生 会総会	令和4/2/27
2) 頭部 CT perfusion における被ばく線量低減	上田貫太	第 74 回済生会学会 令和 3 年度済生 会総会	令和4/2/27
薬剤部			
1)当院における irAE の発現状況	西塔志織	第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会	令和4/2/17
臨床工学科			
1) 当院における心・血管カテーテル業務でのタスクシフト・タスクシェアの取り組み	冨永篤史	第 31 回日本臨床工学会および令和 3 年度公益社団法人日本臨床工学技士 会総会	令和3/5/22
臨床心理室			
1) コロナ重症患者受け入れ病院の医療従事者におけるワーク・エンゲイジメントとその関連要因 — COVID-19 対応者と非対応者との比較—	須磨知美	第 29 回日本産業ストレス学会	令和4/3/25
患者支援センター			
1) 国際支援活動3 人材育成・体制構築(座長)	京極多歌子	第 27 回日本災害医学会・学術集会	令和4/3/3

2. 論文・著書

	論 文	名	氏名	掲載雑誌名
循環器	器内科			
1)新	しい感染性心内膜炎ガイドラー	インと歯科診療における意義	中谷敏	有病者歯科医療2021年29号24- 27
小児科	斗			
1) BC	CG 接種痕の潰瘍を認めた不全	型川崎病の1例	宮下光洋	小児科臨床74巻9号1114-1118
消化器	告 是 是外科			
	腔鏡下直腸癌切除後補助化学 血栓症の 1 例	療法(CAPOX)中に発見され	た門 真貝竜史	癌と化学療法48巻13号1767- 1769
2) 両	側鼠径リンパ節に転移を認める	を横行結腸癌の1例	深田唯史	癌と化学療法48巻3号431-433
	切除術後に特発性細菌性腹膜 胃癌の1例	炎と診断した原発性胆汁性胆管	於合 谷□嘉毅	癌と化学療法48巻13号1655- 1657
rig en	ght colon using an endosco	ssection of large polyps in pic snare with a double-bal platform: an ex vivo study	loon	Surgical Endoscopy-2021- Nov-35-11 6319-6328
in Do	the Right Colon Using a N	section of Large Pseudo-Po ovel Articulating Grasper W al Surgical Platform: An Ex I Model	ith a	Diseases of the Colon & Rectum-2021-Feb-64-2 34-38
de		m biopsy valve and endosc c caution advised during		Endoscopy International Open 2021-Mar-9-3 443-449
rig	ndoscopic submucosal dis: ght colon using a novel flo stal tip and elbow-like ben	section of pseudo-polyps ir exible grasper with articula ding: Preclinical Trial	i the 浦川真哉 ating	Scientific Report 2021-Sep- 11-1
		ss to Large Intestine usi l Platform for Tumor Excisic		Endoscopy-2021-Jul
En	se of Endoscopic Sleev ndoscopic Resection of <i>I</i> sion	e to Achieve Full Thicki Malignant Polyp under D	ness irect	Endoscopy-2021-Jul
	瘍性 DIC を疑い摘出術を施行 な転帰をたどった1例	したが術後播種性骨髄癌腫症に	て急伊藤善郎	癌と化学療法48巻4号602-604
千里求	 数命救急センター			
1) Cl hy	inical relevance of impair pothermia: a Japanese mu	ed consciousness in accide Ilticenter retrospective stud	ental 福田将啓 Y	Acute Medicine & Surgery (Volume 9, Issue 1; 11 February 2022)
放射網				
1)頭	部 CT perfusion における被	ばく線量低減	上田貫太	済生会千里病院医学雑誌(30巻)

論 文 名	所属	氏名	発行所
1) 臨床循環器学 心臓弁膜症の疫学 p.346-348	循環器内科	中谷敏	文光堂
2) 今日の治療指針 2022 年版 大動脈弁膜症 p.416-418	循環器内科	中谷敏	医学書院
3) 今日の治療指針 2022 年版 (ポケット版) 大動脈弁膜症 p.416-418	循環器内科	中谷敏	医学書院
4) 内科学 第12版 心エコー法 p.II-76-86	循環器内科	中谷敏	朝倉書店
5) 今日の治療指針 2022 年版 小手術手技 皮膚開放創の処置	千里救命救急 センター	澤野宏隆	医学書院

論 文 名	所属	氏名	発行所
	千里救命救急 センター	澤野宏隆	総合医学社

3. 講演会等

【外部主催】

演 題 名	演者名	講演会等名	年月日
がん総合診療センター			
1) がんとともに	福﨑孝幸	吹田市立第6中学校がん教育	令和3/9/24
2) がんとともに	福﨑孝幸	吹田市立第2中学校がん教育	令和3/11/24
消化器外科			
1) 大腿ヘルニア	福﨑孝幸	吹田医師会イブニングセミナー	令和3/11/12
千里救命救急センター			
1) 救急受診する患者に潜むピットホール	澤野宏隆	第28回 東近江臨床勉強会	令和3/5/12
感染管理室			
1) 在宅に関わる新型コロナウイルス感染者への対応と注意点	橋本渚	特定医療法人ダイワ会 大和病院	令和3/4/7
2) 新型コロナウイルス感染症を正しく理解しよう ~医療の現場から~	橋本渚	山田高校	令和3/6/24
3) 感染対策について	橋本渚	彩都リハビリテーション病院	令和3/7/26
4) 実践に活かす静脈注射・輸液管理の基本知識~ デバイスの特徴と使用頻度が高い薬剤~	橋本渚	大阪府看護協会	令和3/9/30
5) コロナ感染症と頚損者の地域生活	橋本渚	大阪頚髄損傷者連絡会	令和3/11/21
薬剤部			
1) 下痢・便秘	西塔志織	吹田市薬薬連携セミナー	令和3/9/26
臨床工学科			
1) EMIS	冨永篤史	令和3年度近畿地方災害医療ロジス ティクス研修会	令和3/10/17

【当院主催】

演 題 名	演者名	講演会等名	年月日
がん総合診療センター			
1)当院における ACP の取り組み	福﨑孝幸	千里在宅医療・緩和を考える会	令和3/11/18
2) 当院における ACP の取り組み	松本佳織	千里在宅医療・緩和を考える会	令和3/11/18
整形外科			
1)腰痛のはなし	伊達優子	吹田市北千里公民館主催市民健康講座	令和3/6/12
歯科口腔外科			
1) 口腔がん	金﨑朋彦	南千里図書館主催市民健康講座	令和3/6/22
循環器内科			
1) 心房細動について知ろう ~早く気づくこと、 早く治すこと~	増村雄喜	オンライン市民健康講座	令和3/7/17
2) この症状、ひょっとして心臓病?	中谷敏	吹田市北千里公民館主催市民健康講座	令和3/10/26

	演	題	名	演者名	講演会等名	年月日
消化器外科						
1) がんとともに	~家族	族で話る	そうがんのこと〜	福﨑孝幸	吹田市北千里公民館主催市民健康講座	令和3/11/6

X. 看護部研修

1. 院内研修 令和3年度

	年間計画									
	開催日	講義・演習	社会人基礎力	看護過程の展開						
新.	人看護職員									
	4月24日	・採血(医療安全、感染対策)	説明:報告連絡相談とは①	情報収集						
	5月29日	・酸素療法/フィジカルアセスメント	ストレスマネジメント①							
	6月26日	・移送・移動 ・食事介助・窒息予防(医療安全・感染対策)	3ヶ月評価	アセスメント						
	7月24日	・静脈注射(医療安全、感染対策)								
	8月28日	・静脈注射試験(技術の再確認が必要な場合は 午後に確認)		AM 関連図の自己学習						
	9月25日	・シリンジポンプ・輸液ポンプ(医療安全・感染対策)	報告連絡相談(SBAR)② 6ヶ月評価							
	10月23日	・急変対応、BLS(医療安全・感染対策)		関連図						
	11月27日	・災害看護	ストレスマネジメント②							
	12月25日 ・看護を行う上で大切にしていることの説明、 看護を語る会		9ヶ月評価	看護上の問題						
	1月29日	・看護倫理(電子開催)	報告連絡相談(多重課題)③							
	2月26日	・多重課題(医療安全・感染対策)(電子開催)								
	3月26日	・看護を行う上で大切にしていることの発表	12ヶ月評価と次年度の課題							

	研修会名	開催日	内容
実	地指導者研修		
	第1回	4月17日	・当院看護部教育目的、教育目標 ・新人看護職員研修ガイドライン ・新人看護職員の理解
	第2回	5月22日	・成人学習に関する基礎知識 ・教育目標と指導技術 ・動機づけとコミュニケーション技術
	第3回	7月 (電子開催)	・指導の評価・経験学習につなげる関わり方・3ヶ月評価
	第4回	10月2日	・医療安全に関する新人看護職員への支援・フィードバック技術・自立への支援・6ヶ月評価
	第5回	12月 (電子開催)	・周囲への働きかけ ・実地指導者の悩みの共有
	第6回	3月5日	・実地指導者としての1年間の評価

	研修会名	開催日	内容	参加者数
卒	後2年目研修 卒後2年	目およびそれに相当する	5もの	
	第1回目研修	令和3年5月15日	メンバーシップ/社会人基礎力	29名
	第2回目研修	令和3年8月7日	患者の権利/ケーススタディについて	27名
	第3回目研修 令和3年10月9		急変時シミュレーション	26名
	第4回目研修※	令和4年5月14日	ケーススタディ発表/卒2のまとめ	23名
卒	後3年目研修 卒後3年	目およびそれに相当する	5もの	
	第1回目研修	令和3年7月10日	後輩指導の理論と実践	28名
	第2回目研修	令和4年2月12日	オンライン研修:フォロー/卒3まとめ	23名

リーダー研修 I	実務経験2年目以上でリーダーシップの基礎を学んでいない者						
	令和3年11月13日 リーダーシップ概論	29名					
リーダー研修Ⅱ	実務経験3年目以上でリーダー研修 I またはそれに相当する研修を受講した者で、リーダー的役割を経験した者						
	令和3年12月11日 状況に応じたリーダーシップ (急変時対応含む)	14名					
リーダー研修Ⅲ	実務経験5年目以上でリーダー研修Ⅱまたはそれに相当する研修を受講した者						
	令和3年9月11日 チーム医療における看護職の役割	19名					

※令和4年1月15日開催予定であったが、コロナ禍により令和4年5月14日に延期実施

		年間計画
	開催日	内容
教	育担当者研	修
	4月9日	・新人看護職員研修ガイドライン、新人看護職員の理解、研修企画の運営と評価
	6月11日	・新人を育てる風土作り(GW)、ファシリテーション(講義)
	8月13日	・教育担当者におけるコミュニケーション能力(GW)、アイスブレイク(講義)
	10月8日	・8月に行った GW の発表会、教育担当者の中間自己評価
	12月10日	・組織としての支援体制作り(部署の課題をロジックツリーを用いて抽出)
	3月11日	・教育担当者の最終評価の結果報告

2. 認定看護師による教育プログラム 参加者数

目的:院内の看護の質の向上を図るため

目標:①院内の看護師が学習の機会を得る

②院内の看護師の学習意欲が向上する

③学習会参加者のスキルアップが図れる

④院外参加者の自己参加目標を達成する

								参] .	人	数						
コース	テーマ	開催日	8階	7階	6階	5階	4階	3階	EW	ICU	ОР	外来	放・ 内視鏡	看護 部室	訪問	他	院外	計
集中ケア	リフレクション(新人看護師)	7/13			4						$\overline{}$							4
集中ケア	呼吸ケア(酸素、加湿、気管切 開チューブ、カフ圧計)	7/20			5													5
集中ケア	呼吸ケア(ポジショニング)	7/22			4													4
集中ケア	フィジカルアセスメント	11/19		$\overline{}$	$\overline{}$											2		2
集中ケア	酸素療法	11/22														4		4
集中ケア	外傷看護	12/14		$\overline{}$								8						8
集中ケア	脳卒中の観察について	12/21		$\overline{}$								10						10
慢性心不全看護	心不全疾患管理について	10/28		$\overline{}$											5			5
慢性心不全看護	心不全疾患管理について	11/4		4								1						5
慢性心不全看護	心不全疾患管理について	11/18		3														3
感染管理	標準予防策(リハビリテーショ ン部)	7/28																0
感染管理	中心静脈カテーテルの管理につ いて(5 階病棟)	12/16				17												17
感染管理	中心静脈カテーテルの管理につ いて(5 階病棟)	12/22				17												17
認知症看護	前頭側頭型認知症(患者支援センター)	12/1														6		6
認知症看護	せん妄の薬物療法(患者支援センター)	12/15														5		5
がん化学療法看護	AYA 世代へ看護師はどのように 関わったらよいか〜化学療法の 視点で考える〜	11/25						15										15
がん化学療法看護	AYA 世代へ看護師はどのよう に関わったらよいか〜化学療法 の視点で考える〜	12/17						15										15
乳がん看護	検査から術式決定まで	12/23						14										14
救急看護	フィジカルアセスメント・BLS	4月	Z	\angle	Z	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	Z	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	\mathbb{Z}	2	\angle	2
救急看護	フィジカルアセスメント (意識 障害と意識レベルの観察)	9月										16						16
救急看護	二次救命救急の実技演習(研修 医向け)	10/6														5		5
救急看護	二次救命救急の実技演習(研修 医向け)	11/3	7	<u> </u>	7	7			7	7	7					4		4
			0	7	13	34	0	44	0	0	0	35	0	0	5	28	0	166

令和3年度はコロナ禍に伴い、集合して行なう教育プログラムから、少人数対応の教育プログラムに変更し、提供できる学習内容一覧を周知した。その結果、開催回数、参加人数は例年に比べて少なかった。

3. 看護補助者研修

目的:看護補助者が看護チームの一員として看護師を含む他職種と協働し、看護チームの一員としての 自覚を持ち役割を遂行できる

年月日	対象	テーマ	目的	参加人数
令和3年 4月20日	看護部クラーク	守秘義務、個人情報の保護	守秘義務、個人情報保護、倫理的な 行動について考え、自身の行動をふ りかえることができる。	8
5月18日	看護助手	守秘義務、及び個人情報保護の基礎 知識と倫理の基本	守秘義務、個人情報保護、倫理的な 行動について考え、自身の行動をふ りかえることができる。	17
6月15日	看護部クラーク	感染防止対策	 感染対策の必要性と標準予防策を理解する 看護補助業務における感染対策のタイミングを理解する 	7
7月20日	看護助手	感染防止対策	 感染対策の必要性と標準予防策を理解する 看護補助業務における感染対策のタイミングを理解する 	13
8月17日	看護部クラーク	災害医療対策	災害拠点病院の看護補助者として自 身の行動を考える	6
9月21日	看護助手	災害医療対策	災害拠点病院の看護補助者として自 身の行動を考える	19
10月19日	看護部クラーク	医療安全	1) ヒューマンエラーの考え方が理解出来る2) ヒューマンエラーを防止する取り組みについて理解出来る	9
11月16日	看護助手	医療安全	1) ヒューマンエラーの考え方が理解出来る2) ヒューマンエラーを防止する取り組みについて理解出来る	21
12月21日	看護部クラーク	認知症患者への基本的対応	認知症患者の病態や特性を学び日常 の援助や対応が適切に出来る	7

令和4年1・2・3月はコロナ感染対策のため集合研修の開催を中止

XI. 委員会・医療チーム活動

1. 委員会活動

薬事委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における医薬品の採用、使用及び管理について審議し、適正かつ効率的な運用を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

1) 採用薬の検討

	5月	7月	9月	11月	1月	3月
院内採用(件)	4	10	9	10	5	5
院外採用(件)	2	4	1	3	2	4
院内→院外採用への変更(件)	1	0	0	4	1	1
採用抹消(件)	2	5	29	8	2	8
後発品・BS への変更(件)	0	9	2	0	0	2

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:6回(定められた開催数:奇数月 第1水曜日 6回)

開催時間:16:30~17:00 (もしくは電子会議)

平均参加率:95.8%

4. 研修会・勉強会の開催

栄養委員会

1. 目的

栄養委員会は、当院における入院食事療養、栄養食事指導等について検討し、内容・質・運営の効率 化及び向上を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ○毎月の報告事項
- ・濃厚流動食使用状況
- 行事食実施予定
- ・えいようだより作成報告
- ○主な検討事項
- ・病院食アンケート集計結果報告、改善点の検討(5月・11月にアンケート実施)
- ・医師検食について
- ・栄養情報提供書の運用について
- ・経腸栄養剤のアダプタ変更について
- グルタミンFの採用について
- ・電子カルテシステム 栄養指導依頼の設定変更について
- ・自助食器の使用について
- ・院内約束食事箋の検討
- ・食中毒防止の注意喚起

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月第3金曜日 12回)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:97%

4. 研修会・勉強会の開催

手術室運営委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における手術室にかかる事項について審議し、円滑且つ適切な手術室運営及び手術室業務を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

- ・IPC 運用の改訂
- ・抗凝固薬の休薬期間の改訂
- ・左右誤認防止に向けての取り組み

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月 第2火曜日 1回)

開催時間:17:30~18:30

平均参加率:93%

4. 研修会・勉強会の開催

6月8日 VIO3導入による取り扱い

内視鏡室運営委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における内視鏡室の運営に関して検討し、適切な運営を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

- 1) 外来検査予約枠の変更
- 2) 内視鏡関連同意書の見直しと改訂6項目に関して見直しと改訂を行った
- 3) 内視鏡検査時の飛沫予防策実施
- 4) 17 時以降の病理検体提出方法の変更
- 5) 入院して大腸内視鏡検査を行う患者に対する休止薬の説明内容の統一
- 6) 内視鏡ホームページの更新
- 7) 内視鏡マニュアルの更新作業

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:6回(定められた開催数:偶数月第3月曜日)

全て電子開催

平均参加率:約85%

4. 研修会・勉強会の開催

放射線運営委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における放射線部の運営に関して検討し、適切な運営を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

- 放射線機器整備に関する検討
- ・MRI・血管造影枠の調整
- ・条件付き MR 対応ペースメーカー検査実施規定作成
- ・予約検査の待ち日数調査および予約枠の調整
- ・モダリティ別検査件数報告

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:2回(定められた開催数:偶数月 第2水曜日 6回)

※新型コロナウィルス感染防止対策のため電子開催の月あり

開催時間:17:00~17:30

平均参加率:70%

4. 研修会・勉強会の開催

なし

情報システム委員会

1. 目的

病院内の情報システムの全体構成ほかの事項を検討し、適正な情報システムの構築と診療情報などの 院内情報の共有・活用を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

コロナ禍で委員会は回覧での電子開催にて実施。

・情報セキュリティに関しての検討及び令和4年度以降のシステム更新のスケジュール検討を実施

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:6回(定められた開催数:隔月 第3月曜日)

開催時間:17:00~18:00

平均参加率:53%

診療材料使用検討委員会

1. 目的

本委員会は、診療材料の標準化を図るため、使用・購入等に関する事項について検討し、標準化を軸とした材料費抑制による経営効率の適正化を図る事を目的とする。

2. 令和3年度の活動報告

診療材料等採用申請について

4月(新規採用:0項目、変更・追加:0項目)検討実施6月(新規採用:0項目、変更・追加:2項目)検討実施8月(新規採用:1項目、変更・追加:0項目)検討実施10月(新規採用:0項目、変更・追加:3項目)検討実施12月(新規採用:0項目、変更・追加:3項目)検討実施2月(新規採用:1項目、変更・追加:3項目)検討実施2月(新規採用:1項目、変更・追加:3項目)検討実施

3. 今後の課題・展望

定期的に各部門からの申請事案を審議していくだけでなく、委員会(事務局)として、材料の標準化・ 材料費抑制提案を積極的に提言していきたい。

済生会本部統一品の品目について、迅速に切替えをおこなっていく。また、済生会本部共同購入である品目についても積極的に採用をおこなっていく。

4. 開催状況・平均参加率

開催回数:偶数月の第2木曜日 開催時間:16:00~17:00

平均参加率:80%

5. 研修会・勉強会の開催

機器整備委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における医療用器械備品等について、購入の標準化の検討および 投資・購入の必要性や費用対効果等の投資効果に関する事項について検討し、安全で良質な心のこもっ た医療に寄与することを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

各部署からの申請物品の必要性及び優先順位の説明を受け、委員長より概況説明が行われた。医療機器に関しては、機器の中央管理化・計画的更新が行えている。また、新型コロナ関連補助金等を活用した医療機器の更新も行えている。次年度も計画的更新を行っていく。建物等設備に関しては、財務状況にコロナ禍の影響が加わり、平成30年度に立案した建物保全中長期計画も着手できていない状況であり、多額の予算化が必要となる。加えて、診療機能の充実に向けた改修工事等も必要となる。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:適宜)

開催時間:17:00~18:00 平均参加率:100%(電子開催)

4. 研修会・勉強会の開催

保険診療委員会

1. 目的

当院における保険診療に関する事項を審議し、健康保険法及び保険医療養担当規則に基づく適正な保険診療の運営を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

6月22日:減点・復活比率、減点内容、再審査請求結果報告

その他<大阪府医師会より通知文書の周知>

9月28日:減点・復活比率、減点内容、再審査請求結果報告

その他<支払基金より連絡文書の通知、令和3年度保険診療研修会について>

12月28日:減点・復活比率、減点内容、再審査請求結果報告

その他<保険診療研修会について>

3月22日:減点・復活比率、減点内容、再審査請求結果報告

※全て電子開催

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:4回(定められた開催数:3ヶ月に1回 第4曜火曜日 4回)

開催時間:16:00~16:30

平均参加率:95%

4. 研修会・勉強会の開催

令和 4 年 2 月 22 \sim 28 日、 3 月 28 日 \sim 4 月 1 日の期間で全職種対象 e- ラーニングを活用し、「保険診療とは」と「令和 4 年度診療報酬改定の概要」と言うタイトルの基礎知識を取り入れた研修を実施。

コーディング委員会

1. 目的

本委員会は、当院における適切なコーディング(適切な診断を含めた診断群分類の決定)を行う体制を確保することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

主に、未コード化傷病名の使用率・詳細不明病名の使用率についての報告を行った。 令和3年度の当院における上記使用率は基準内であった。

委員会の実施

- · 6月24日(木) 電子開催
- ・ 9 月 28 日 (火) 電子開催
- ・12月24日(金) 電子開催
- ・3月30日(水) 電子開催

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:4回(定められた開催数:4回)

開催時間:16:45~17:00

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

なし

医療ガス安全管理員会

1. 目的

医療ガス(診療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等を言う。)の安全管理に関する事項について検討し、診療の用に供するガス設備の保安管理に基づき、医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

2. 令和3年度の活動

- ・医療ガス設備についての日常3カ月×2回及び、6カ月並びに、1年点検の実施。
- ・8階HCU改修工事に伴い、O・V×16床分撤去後、O・A・V×6床分新設。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:年1回)

開催時間:新型コロナウイルス流行のため、電子開催

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

個人情報保護委員会

1. 目的

当院の保有する個人情報の管理体制を構築し、保護対策を推進管理することを目的として、院長直属の委員会として活動している。

2. 令和3年度の活動

年に1回委員会を開催し個人情報保護監査結果・個人情報に関するインシデントの報告及び e- ラーニングを利用した個人情報保護の院内研修を開催。

当院が保有するすべての個人情報を特定し、特定した個人情報に関する危機(個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなど)を調査・分析するための手順・方法を確立し、適切な保護措置を策定し維持している。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:年1回)

開催時間:30分 平均参加率:60%

4. 研修会・勉強会の開催

12月 e- ラーニングによる個人情報保護研修

棚卸実施委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における棚卸資産について、実地棚卸が確実かつ効率的に実施されることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

委員会開催

令和4年3月17日(木)

棚卸実施

- ①令和3年9月30日(木)
- ②令和4年3月31日(木)

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:年1回(必要に応じて適宜開催)

開催時間:15:00~15:30

平均参加率:91%

4. 研修会・勉強会の開催

- 1. 棚卸実施時留意事項説明(全職員対対象 イントラネットにて)
- 2. 3月31日の1日に完遂することを目的に定数品のカウント方法へ変更案を委員会で検討し実施を 決定。変更にあたっては、院内へ説明および事前に業者についてテスト棚卸を行って、手順の確認、 調整をおこなった。
- 3. 今回実施の定数品のカウント方法について検証を行うとともに、例年通り実施した医薬の棚卸の実施方法について今後の課題とし、現場の負担軽減を図りながら3月31日に実施可能な棚卸方法の検討を続ける。

リハビリテーション運営委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院におけるリハビリテーションにかかる事項について審議し、円滑 且つ適切なリハビリテーション運営及びリハビリテーション業務を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、集合での委員会活動は未実施。 毎月の疾患別リハビリおよび、心リハの実績報告を、イントラネットを活用して、各委員へ回覧する にとどまった。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月第2水曜日 1回)

開催時間:17:00~17:30

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

医療安全管理対策委員会

1. 目的

本委員会は、「医療法施行規則 新省令第11条第2号」、「医療安全管理体制の整備等に関する指針」(済生会本部)、及び「医療安全管理指針」(大阪府済生会千里病院)に則り、大阪府済生会千里病院における医療安全管理体制の確立と、安全かつ適切な医療を提供するための検討を行い、医療安全確保を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

4月:医療安全管理対策委員会設置要綱の見直し

5月: 医療安全管理対策委員会設置要綱の見直し (案) の検討

6月:ベセルフューザー交換についての検討

7月:6月分医療安全管理関連報告

8月:大阪府済生会千里病院 医療安全管理マニュアル ハイリスク領域 [注射剤の投与] 抗がん剤血管外漏出性皮膚障害危険度分類の改訂

9月:8月分医療安全管理関連報告

10月: CVC 認定制度の内容の見直し

11月: CVC 認定制度の内容の見直し(案)の検討

12月:11月分医療安全管理関連報告

1月:CVC 認定制度マニュアル(案)の検討

転倒・転落による頭部 CT 検査適応基準の見直し(案)の検討

2月:1月分医療安全管理関連報告 3月:2月分医療安全管理関連報告

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月 第4水曜日 12回)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:98.2%

4. 研修会・勉強会の開催

6月:全職員対象 令和2年度第1回医療安全管理対策に関する研修会 (e-ラーニング) 10月:全職員対象 令和2年度第2回医療安全管理対策に関する研修会 (e-ラーニング)

1. 目的

当部会は、当院における医療安全管理に関する全般的な問題点を把握し、その対策を講じることを目的する。主な所管は以下のとおりである。

- ・医療安全ラウンドによる院内の医療安全管理に関する問題点の把握
- ・インシデント報告に基づいた情報収集・分析・改善策の立案
- ・医療安全管理のためのマニュアルの策定と見直し

2. 令和3年度の活動報告

4月:メディカルリスクマネージメント(MRM)部会設置要綱見直し 医療安全管理マニュアルの策定と見直し

MRM ラウンドの検討、職員医療安全管理研修の検討

医療安全管理に関する問題点への対応(情報収集・分析・改善策の立案・周知・調査・見直し)

5月: 医療安全管理マニュアルの策定と見直し(案)の検討、MRMラウンドのあり方についての検討、 医療安全管理に関する問題点への対応(情報収集・分析・改善策の立案・周知・調査・見直し) → P-mSHELL 分析による検討

6月: MRM 部会議題募集についての検討、検討事例抽出の依頼についての検討 事例検討(P-mSHELL 分析)

7月:事例検討(P-mSHELL分析)

8月:MRI 吸引事故の対策の検討、前回事例検討の対策案の検討

9月:事例検討(P-mSHELL 分析)

10月:事例検討(P-mSHELL分析)、医療安全推進週間の取り組み

11月:10月分インシデント・転倒転落件数報告

1月: 医療安全推進週間の取り組み → 医療安全ラウンド結果とまとめからの課題についての検討、 事例検討 (P-mSHELL 分析)

2月:事例検討(当該部署 + 医療安全管理室での P-mSHELL 分析・対策(案))

3月:2月分インシデント・転倒転落件数報告

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:11回(定められた開催数:毎月第3木曜日 12回)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:88.1%

4. 研修会・勉強会の開催

感染対策委員会

1. 目的

病院感染の予防・拡大防止および感染発生時の問題の把握、対応策を検討することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ・新型コロナウイルス感染症の対策等も感染対策委員会で検討した。
- ・①感染症報告、②手指衛生サーベイランス、②針刺し・切創/血液・体液曝露、④抗菌薬ラウンド、 ⑤ ICT メンバー会議報告、⑥感染管理室会議報告、について定例で報告を行った。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:定例開催12回 臨時開催6回

定例開催日:毎月第2月曜日 16:00~17:00 ※臨時開催はその都度時間を設定

平均参加率:88.2% (臨時開催含む)

4. 研修会・勉強会の開催

感染防止研修会(全職員) 77.7% (698 名 /898 名)

新型コロナウイルス感染症の流行により、集合研修が困難であるためイントラネットのアンケート機能を用い、年間通して好きなテーマの研修会(感染防止研修会、AST 勉強会)を2回受講できるようにした。配信に間に合わなかった場合は、千里ステーションからバックナンバーの受講も可能とした。できるだけ身近に感じられる内容ということで担当者(ICT・AST メンバー)を決めて作成し配信した。

【各テーマと受講人数】

6月:血液培養で真菌陽性となったら!? 370名

7月: 職種別 手指衛生のタイミング part1 439名

8 月:新型コロナウイルス肺炎(COVID-19 肺炎)の診断に PCR 再検査が必要であった 1 例 386 名

9月:新型コロナウイルス感染症の感染対策 ~適切な PPE 着脱と家族対応の留意点~ 456 名

10月:環境からの感染を考えよう 420名

11月:血液培養でブドウ球菌陽性となったら!? 348名

12月: 手指衛生のタイミング part2 348名

1月: 化膿性脊椎炎から IE の診断に至った症例 325名

3月:コロナ禍における放射線部の初期対応 216名

脳死に関する委員会

1. 目的

脳死下での臓器摘出の実施に係る手順書の作成、訓練及び実施についての承認の手続きを行い、脳死に関する諸問題を検討することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

令和3年12月8日脳死下での臓器移植事前確認(1回目)会議

12月11日脳死下での臓器移植事前確認(2回目)会議

12月11日脳死下での臓器移植実施

12月27日臓器移植実施後検証会議、脳死判定医師名簿追加更新

令和4年3月5日心停止後臓器移植実施

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:適宜)

開催時間:16:30~17:30

平均参加率:87%

4. 研修会・勉強会の開催

令和3年12月27日 委員会メンバー含む関係者を交え臓器移植後の検証会議

インフォームド・コンセント委員会

1. 目的

本委員会は、患者の権利、患者と医療者とのパートナーシップの強化を目的とし、患者との間の相互 理解に即した信頼される診療を確保する為、「説明と同意」に関する事項を検討し患者の権利と尊厳 の尊重を期する。

2. 令和3年度の活動

- ・説明と同意書の新規登録 4件
- ・IC 記録テンプレートの周知活動
- ・同意書の病院側立会人欄削除。
- ・同意書への医師印の必要有無確認し、引き続き押印を行うこととなった。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:偶数月第1火曜曜日 6回)

開催時間:16:30~17:30

平均参加率:75%

4. 研修会・勉強会の開催

倫理委員会

1. 目的

本委員会は、当院で問題となる、職業倫理、臨床における倫理、臨床研究に関する倫理について審議し、患者の権利の尊重、擁護を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

本審議において、倫理的課題に関する審議、適応外使用に関する審議、マニュアルの制定、各種手続き要項・院内様式の改訂等について審議を行った。また、院内から提出された臨床研究の審議を、事前審議として13回行った。

3. 開催状況・平均参加率

・開催回数:本審議 6回(隔月 第4月曜日)

事前審議 13回 (毎月 第4月曜日) (再審議1回含む)

• 開催時間: 17:30~18:30

・平均参加率:事前審議98.1% 本審議97.5%

4. 研修会・勉強会の開催

10月1日~31日 DNAR に関する倫理研修(医療免許を持つ職員対象)

2月1日~28日 令和2年度 臨床研究に関する e- ラーニング (全職員対象)

病歴委員会

1. 目的

病歴委員会は、病院内における診療記録の作成および管理について審議し、すべての診療活動の適切な記載、保存により円滑な診療の質の向上に寄与することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

奇数月の第4火曜日に委員会を開催し、電子カルテ掲載の新規文書の検討承認、サマリの作成率向上への働きかけ、診療録監査結果のフィードバックを行っている。令和3年度は電子開催した。 診療情報の提供及び開示に関する規程の改版を行った。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:6回(定められた開催数:奇数月 第4火曜日 6回)

開催時間:電子開催平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

開催なし

クリニカルパス推進委員会

1. 目的

クリニカルパス運用規定に基づき、クリニカルパスの作成、評価及び円滑な運用方法について審議し、 大阪府済生会千里病院における医療の質(診療・医療安全・業務効率・患者満足・病院経営)の向上 を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

新規作成の承認10 件新規運用の承認14 件パスラウンドの開始1 回/週クリニカルパス通信の配信8 回

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:11回(定められた開催数:毎月第4水曜日とするが原則電子開催)

開催時間:15:00~16:00 (集合開催の場合)

平均参加率:99.4%

4. 研修会・勉強会の開催

8/20 済生会熊本病院の公開講義およびパス大会 Web 聴講 委員会メンバーと看護部担当者の参加希望者

臨床検査適正化委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における臨床検査の管理、運営上の適正化を図るとともに重要事項を審議し、当院の発展に付与することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

12/16 電子開催

- ・日臨技臨床検査精度管理調査結果について
- 3/21 電子開催
- ・新規項目(肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル検査)について
- ・医師会臨床検査精度管理調査悔過について

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:年2回

開催時間:17:00~18:00

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

輸血療法委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における輸血療法に関する事項について検討し、「輸血療法の実施に関する指針」(改定版)及び「血液製剤の使用指針」(改定版)(平成17年9月薬食発第0906002号 厚生労働省医薬食品局長通知)(平成19年7月一部改正)(平成19年11月一部改正)(平成21年2月一部改正)に則り、輸血療法の安全性確保と適正化を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

今年も電子開催を中心に、輸血前後の感染症検査・製剤廃棄率について検討した。 輸血前は90%台後半で推移、輸血後については当院で実施されたものは30%台となっている。 廃棄製剤は相変わらず2~3%程度発生している。

輸血監査では、チェック項目の漏れがいくらかあり、注意喚起はしているもののどう防いでいくかは 今後の検討課題である。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:4回(定められた開催数:奇数月第4月曜日 6回)

開催時間:17:00~18:30

平均参加率: 78.57%

4. 研修会・勉強会の開催

患者サービス委員会

1. 目的

済生会千里病院における患者サービスの向上施策に関することを検討し、患者サービス向上のための 具体的施策を立案する。

2. 令和3年度の活動

主に、患者さんの声(苦情・感謝・要望)を投書箱、窓口、電話やメールにて収集しその内容を検討、 その回答や改善策について審議している。

毎月「苦情減らし隊からのお知らせ」で職員へ啓発活動に努めた。

毎月「患者さんの声」で職員に事例の周知を行い共有にて注意喚起に努めた。

品質管理室協力の下、患者満足度調査実施。

接遇研修・七夕かざり・クリスマスコンサートは中止とした。

委員会の実施

- ・令和3年4月16日(金)電子開催
- ・令和3年6月18日(金)電子開催
- ・令和3年8月20日(金)集合開催
- ・令和3年10月15日(金)電子開催
- ・令和3年12月17日(金)電子開催
- ・令和4年2月18日(金)電子開催
- ・令和3年5月21日(金)電子開催
- ・令和3年7月16日(金)電子開催
 - ・令和3年9月17日(金)電子開催
- · 令和3年11月19日(金)電子開催
- ・令和4年1月21日(金)電子開催
- 3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:毎月1回 第3金曜日)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:68.7%

4. 研修会・勉強会の開催

・新型コロナウイルス感染防止の観点から令和3年度は中止とした。

がん化学療法委員会

1. 目的

大阪府済生会千里病院が大阪府がん診療拠点病院としての機能を充実するために、がん化学療法の円滑な運営を図るとともに治療内容の妥当性を評価し、レジメンの承認及び管理について審議し、適正かつ効率的な運用を図る。

2. 令和3年度の活動

1) レジメン審査

審査月	申請診療科	対象疾患	レジメン名称
4月	歯科口腔外科 婦人科	頭頚部癌 婦人科がん	PCE TP TP + Bev
5月	消化器内科 婦人科	胆道癌 婦人科がん	GS GCS DC+Bev
7月	呼吸器内科	肺癌	NIVO+IPL
9月	千里救命救急センター	COVID-19	VP-16
10月	免疫内科	HLH	VP-16
12月	消化器外科 免疫内科	胃がん 平滑筋肉腫 全身性強皮症	G-SOX+NIVO G-CapeOX+NIVO ADR RTX (リツキサン)
1月	泌尿器科 婦人科 乳腺外科	尿路上皮癌 子宮体癌 乳癌	パドセブ Avulumab PEMB+Levatinib TCH

2) レジメン管理

当院承認済みのレジメンの見直しを行っている。

3) その他

4月 免疫チェックポイント阻害剤使用時の発生した irAE に対しての治療の適応外使用の倫理委員会への申請

7月 免疫チェックポイント阻害剤使用時の必要な検査項目のセット化

11月 化学療法室のカンファレンスの開始

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:9回(定められた開催数:毎月第3火曜日 8回 臨時:1回)

開催時間:17:30~19:00

平均参加率:86%

4. 研修会・勉強会の開催

救急救命士業務検討委員会

1. 目的

院内救急救命士の、事後検証・問題の解決・今後の予定を検討し、当院の院内救急救命士の質の担保 を目的とする。

2. 令和3年度の活動

令和3年10月1日より救急救命士法が改正され、日本臨床救急医学会および日本救急医学会からガイドラインが作成され、医療機関に所属する救急救命士の質および業務の質を保証することを目的とした委員会の設置が提案された。その為、救急救命士業務検討委員会を設置。令和3年11月16日に第一回委員会会議を開催し、当院のガイドラインの作成及び当該救命士の質の担保について会議する。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:2回(定められた開催数:2、5、8、11月の年4回 第3火曜日)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:90%

4. 研修会・勉強会の開催

令和4年2月12日 医療機関に所属する救急救命士に対する研修の講師になる人材のための講習会 (日本社団法人臨床教育開発推進機構)

地域医療支援病院運営委員会

1. 目的

社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院が、地域のかかりつけ医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、地域医療支援病院運営委員会を設置する。

2. 令和3年度の活動

- (1) 参加機関である吹田市医師会、吹田市歯科医師会、吹田市薬剤師会、吹田保健所、吹田市消防本部からのトピックスの報告
- (2) 済生会千里病院の概況報告
- (3) フリーディスカッション
- (4) その他

3. 開催状況・平均参加率

開 催 回 数:4回(5月・8月【Zoom 開催】、11 月【集合開催】、2月【電子開催】

各月の第4木曜日)

開催時間:14:30~15:30 平均参加率:11月のみ 55.6%

4. 研修会・勉強会の開催

災害対策委員会

1. 目的

本委員会は、災害派遣、支援に関連する事項並びに災害に関する教育、訓練、啓蒙等広く災害に関する事項について検討し、災害時において院内外を問わず、安全で良質な心のこもった医療に寄与することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ・令和3年度 近畿地方 DMAT ブロック訓練
- ・防災無線・衛星電話訓練(大阪府医療対策課より)
- ·政府派遣 DMAT 研修
- ·大阪国際空港航空機事故対策総合訓練
- ・近畿ブロックロジスティク研修
- 済生会本部災害研修
- ・豊能医療圏大規模災害医療連携強化プロジェクト
- · 院内災害対策訓練
- ・大阪府北区における雑居ビル火災への大阪 DMAT 派遣検討会

新型コロナウイルス感染症蔓延により、大阪 DMAT 研修等は中止となった。

全部署に対して、緊急連絡網の整備を行った。

災害備蓄食品にお粥を追加した。

災害派遣支援活動委員会及び、災害訓練・研修チームが災害対策委員会へ統合されることとなった。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:毎月第1木曜日 1回)

開催時間:13:00~14:00

平均参加率:電子開催

4. 研修会・勉強会の開催

救急診療委員会

1. 目的

本委員会は、救急診療に係る事項について審議し、救急診療(1次~3次)の円滑な運営を図るとともに、診療体制等を充実することを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

救急部実績 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急総件数	663	688	606	711	675	613	602	607	730	756	582	612	7,845
救急受付件数	649	665	588	685	648	593	581	589	714	731	559	597	7,599
1日平均受付件数	21.6	21.5	19.6	22.1	20.9	19.8	18.7	19.6	23.0	23.6	20.0	19.3	20.8
入 院	263	265	204	251	260	215	217	212	246	260	221	219	2,833
外 来	386	400	384	434	388	378	363	375	466	468	338	375	4,755
(転科)	(16)	(5)	(16)	(6)	(15)	(10)	(12)	(14)	(6)	(10)	(7)	(9)	126
(転院)	(6)	(5)	(10)	(3)	(11)	(11)	(7)	(8)	(17)	(12)	(11)	(4)	105
DC 当院搬送外	14	23	18	26	27	20	21	18	16	25	23	15	246

救急患者受入件数/前年度比(病院全体・3次)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度病院全体救急車 受入件数全科搬送数	415	449	401	427	445	389	385	395	484	461	350	378	4,979
令和2年度病院全体救急車 受入件数全科搬送数	409	419	436	443	548	481	489	457	487	490	341	427	5,427
令和3年度救命(3次) 救急車受入件数	149	159	130	123	150	121	120	119	147	149	166	154	1,687
令和2年度救命(3次) 救急車受入件数	153	152	140	154	195	150	158	150	183	189	119	123	1,866

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:集合開催3回・電子開催9回 (定められた開催数:毎月第3火曜日 1回)

開催時間:17:00~18:00

平均参加率:80%

4. 研修会・勉強会の開催

プレホスピタルケア委員会

1. 目的

プレホスピタルケアに係る事項について審議し、ドクターカーの円滑な運営を図るとともに病院前救 急活動のレベル向上を目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

- ・ドクターカー出動状況や有用性等についてデータ分析
- ・救急部関係部署、北摂救急救命士会及び豊能医療圏各消防本部対象にドクターカー症例検討会開催

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(毎月 第2水曜日 1回)

開催時間:11:00~12:00

平均参加率:77%

4. 研修会・勉強会の開催

令和3年6月2日 ドクターカー症例検討会

「多数傷病者―小学校で多数の児童が不調を訴えている! 君ならどう動く?」

「家族に対するケア 看護師の視点を皆で共有しよう!」

令和3年10月4日 ドクターカー症例検討会

「気道緊急!挿管ができない!」

「チームが離れ離れに!」

令和4年2月23日 ドクターカー症例検討会

「子どもの CPA…活動中の家族ケア…」

メディカルラリー実行委員会

1. 目的

千里メディカルラリー・千里子どもメディカルラリー・千里学生メディカルラリーにおいて、参加者に安全で良質な救命医療技術コンテストを提供し、医療技術者の技術向上と将来医療従事者を志す人々の育成を図るべく、地域にとらわれない全国的なメディカルラリーを実施運営することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- 1) メディカルラリーの企画
- 2) 子どもラリーの企画
- 3) 子どもラリー済生会医学福祉協同研究報告

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:毎月第火曜日 1回)

開催時間:14:00~15:00

平均参加率:83.8%

4. 研修会・勉強会の開催

初期臨床研修管理委員会

1. 目的

本委員会は、医師法第 16 条の 2 第 1 項 1 に規定する臨床研修に関する省令の施行について」(医政発第 0612004 号 平成 15 年 6 月 12 日(一部改正 平成 17 年 2 月 8 日)厚生労働省医政局長通知)に基づき、大阪府済生会千里病院において行う医師の初期臨床研修の方策について検討し、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身につけることのできる初期臨床研修の実施を図ること。

2. 令和3年度の活動

≪10月≫

- 1. 新委員の紹介
- 2. 卒後臨床研修評価機構 訪問調査 指摘事項 改善策について
- 3. 医師臨床研修マッチング 中間発表について
- 4. 研修医 履修状況について
- 5. インシデントレポート作成状況について
- 6. スキルラボについて
- 7. 医講習会 参加について
- 8. 学会発表 剖検についてのお願い
- ≪1月≫ ※新型コロナウイルス感染拡大の状況から、開催を中止し書面での確認
- 1. 令和4年度 研修スケジュール (案) について
- 2. EPOC2 指導医評価入力について
- 3. 令和3年度 研修医アンケート結果について
- 4. 令和4年度採用 マッチング結果、来年度コアレクチャーのご依頼
- 5. 令和4月20日年度 プログラム改訂に向けてのお願い

≪3月≫

- 1. 臨床研修医 修了判定について
- 2. 令和4年度 初期臨床プログラム改訂
- 3. 指導医評価、指導者評価について
- 4. JCEP 評価調査票による自己評価
- 5. 来年度より指導医の皆様へのお願い
- 6. クリニカルスキルテスト結果報告
- 7. 令和3年度 研修環境改善報告

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:年3回)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:72%(外部委員からは委任状あり)

4. 研修会・勉強会の開催

初期臨床研修管理運営委員会

1. 目的

本委員会は、初期臨床研修管理委員会の内部委員会として、大阪府済生会千里病院において行う医師の初期臨床研修の方策について、院内の初期臨床研修管理委員会メンバーに加えて初期臨床研修医各年次からの代表 1 名により、運用面等における調整機能を果たすこと。

2. 令和3年度の活動

≪6月≫

- 1. 新委員の紹介
- 2. 研修スケジュールの変更
- 3. 卒後臨床研修評価機構 訪問調査 受審について
- 4. 学会・剖検のお願い
- 5. 報告事項

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:年2回)

開催時間:18:00~19:00

平均参加率:86%

4. 研修会・勉強会の開催

専攻医研修管理委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における専攻医研修に関して検討し、適切な運営を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

≪4月≫

- 1. 救急科専門研修プログラム説明
- 2. 自己紹介

≪11月≫

- 1. 救急科専門研修プログラム 履修状況・地域研修について
- 2. 専門医試験について
- 3. 令和4年度 専攻医募集
- 4. レジデント報告
 - 1) 半年勤務して感じたこと
 - 2) 専攻医指導体制について
 - 3) 各役職へのステップアップについて
 - 4) 勉強会について
 - 5) 院内研修について
 - 6) 院外研修について

≪3月≫

- 1. 高原専攻医 酒井専攻医 修了判定について
- 2. 令和4年度 救急科 専攻医募集活動について
- 3. 令和4年度 渡邉専攻医 研修先について

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回

開催時間:12:30~13:30

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

図書委員会

1. 目的

大阪府済生会千里病院における図書室機能の確立と適切な運営を図ること及び「済生会千里病院医学雑誌」の発行により、当院の医学及び学術の向上に寄与すること。

2. 令和3年度の活動

- ・済生会千里病院医学雑誌発行(第 29 巻)
- ・令和4年度定期購読雑誌の確認、とりまとめ

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:適宜)

開催時間:16:00~17:00

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

特定行為推進委員会

1. 目的

特定行為推進委員会は、看護師の特定行為実践を推進することを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

1) 委員会の発足について

認定看護師教育課程が B 課程に移行しており、認定看護師の教育課程と同時に特定行為研修も受講することになる。また、すでに認定看護師として活動しているものも特定行為研修受講を希望しており、病院としての体制の構築が必要と考え、構成員を特定行為実践責任者(診療部)、特定行為研修修了者、特定行為指導者講習会受講者、看護部長、医療安全管理室長、医療相談窓口責任者とし、令和3年6月1日に本委員会を設置した。

本委員会は、1. の目的を達成するため、以下の業務を行うことを定めた。

- ①特定行為の手順書の作成、見直しに関すること。(見直しは年1回以上)
- ②特定行為の実践・評価に関すること。
- ③医療安全管理体制に関すること。
- ④医療従事者の負担軽減に関すること。
- ⑤本委員会で検討した事項を、関係部門、部署に周知すること。
- ⑥特定行為受講の支援に関すること。
- 2) 主な活動
 - ・特定行為研修の「受講応募資格」と「受講申請」の改訂
 - ・実習受け入れの調整、実施
- 3) 特定行為研修
 - ①研修終了者2名
 - ·平成29年度研修修了(3区分)

栄養にかかるカテーテル管理関連(中心静脈カテーテル関連、抹消留置型中心静脈注射用カテーテル管理)、栄養及び水分管理にかかる薬剤投与関連、感染にかかる薬剤投与関連

・令和3年度修了(2区分)

栄養及び水分管理にかかる薬剤投与関連、感染にかかる薬剤投与関連

4) 特定行為指導者講習会受講者

看護師1名、医師2名(令和3年度受講)

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:8回 不定期開催

4. 研修会・勉強会の開催

特記なし

院内暴力行為等対策委員会

1. 目的

安全で良質な医療を提供するため、院内暴力行為等に対し、総合的かつ計画的な対策を推進することにより、職員の安全を確保し、快適な職場環境の形成の促進を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

新型コロナウイルス感染症対策のため主に開催を自粛。

院内暴力行為等発生報告書を四役、委員会メンバーにイントラネットにて回覧周知 令和3年12月28日電子開催防犯・安全担当者研修会資料回覧

発生報告書件数

- ・身体的暴力 6件
- ・言葉の暴力 4件
- ・セクハラ 4件
- ※防犯安全管理室取扱件数 76件

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:1回(定められた開催数:毎月 第4火曜日 1回)

開催時間:電子開催平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

11月9日 全国済生会事務(部)長会 防犯・安全担当者連絡会議

防犯安全管理室 Zoom 研修会参加

12月28日 チーム内 研修会資料回覧

ハラスメント防止対策委員会

1. 目的

「ハラスメントの防止に関する規程」第3条第2項の規定に基づき、ハラスメントの防止及び対策を 適切に実施することを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ・ハラスメント事例 6件。
- ・ハラスメントのない職場を目指して啓発ポスターを作成し、院内周知を行った。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:8回(臨時開催)

平均参加率:86%

4. 研修会・勉強会の開催

医療従事者の負担軽減委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院に勤務する医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に関し、計画の策定、計画遂行の管理・評価、計画の見直し等を行うことを目的とする。

2. 令和3年度の活動

委員会の開催 (3回) 実施を各部署の軽減計画を検討し、経過状況を報告、より計画を進めることができるよう提案、検討を重ねる。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:年3回以上) 開催時間:令和3年4月(3年度計画報告、承認)

11月 (計画内容の中間達成状況報告)

令和4年4月(3年度計画の達成状況報告確認→電子開催)

平均参加率:90%

4. 研修会・勉強会の開催

年間の医療従事者の負担軽減計画をインフォメーションボードに掲示

衛生委員会

1. 目的

衛生委員会は、「労働安全衛生法」に基づき当院における労働環境について審議し労働災害の防止に 関する総合的計画的な対策を推進することにより職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場 環境の形成の促進を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

【カウンセリングルームの利用】

令和3年度の利用状況……209件実施

【職員在院時間の把握と面談勧奨の実施】

在院時間80時間を超える職員に対し、産業医による面接を勧奨。イントラネットのアンケート機能により提出された自己チェック票を産業医が確認し、対象職員が面談不要と回答しても、産業医が必要と判断した場合は、再度、面談を勧奨した。併せて、気配りしてもらうよう、所属長にも対象職員の在院時間を共有した。

【ストレスチェックの実施】

令和3年11月実施。外部委託に切り替えて初めてのストレスチェックであったが、受検率は昨年度(82.1%)から58.2%にダウン。受検者数408名。集団分析を実施した。

【職場巡視の実施】

産業医による2ヵ月に1回の職場巡視、衛生管理者による1週間に1回の職場巡視を実施。改善が必要な項目に関しては衛生委員会で検討した。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月第2金曜日 12回)

開催時間:16:30~17:30 (うち3回は、新型コロナウイルス感染防止徹底のため電子開催)

平均参加率:88.3%

4. 研修会・勉強会の開催

福利厚生委員会

1. 目的

本委員会は、大阪府済生会千里病院における職員の福利厚生に係る事項について審議し、適正な福利厚生の実施を図ることを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

福利厚生事業報告

互助会決算報告

互助会の食費補助の対象者拡大

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:2回電子開催 *新型コロナウイルス感染防止対策の為(定められた開催数:年1回) 平均参加率:100%(全員確認済み)

4. 研修会・勉強会の開催

なし

院内保育園運営委員会

1. 目的

当院に勤務する職員の福利厚生として設置した保育園において、安心・安全な保育環境の整備と乳幼児の健やかな心身育成を促し、充実した保育が継続されるための必要な事項を検討することを目的に設置する。

2. 令和3年度の活動

- 保育園利用状況及び活動報告
- ・コロナ禍における保育園行事の開催可否の検討
- ・地震、台風等における保育園運営に関する方針決定
- ・保育園利用者に対するアンケート結果の共有
- ・園児健診

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:3回(定められた開催数:4ヵ月に1回)

開 催 時 間:都度調整(うち2回は、新型コロナウイルス感染防止対策徹底のため電子開催)

平均参加率:95.5%

4. 研修会・勉強会の開催

開催なし。

2. 医療チーム活動

糖尿病チーム

1. 目的

糖尿病チームは、糖尿病対策を推進し、発症予防と治療の質の向上を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

◆チーム会での検討事項等会

- ・院外採用のインスリン注射針の変更について検討 (マイクロファインプラスからマイクロファインプロへの変更承認)
- ・糖尿病関連インシデントの共有、対策について検討
- ・世界糖尿病デーイベントの開催について検討
- ・エクセルチャート「インスリン表」の修正
- ・院内採用血糖降下薬(注射)の一覧表の検討
- ・令和3年9月に当院糖尿病患者会(千歩会)廃止

◆糖尿病だより発行

6回発行/年

以前は毎月糖尿病教室を実施していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため今年度も教室の 開催はできなかった。糖尿病教室の代わりとして「糖尿病だより」を作成し、内科外来での掲示や 糖尿病内科の診察・栄養指導等で配布を行った。

◆世界糖尿病デーイベント開催

感染対策を実施し糖尿病の啓発イベントを開催した。以前のような対面での血糖測定や医療相談は 行わず、外来スペースで展示形式の開催とした。

イベント内容)糖尿病関連ポスター掲示

糖尿病だより配布

糖尿病協会提供 世界糖尿病デーティッシュ配布

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:9回 (定められた開催数:毎月第1火曜日 12回)

開催時間:15:00~16:00

平均参加率:91%

4. 研修会・勉強会の開催

研修会・勉強会の開催なし

糖尿病透析予防チーム

1. 目的

糖尿病透析予防チームは、糖尿病腎症の予防を推進し、糖尿病腎症の指導(教育)、治療の質の向上 を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

◆糖尿病透析予防指導件数 157件/年(月平均 13件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	13	12	12	17	15	11	17	10	13	15	8	14

◆チーム会での症例検討数 62件/年(月平均 5件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	2	6	5	2	5	5	4	5	7	9	6	6

◆検討事項等

- ・糖尿病透析予防指導の運用、指導体制について検討
- → 8月より糖尿病透析予防指導担当の看護師が1名から2名へ増員
 - 10 月より予約枠変更、指導場所を確保し麻酔科外来での指導を開始
 - 10月より透析予防指導専任医師の登録が2名から1名へ変更
 - 11月よりチーム会の開催時間変更
- ・糖尿病透析予防外来フローチャート作成
- ・糖尿病透析予防指導管理料に係わる報告書の作成
- ・ 算定患者の改善維持状況確認、介入患者の確認

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月 第1金曜日 12回) 開催時間:16:30~17:30(11月より16:00~17:00へ変更)

平均参加率:96%

4. 研修会・勉強会の開催

褥瘡対策チーム

1. 目的

褥瘡対策チームは、当院の褥瘡リスクのある患者および、褥瘡を有する患者に対し、総合的な褥瘡対策を行い、医療の質の向上を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ・予防を含む褥瘡回診の実施(毎週月曜日 14:00~15:30)
- ・院内全体の褥瘡予防ケア向上のために定期的に褥瘡対策ニュースを発行・配信
 - 第1回 褥瘡治療・ケアで使う外用薬のポイント
 - 第2回 ポジショニング後、座位時のずれ
 - 第3回 創傷被覆材について
 - 第4回 弾性ストッキングに対する褥瘡発生予防
 - 第5回 挿管チューブ・バイトブロックによる褥瘡
- ・褥瘡集計報告を定期的に院内全体へ配信
- ・月間褥瘡集計報告をチームメンバー内で共有し、各部署で注意喚起
- ・標準マットレスを、効果の高い体圧分散マットへ変更(2部署)

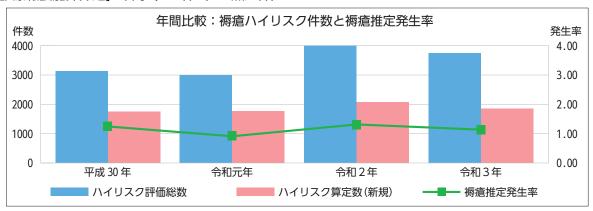
【結果】褥瘡推定発生率 1.15% 前年度より 0.31 ポイント減少

院内発生 DU 褥瘡 前年度 1 件 現状維持

11月シーネ(初療作成オルソグラス)による褥瘡発生

関係指導医へ報告、注意喚起

【診療報酬加算算定】年間 1,841 件(500 点/件)



3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月第2月曜日 12回)

開催時間:15:30~16:30

平均参加率:90.91% (電子開催含む)

4. 研修会・勉強会の開催

4月5日 新採用職員研修「済生会千里病院の褥瘡対策」

12月15日 院内研修〈全職員対象〉配信

「体圧分散」動画、「褥瘡局所ケア」スライド

アロマセラピーチーム

1. 目的

院内におけるアロマセラピーの推進を図る

- 2. 令和3年度の活動
 - ・アロマハンドマッサージの手技を習得し、各病棟で対象患者に実践
 - ・各病棟でディフューザー、エアーフレッシュナー、バスソルトを作成し、入院患者対象に活用
 - ・アロマ通信を2回配信
- 3. 開催状況・平均参加率
 - ・開催回数: 3回(5月・7月・11月)
 - *定められた開催数: 奇数月 第2月曜日 年間6回
 - * 9月は参加者の確保が困難で開催できず
 - *1月・3月は新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を断念
 - •開催時間:15:00~16:00
 - · 平均参加率: 66.7%
- 4. 研修会・勉強会の開催
 - ・5月11日 チームメンバー対象に「アロマセラピーの基礎知識」について勉強会
 - ・7月12日 チームメンバー対象に「アロマハンドマッサージの手技」演習会
 - *新型コロナウイルス感染予防の観点から、スタッフや外来患者を対象としたイベントは開催できなかった

ブレストケアチーム

1. 目的

乳癌診療において、患者により質の高い医療を提供すると共に、患者の QOL を高め全人医療を提供していくことと。

- 2. 令和3年度の活動
 - ○症例検討
 - 10月17日 Japan Mammography Sunday 実施
 - ○ニュースレターの発行 乳腺疾患勉強会の代わりとして、病院内外に向けて計1回の発行を行った
- 3. 開催状況・平均参加率

開催回数:5回(定められた開催数:毎月 第1金曜日 12回)

開催時間:15:00~16:00

平均参加率:82%

4. 研修会・勉強会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず

心臓リハビリテーションチーム

1. 目的

心臓リハビリテーションチーム会はすべての心疾患、血管疾患の再発予防と患者さんの生活の質の向上、および社会復帰を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

心臓リハビリテーション適応患者に積極的に介入していくための、エントリー方法の検討とクリニカルパスへの組み込み。

循環器疾患・心臓リハビリテーションの啓発活動(心臓病教室など)についての検討。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、チーム会は部署をこえた検討課題のないときには開催せず。

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:2回(定められた開催数:毎月 第3木曜日 12回)

開催時間:17:20~18:15

平均参加率:84%

4. 研修会・勉強会の開催

なし

がんリハビリテーションチーム

1. 目的

がん患者の生活機能と生活の質の改善を目的とする。また、がんとその治療による制限を受けた中で、 患者に最大限の身体的・社会的・心理的・職業的活動を実現させること。その中でも当院では、がん と診断されてから最期を迎えるどの病期でも、本人や家族が在宅退院を希望されている方々に対し、 リハビリの提供や介助方法の指導などをチームで進めていくことを目指している。

2. 令和3年度の活動

電子開催

・がんリハビリテーション対象の新患者の報告を毎月実施

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:12回(定められた開催数:毎月第1月曜日 1回)

開催時間:15:00~15:30 平均参加率:電子開催のため100%

4. 研修会・勉強会の開催

NST チーム

1. 目的

NST は、入院患者の栄養状態を評価し、低栄養等の栄養改善が必要な患者に対し適切な栄養管理方法を検討し、提言、実施し、栄養状態を改善していくこと目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ・チーム会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催頻度を減らし、電子開催へ切り替えた。毎週水曜日に回診を実施し、NST介入患者の栄養評価・アセスメントを行い、栄養管理方法について検討を行った。
- ・栄養サポートチーム加算・歯科医師連携加算は422件/年算定した。
- ・院内職員向けの勉強会は中止し、チーム内で勉強会の開催を行った。 「経腸栄養時の下痢対策」「フレイル・サルコペニアと栄養」
- ・L- グルタミン、水溶性食物繊維(グァーガム分解物)含有食品のグルタミンF の運用について検討、9月から導入した。グルタミンF は3症例に使用し、NST 介入を行い栄養管理を行った。
- ・アミノ酸・糖・電解質・脂肪・水溶性ビタミン液の「エネフリード輸液」の紹介・管理方法について周知を行った。(NST 専任薬剤師より)
- ・病態栄養学会認定「栄養管理・NST実施施設」の認定を更新した。
- ・日本外科代謝栄養学会、日本臨床栄養代謝学会認定の NST 医師・歯科医師教育セミナーに医師 1 名参加した。

3. 開催状況・平均参加率

開 催 回 数:24回(定められた開催数:毎月第2・4水曜日 24回)

集合開催2回、電子開催22回

開催時間:15:00~16:00

平均参加率:66.7%

4. 研修会・勉強会の開催

11月24日 チーム内 「経腸栄養時の下痢対策」勉強会開催

12月22日 チーム内 「フレイル・サルコペニアと栄養」勉強会開催

1. 目的

実効ある NST 活動を実施するため、NST の中に設置するものであり、嚥下機能の改善が必要な患者に対し、適切な栄養管理方法を検討し、提言、実施し、栄養状態を改善していくことを目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

1) NST 嚥下チームの介入依頼の処理について

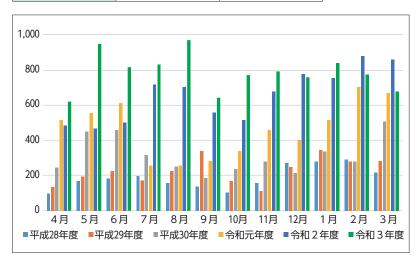
リンクナースのみが対応するのではなく、受持ち看護師が摂食状況をみて判断するように移行したいが、提案した方法は主任会の審議が通らなかった。

そのため、各病棟でどのようにすれば受持ち看護師へ業務を移行できるのかを検討予定であった。 しかし、病棟看護師の編成が定まらずリンクナースも自病棟での勤務が難しく、次年度へ持ち越 すこととなった。

 チーム内勉強会の実施 特になし

3) 摂食機能療法の実施

年度	算定件数	算定金額			
平成 28 年度	2,272 件	4,203,200 円			
平成 29 年度	2,735 件	5,059,750 円			
平成 30 年度	3,775件	6,983,750 円			
令和 元 年度	5,587件	10,335,950 円			
令和 2 年度	7,913件	14,639,050 円			
令和 3 年度	9,331 件	17,262,350円			



3. 開催状況・平均参加率

開催回数:2回(定められた開催数:毎月第4水曜日 1回)

開催時間:17:30~18:30

平均参加率:84%

4. チーム内勉強会の開催

ICT・AST 合同メンバー会議

1. 目的

ICT:病院感染の予防・拡大防止および感染発生の特定、制圧に向けた対策を検討し、実践することにより、感染を制御する。

AST: 感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療をされているかどうかを専門的にチェックし、抗 菌薬の適正使用の支援を推進する。

2. 令和3年度の活動

- ・各部署における新型コロナウイルス感染症対策の推進
- ·毎週水曜日(16:00~17:00)

耐性菌検出患者の感染対策評価、院内の環境についての評価のためのラウンド実施

・毎週水曜日(15:00~16:00)

抗菌薬ラウンド

(広域抗菌薬使用、抗 MRSA 薬使用、血液培養陽性患者を対象に適正使用を推奨)

- ・サーベイランスより改善策に向けた取り組みを立案、実施 手指衛生、耐性菌、SSI、UTI、BSI、VAP、針刺し・切創/血液・体液曝露
- ・ 抗菌薬の採用の検討
- ・感染対策マニュアルの改訂

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:9回(電子開催) 定例開催日:每月 第3水曜日

平均参加率:100%

4. 研修会・勉強会の開催

適時必要な情報を院内イントラネットで全体に配信したり部署単位での勉強会を実施した。新型コロナウイルス感染症の流行により、集合研修が困難であるためイントラネットのアンケート機能を用い、年間通して好きなテーマの研修会(感染防止研修会、AST 勉強会)を2回受講できるようにした。配信に間に合わなかった場合は、千里ステーションからバックナンバーの受講も可能とした。できるだけ身近に感じられる内容ということで担当者(ICT・AST メンバー)を決めて作成し配信した。研修会の内容は、感染対策委員会の項参照。

1. 目的

本チームは、院内におけるがん終末期患者と家族に対して、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアル問題に関して対処することで、QOLの高い生活支援を行うことを目的とし設置する。(WHO 緩和ケアの基本的な考え方一部引用)

また、難治性疼痛を有する患者の治療に関与することも同時に目的として設置する。

2. 令和3年度の活動

【定例会議・カンファレンス】

- 1)緩和ケアチーム会
- ・緩和ケアチーム介入フローより、緊急介入の依頼方法について説明と周知
- ・緩和の閑話:発行者・内容検討と決定
- ・緩和ケア外来のあり方、緩和ケア外来へ紹介を増やす為の方法の検討
- ・ACP を進めていくための方法についての説明・検討と実施。
- ・エンゼルメイクセットの一部ディスポ製品を試用する
- ・がんサロン参加者を増やす方法
- ・今年度より、研修医の研修項目となった
- 2) 緩和ケアリンクナース会
- ・緩和ケアチーム会議事内容の伝達
- ・各リンクナースより難渋事例やジレンマについての対応
- ・勉強会の実施3回/年:「緩和ケア」「エンゼルケア」「ACPの進め方」
- 3) スクリーニングカンファレンス・キャンサーボード
- ・生活のしやすさの質問票記載された患者を元に、治療方針の確認・今後の支援方法を検討する

3. 開催状況・平均参加率

1)緩和ケアチーム会

開催回数:9回(電子開催含む)定められた開催数:毎月第1水曜日 12回)

開催時間:14:30~15:30

平均参加率:71%

2) 緩和ケアリンクナース会

開催回数:8回(電子開催含む)定められた開催数:毎月第1水曜日 12回)

開催時間:15:30~16:00

平均参加率:81% (新型コロナウイルス感染症にて勤務場所の変更等があったため)

3) スクリーニングカンファレンス・キャンサーボード

開催回数:18回(定められた開催数:毎月第1・3・5水曜日 26回))

開催時間:08:00~09:00

4. 研修会・勉強会の開催

・開催なし(新型コロナウイルス感染症のため集合研修困難にて)

5. 緩和の閑話の発行

・3回/年発行

10月:「悪い知らせを伝えた後の対応」松本がん性疼痛看護認定看護師 1月:「がん終末期の栄養をどう考える?」吉田管理栄養士、栄養科長

2月: 「フェントステープ 0.5mg」 堀江薬剤師

呼吸器ケアサポートチーム

1. 目的

本チームは、人工呼吸器を装着している患者及び呼吸器ケアが必要な患者への管理方法の標準化と多職種間で連携を図り質の高い呼吸器ケアを提供することを目的とし活動する。

2. 令和3年度の活動

- ・現状、呼吸器ケアラウンドについては、感染拡大予防の観点から、必要最低限としている
- ・主に医療安全に関する情報を共有
- ・気管切開緊急プロトコル導入について調整中
- ・チームメンバー自身の知識技術向上のため、チーム会内でも学習会予定。

今後の課題・展望

次年度は感染拡大予防をしながら、コンサルトが必要な患者に早期に介入できるようにしていく チーム会にてラウンド症例を情報共有していく。チーム会メンバーが病棟に発信することにより現 場で活用してもらう

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:7回(定められた開催数:毎月第4木曜日)

開催時間:15:00~16:00

平均参加率:65%

4. 研修会・勉強会の開催

9月 全職員対象 酸素療法 勉強会開催

10月 全職員対象 ポジショニングについて 勉強会開催

11月 全職員対象 人工呼吸器

12月 全職員対象 画像の読影

救急蘇生(ICLS)チーム

1. 目的

LS (Basic Life Support) コース、ICLS (Immediate Cardiac Life Support) コースの円滑な運営と急変時対応の検証を通し、心肺蘇生術の質の向上、(院内急変の予防) を図ることを目的とする。

2. 令和3年度の活動

- ①職員対象 BLS/AED 技術訓練
- ②ドクターハリーの検証症例について、チーム会での議論の要約、各部署に啓発すべき内容について の配信
- ③チーム内勉強会
- ④各部署の ICLS 受講状況や受講対象者数の把握、急変対応・心肺蘇生に関する教育方法(DVD、レクチャー、マニュアル作成)の検討
- ⑤二次救命処置の技術についての教材用動画を作成

3. 開催状況・平均参加率

開催回数:9回(定められた開催数:毎月第3水曜日 12回)

開催時間:14:30~16:30

平均参加率:89%

4. 研修会・勉強会の開催

7月~10月 全職員対象 BLS/AED 技術確認開催

5月~12月 チーム内 勉強会開催

ERAS チーム会

1. 目的

ERAS(Enhanced Recovery after Surgery)プロトコールによる周術期管理の推進及びプロトコールの改訂を行う。

2. 令和3年度の活動

- ・症例検討
- ・ERAS パンフレットの改訂
- ・ERAS アンケートの見直し・修正
- ・ERAS 人工肛門造設パスのパンフレット作成

3. 今後の課題・展望

ERAS プロトコールは、術後早期回復を目指すためのいろいろな工夫のパッケージである。ERAS チーム活動は、プロトコール構成要素のひとつの「術後早期経口摂取」の要素により、対象診療科が「消化器外科」にほぼ限定されている。しかしながら、入院日数延長防止、患者 ADL 低下予防、患者満足度の維持の観点から、チーム活動の広報を介して院内全体に啓蒙し続けることは意味があると考えられる。従来の活動様式を維持することに加え、次年度も、「①各症例の問題点をチーム会にてフィードバック」「② ERAS 関連の学会発表・論文発表継続」を実行する。

4. 開催状況・平均参加率

開催回数:10回(定められた開催数:毎月第1月曜日 12回))

開催時間:14:00~15:00

平均参加率:69.9%

5. 研修会・勉強会の開催

開催なし